

(様式第10)

東北病医 第23号  
令和 4年 10月 5日

厚生労働大臣 殿 開設者名 国立大学法人 東北大学  
総長 大野 英男

東北大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号
氏名	国立大学法人 東北大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

東北大学病院
--------

3 所在の場所

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1番1号
電話(022)717-7000

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/> 2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科	<input type="radio"/>	
診療実績							
上記のほか、腎臓・内分泌内科、糖尿病・代謝内科、漢方内科、老年内科、心療内科、腫瘍内科、脳神経内科において医療を提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

## (2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
上記のほか、肝臓・胆のう・膵臓外科、胃腸外科、移植・食道・血管外科、乳腺・内分泌外科、形成外科、小児腫瘍外科、頭頸部外科において医療を提供している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

## (3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

## (4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

## (5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	リハビリテーション科	2	病理診断科	3		4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

## 5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位:床)
40	2	0	0	1,118	1,160	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	382	223	593
歯科医師	94	73	156.2
薬剤師	95	1	95.7
保健師	0	0	0
助産師	54	1	55
看護師	1225	19	1238.6
准看護師	0	1	1
歯科衛生士	10	14	22.9
管理栄養士	14	0	14

職種	員数
看護補助者	175
理学療法士	25
作業療法士	9
視能訓練士	17
義肢装具士	0
臨床工学士	25
栄養士	0
歯科技工士	11
診療放射線技師	71

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	115
	衛生検査技師	2
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	29	
その他の技術員	189	
事務職員	405	
その他の職員	157	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	93	眼科専門医	13
外科専門医	88	耳鼻咽喉科専門医	25
精神科専門医	13	放射線科専門医	30
小児科専門医	37	脳神経外科専門医	9
皮膚科専門医	10	整形外科専門医	17
泌尿器科専門医	9	麻酔科専門医	30
産婦人科専門医	44	救急科専門医	14
		合計	432

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 富永 悌二 ) 任命年月日 平成 31 年 4 月 1 日

医療安全管理責任者(医療安全担当の副病院長)を平成28年4月1日から平成31年3月31日まで務め、医療安全監査委員会への対応、特定機能病院間のピアレビューの実施、高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等管理センター長業務、医療安全推進委員会や内部通報受付審査会等の業務等、医療に係る安全管理の業務に従事した。また、現在も病院長として、医療安全推進委員会の委員を務めながら、医療に係る安全管理の業務に従事している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	788.6 人	25.2 人	813.8 人
1日当たり平均外来患者数	2529.4 人	584 人	3113.4 人
1日当たり平均調剤数			1236.7 剤
必要医師数			225 人
必要歯科医師数			23 人
必要薬剤師数			28 人
必要(准)看護師数			516 人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	人工呼吸装置	心電計	心細動除去装置
集中治療室	377.08 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	18 床	有	有	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	402 m <sup>2</sup>	病床数	25 床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	251 m <sup>2</sup>			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	705 m <sup>2</sup>	鉄骨造	(主な設備) 生化学・免疫検査装置			
細菌検査室	334 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備) クリーンベンチ			
病理検査室	492 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット			
病理解剖室	106 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備) 解剖台			
研究室	7453 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備) 顕微鏡			
講義室	373 m <sup>2</sup>	鉄筋 コンクリート造	室数	2 室	収容定員	362 人
図書室	4476 m <sup>2</sup>	鉄筋 コンクリート造	室数	4 室	蔵書数	41万 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	72.8 %	逆紹介率	52.9 %
算出 根拠	A: 紹介患者の数		21,603 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		16,759 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,458 人
	D: 初診の患者の数		31,679 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
武田 和憲	社会保険診療報酬支払 基金宮城支部	○	医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
阿部 玲子	東北公済病院看護部		医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
三輪 佳久	齋藤・笹村法律事務所		法律に関する識見を有 する者	無	1
原 忠篤	東北医科薬科大学病院		医療を受ける者その他 医療従事者以外の者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。	

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数(人)
LDLアフェレンス療法	0
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	0
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	0
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術及び十二指腸空腸バイパス術	2
細胞診検体を用いた遺伝子検査	33
先進医療の種類の合計数	5
取扱い患者数の合計(人)	35

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	1
リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法 特発性ネフローゼ症候群(当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る。)	0
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	2
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術子宮頸がん(FIGOによる臨床進行期分類がI B期以上及びII B期以下の扁平上皮がん又はFIGOによる臨床進行期分類がI A2期以上及びII B期以下の腺がんであって、リンパ節転移及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。)	0
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	0
先進医療の種類合計	5
扱い患者数の合計(人)	3

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者検体の遺伝子変異検索に関する研究	取扱患者数	218
当該医療技術の概要 肺癌患者から採取した癌細胞の遺伝子変異(EGFRやEML4-ALK)を調べた上で適切な治療方針を決定している。			
医療技術名	大量出血を伴う手術の麻酔管理	取扱患者数	56
当該医療技術の概要 出血量5000ml以上の危機的出血に対し、麻酔科が主体となって、関連する検査部、輸血部と連携して患者を救命する。患者の生命が危機的状況にある場面においても、多数の麻酔科医を動員して緻密な麻酔管理を行うことにより、合併症を最小限に抑える。			
医療技術名	乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	73
当該医療技術の概要 乳癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し、0、1+、2+、3+の4段階に分類。このうち、0、1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは20%程度で、残りの80%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の乳癌診療ガイドライン、ASCOガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	骨軟部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHおよびPCRによる悪性遺伝子検査	取扱患者数	39
当該医療技術の概要 骨軟部腫瘍においては、滑膜肉腫やユーイング肉腫など、遺伝子学的な検査が診断に必須なものがあり、診断確定の目的で行う検査である。さらに遺伝子異常(転座)の証明が適応の有無を左右する抗がん剤も出てきており、診断のみでなく治療方針の点でも重要になってきている。また脳腫瘍に関しては、新WHO分類においてグリオーマなどの診断に遺伝子学的な情報が必須とわかれており、遺伝子検査を行わないと診断が確定できない状況となっている。診断確定、治療方針の決定や予後予測のために必須な検査である。			
医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	105
当該医療技術の概要 内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)に引き続き内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)を施行後、バスケットやバルーンで結石を除去する治療する方法で、ハイレベルな医療治療技術が必要である。			
医療技術名	体外衝撃波による膵石粉碎術	取扱患者数	18
当該医療技術の概要 ESWLを用いて膵石を破砕する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	225
当該医療技術の概要 早期食道癌および早期胃癌を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィー	取扱患者数	57
当該医療技術の概要 肝癌におけるCTと腹部超音波検査の画像をリアルタイムで同期可能な、当院で開発した検査法である。			
医療技術名	唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	776
当該医療技術の概要 唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療を行っている。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	24
当該医療技術の概要 G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、患者循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			



医療技術名	前立腺癌に対する強度変調放射線療法 (IMRT)	取扱患者数	73
当該医療技術の概要 強度変調放射線を用いることで自由度の高い放射線線量分布を達成し、直腸・尿道など前立腺周囲重要臓器の被ばく線量低減を図りながら腫瘍線量を増加することで、進行前立腺癌の治療成績を向上させる放射線療法。			
医療技術名	遠隔病理診断 (テレパソロジー)	取扱患者数	125
当該医療技術の概要 テレパソロジー (遠隔病理診断) は地方の病院から遠隔操作により病理画像を伝送し、病理診断を行う遠隔医療の一つである。これにより、病理医が不在の病院における術中迅速診断を可能とし、病理医不足と偏在を補うとともに、地域病院の医療の質の向上、地域医療への貢献に寄与するものである。			
医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	41
当該医療技術の概要 同種、血縁、非血縁の骨髄幹細胞、末梢血幹細胞を、前処置後に投与する。			
医療技術名	同種末梢血幹細胞移植術 (採取・調整・保存)	取扱患者数	29
当該医療技術の概要 G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、ドナー循環血液量の2倍の血液を一定の速度で体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	血液型不適合骨髄移植 (赤血球除去)	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 ABO・Rh(D)血液型主不適合骨髄移植の際に、ドナー由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄からアフレーション装置により、赤血球を除去する操作である。			
医療技術名	病的肥満症に対する腹腔鏡下袖状胃切除術	取扱患者数	11
当該医療技術の概要 病的肥満症は様々な併存疾患を有し、生命予後を短縮させることが分かっている。内科的治療ではリバウンドが多く欧米では外科的な減量手術 (胃の縮小を伴う手術) が一般的である。我が国では施行施設が少なくまだまだ一般的ではない。			
医療技術名	稀少遺伝子疾患の遺伝子診断と遺伝カウンセリング	取扱患者数	31
当該医療技術の概要 稀少遺伝子疾患に対して遺伝カウンセリングを施行し、遺伝子解析を実施する。			
医療技術名	末梢血幹細胞採取における造血幹細胞の定量	取扱患者数	59
当該医療技術の概要 自家または同種末梢血幹細胞採取の適否を判断するために、術前に末梢血CD34陽性細胞数を定量する。さらに移植に十分な造血幹細胞が得られているかどうかを判断するために、採取産物中に含まれるCD34陽性細胞数を定量する。			
医療技術名	上咽頭癌に対する化学療法併用した強度変調放射線療法 (IMRT)	取扱患者数	18
当該医療技術の概要 長期予後の望める上咽頭癌に強度変調放射線療法を導入することで、視神経や脳幹、耳下腺などQOLに関連する部位への照射線量を抑えつつ、病巣への線量を担保する治療法。			
医療技術名	重症急性膵炎による感染性膵壊死に対する内視鏡的壊死物質除去術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 近年NOTESの手技を応用し、経胃的に感染性膵壊死の部位に直接内視鏡を挿入し壊死物質を取り除く方法が試みられ、良好な成績が得られている。			
医療技術名	ドップラー血流評価と蛍光血流評価を併用した先進的食道再建術	取扱患者数	50
当該医療技術の概要 食道切除後の消化管再建術は、腹部消化管である胃、結腸を頸部まで挙上し吻合する高度な技術であるが、その成否は再建臓器の血流状態によるところが大きい。これを客観的データでとらえるために、ドップラー血流計を用いた血流絶対量の評価と、ICG蛍光カメラによるリアルタイムな視覚的血流評価を併用し、再建臓器の吻合最適部位を決定、安全で確実な消化管再建を実施している。			
医療技術名	腹臥位胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	51
当該医療技術の概要 胸腔鏡下食道切除術は従来側臥位で行われてきたが、腹臥位にすることにより、肺・心圧排操作の回避、より緻密なリンパ節郭清、副損傷の回避が可能となる。この術式はいまだ一般的ではなく、熟練食道外科医と麻酔科医の連携によって行われる高度な手術である。			

医療技術名	成人症例における歯科矯正用アンカースクリューを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	189
当該医療技術の概要			
従来の矯正歯科治療と比較し、歯科矯正用アンカースクリューを歯の移動の固定源として用いることにより、患者様の協力を必要とせず、歯の移動を効率的かつ効果的に行うことが可能となる。それにより、患者様の負担軽減、治療期間の短縮を図ることができる。さらに、短期間でより多くの歯の移動は可能となる為、外科的手術を避けることも可能となる。			
医療技術名	成長期症例における歯科矯正用アンカースクリューを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
骨格的な改善が必要な成長期症例(例:下顎前突)において、従来の矯正歯科治療では複雑な装置が必要であり、夜間のみでの使用となり、患者様の協力が得られにくく、効果的な骨格の改善を得ることが少なかった。しかし、歯科矯正用アンカースクリューを用いることにより、患者様の協力が得られやすく、24時間用いることができ、それにより将来外科的手術を回避できることが可能となる。			
医療技術名	リングブラケット装置を用いた矯正歯科治療	取扱患者数	7
当該医療技術の概要			
日本人の多くは審美的な原因により、矯正歯科治療を避ける傾向がある。しかし、舌側(裏側)に矯正装置(ブラケット)を装着することにより、矯正装置が全く見えことなく治療を行うことができる。現在では違和感も少なく、歯科矯正用アンカースクリューを併用することにより、従来の唇側に装着される装置と比較しても治療結果がほとんど差がなく治療を行えるようになった。			
医療技術名	全身麻酔下歯科治療	取扱患者数	13
当該医療技術の概要			
歯科治療恐怖症、嘔吐反射が著しい患者等、障害者等、通常の方法では歯科治療を受容できない患者に対し、全身麻酔下での歯科治療を行うものである。			
医療技術名	頭頸部がんに対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	646
当該医療技術の概要			
頭頸部がんの手術、化学療法、ならびに放射線治療前後の口腔ケア、感染原の除去(抜歯等)、開口訓練を行い、手術創部の感染や、術後の誤嚥性肺炎を予防し、さらに口腔の機能回復を図る治療			
医療技術名	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	取扱患者数	73
当該医療技術の概要			
大腸における早期癌又は腺腫を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	切除可能膵癌に対する術前化学療法	取扱患者数	32
当該医療技術の概要			
切除可能膵癌に対する標準治療戦略は手術先行であるが、手術時既に存在すると考えられる不顕性の転移病変に対して、全身状態の良い手術前に全身化学療法を行った後に切除を行う治療戦略。切除率の向上、生存期間の延長が期待できる。ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	進行・再発直腸癌に対する手術前化学放射線療法	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
直腸癌に対する化学放射線療法は本邦ではコンセンサスが得られていないが、米国では標準治療の一部となっている。手術の根治性を高め、予後を改善する可能性が期待される。放射線科医と胃腸外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除不能膵癌に対する化学療法・化学放射線療法後のサルベージ手術	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
切除不能と診断される膵癌に対して、一定期間治療が奏功した後に、切除を行う。化学療法・化学放射線療法のみで治療を行うよりも生存期間の延長や長期生存が得られる可能性が高まる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	頭頸部癌に対する密封小線源治療	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
口唇、舌、口腔など頭頸部の早期癌に対して、Au198が密封された小さなシードといわれる線源を局所麻酔下で永久刺入する治療を行っている。手術に比べ機能、形態温存に優れ、体外照射に比べて有害事象が軽度に抑えられる利点がある。歯科では顎の骨を放射線から守るために、マウスピースを作製、装着してもらい、放射線潰瘍や下顎骨壊死の予防を行っている。			
医療技術名	甲状腺癌に対するI-131内用療法	取扱患者数	49
当該医療技術の概要			
甲状腺分化癌にヨードが取り込まれるという性質を利用した組織内照射で、分化型甲状腺がんの転移病巣や腫瘍床の残存病変に対する治療として行われている。多発転移病変に対する腫瘍制御的治療としては数少ない手段である。			

医療技術名	持続血液透析濾過	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 急性腎不全の重症例や全身状態の悪い症例に対して行われる血液浄化法で、血液透析濾過を24時間持続的に行う。少量ずつ透析を持続的に行うため、全身状態に与える影響が少なく、血管外物質の除去効率が高い。			
医療技術名	血漿交換	取扱患者数	36
当該医療技術の概要 血液を血漿分離器で血球成分と血漿成分に分離した後に、病気の原因物質を含む血漿を廃棄して、それと同じ量の健常な方の血漿(新鮮凍結血漿)、もしくはアルブミン製剤を入れて置き換える治療法。劇症肝炎、肝不全、血栓性血小板減少性紫斑病、ステロイドや免疫抑制剤の治療効果が少ない活動性の強い膠原病(全身性紅斑性エリトマトーデスなど)、神経免疫疾患などが適応となる。			
医療技術名	エンドトキシン吸着	取扱患者数	4
当該医療技術の概要 エンドトキシン血症に伴う重症病態の改善のため、エンドトキシンを選択的に吸着除去する吸着型浄化器(トレミキシン)を用いた血液浄化療法。			
医療技術名	経皮的心肺補助(PCPS・VA-ECMO)	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 緊急心蘇生や重症心不全に対する循環補助が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を、膜型人工肺を用いて酸素化し動脈血として大腿動脈に送血閉鎖回路による補助循環である。			
医療技術名	体外膜型酸素化装置(VV-ECMO)	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 ARDSや重症肺炎(細菌性、ウイルス性)、肺外傷などの、低酸素血症や高二酸化炭素血症の重症呼吸不全が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。長期体外循環による呼吸補助を行うことにより、生体肺を休ませ、肺の回復を待つ治療法である。			
医療技術名	腹部コンパートメント症候群に対するOpen Abdominal Management	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 緊急開腹手術を要する患者さんのうち、一期的な閉腹により術後管理に困難が予想される症例に対してはOpen Abdominal Managementによる段階的閉腹を心がけている。1週間以上の集中治療管理を要するためにきめの細かい管理を要する。			
医療技術名	インプラントを用いた顎義歯治療	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 顎骨部、顔面部に大幅な実質欠損を有する顎欠損症例において、インプラントを併用することで義歯の維持、安定の向上を図る。			
医療技術名	前立腺癌に対するI-125密封小線源治療	取扱患者数	28
当該医療技術の概要 低リスク前立腺癌に対して、I-125密封小線源を前立腺局所に挿入、留置する治療を行っている。手術に比べ機能温存に優れ、有害事象が軽度で抑えられる。			
医療技術名	覚醒下脳外科手術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 脳に存在する機能野(言語野、運動野)を手術中に同定するために、患者を覚醒させ手術をおこなう技術。脳神経外科医の他に、神経麻酔医、脳波技師、高次脳機能学を専門とする医師の参加が必要となる。			
医療技術名	鏡視下食道癌手術における神経刺激装置を用いた術中リアルタイム反回神経の同定と温存	取扱患者数	40
当該医療技術の概要 食道癌手術の合併症のひとつに反回神経麻痺があり、術後の嘔声、誤嚥の原因となる胸腔鏡下食道切除術において術中リアルタイムに反回神経を刺激装置NIMで同定し、確実な温存と麻痺を回避するもの。			
医療技術名	自己免疫性肺胞蛋白症に対するGM-CSF吸入療法	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 自己免疫性肺胞蛋白症の進行予防および病態改善を目的としてGM-CSF吸入療法を実施している。吸入用GM-CSF製剤は海外より入手して行っている。			
医療技術名	血液吸着(エンドトキシン以外)	取扱患者数	19
当該医療技術の概要 血液を吸着カラムに通し、病気の活動性の元となる液性成分(エンドトキシンやビリルビン)を除去する。これは主に急性期の生命の危機がある状況を改善すべく行われる。また、病因が必ずしもはっきりしていない慢性かつ難治性の疾患において、疾患活動性を発揮するリンパ球や好中球、あるいは自己抗体を除去するカラムで血液を浄化する治療法である。			

医療技術名	腹水濾過濃縮再静注	取扱患者数	23
当該医療技術の概要 がん性腹膜炎、肝硬変、など腹水が大量に貯留し、難治性となる疾患は多岐にわたる。腹水にはがんや肝硬変に関連する細胞成分や液性因子が含まれている。この腹水を数リットル(3-7L程度)体外に抜き出し、無菌的に特殊なフィルターを通して濾過濃縮して可及的に生体に有害なサイトカインや細胞成分を除き、経静脈投与可能な質を担保し、元の患者に点滴再静注する治療法である。患者の腹満感の軽減、血漿製剤ではない自己の蛋白を再利用できる点で優れているが、濃縮工程や安全管理に高度な技術を要する治療である。			
医療技術名	正常眼圧緑内障に対する鍼治療	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 正常眼圧緑内障の治療は眼圧の低下や視神経保護、眼底血流低下の改善などが行われるが、従来の点眼薬や内服薬治療を行っていても視野障害が悪化する症例もあり、鍼治療が眼底血流改善の効果を有することが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療法である。			
医療技術名	肝門部領域胆管癌手術	取扱患者数	21
当該医療技術の概要 肝門部領域に発生した癌の切除には、局所の解剖の熟知や肝機能、残肝容積などから最適な術式を選択する必要がある。また、肝動脈、門脈などの再建が必要となる事も多く、術前、術中、術後ともに、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除境界膵癌に対する手術	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 膵臓癌は局所進行の程度により門脈や動脈に浸潤し、切除の可能性が五分五分となるような、切除境界例が多く存在する。このような症例に対して切除が可能かどうかは術前の念入な画像診断と、術中の局所の所見により判断され、安全に、かつ根治的に切除を行い、術後合併症の低減のためにはハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とする。			
医療技術名	食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術(POEM)	取扱患者数	40
当該医療技術の概要 食道アカラシアは、下部食道括約筋の弛緩不全が原因であるが、この部分の筋層を切開することが治療となる。POEMは経口軟性内視鏡で、食道粘膜下層に入り、筋層切開を行う手技で、体表に創がつかず、回復も早い。高度な手技であるが、有用性は高く、今後の標準治療になるものと思われる。			
医療技術名	ガスクロマトグラフによる口内気体分析	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 センサタイプガスクロマトグラフ、FPD方式ガスクロマトグラフをそれぞれ使用することで、高度な口臭症の診断・治療を行う。			
医療技術名	内視鏡を用いた口内アプローチによる低侵襲手術	取扱患者数	16
当該医療技術の概要 顎口腔外科の疾患の中には、病変の位置によって皮膚切開を併用する必要があるが、顔面神経障害や顔面醜形の問題がある。特に異所性埋伏歯、良性腫瘍、唾石症、外傷において、それらの問題を改善するため、内視鏡を併用した口内アプローチを用いることにより、手術の低侵襲化が期待される治療である。			
医療技術名	腹腔鏡補助下膵頭十二指腸切除術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 腹部手術の中で最も侵襲の高い手術の一つである膵頭十二指腸切除を腹腔鏡補助下に行うことで手術侵襲を軽減し、術後早期回復が期待できる治療である。			
医療技術名	腹腔鏡下袖状胃切除術+十二指腸空腸バイパス術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 病的肥満症に対して我が国では腹腔鏡下袖状胃切除術が保険承認されているが、我々の研究では十二指腸空腸をバイパスし食事が通らなくすることで肥満のみならず糖尿病の改善効果があることが示されており、糖尿病を合併した病的肥満患者に対する体重減少+糖尿病改善効果を認める有望な治療法である。			
医療技術名	High Resolution Manometry (HMR) による食道運動機能評価	取扱患者数	96
当該医療技術の概要 多チャンネル圧センサーカテーテルを経鼻的に食道内に挿入留置し、全食道の詳細な運動パターンを計測し、内視鏡ならびに食道バリウム透視では検出されない食道運動異常を検出する検査である。食道アカラシア、食道運動機能異常、ジャックハンマー食道の診断および治療評価を行う。			
医療技術名	慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するカテーテル治療	取扱患者数	169
当該医療技術の概要 慢性血栓塞栓性肺高血圧症は予後不良疾患であるが、カテーテルによる肺動脈形成術を当院では行っている。また、良好な成績を収めている。			

医療技術名	大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁植え込み術	取扱患者数	72
当該医療技術の概要 循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、コメディカルスタッフによるハートチームを結成し、高齢者を中心とした重症大動脈弁狭窄症に対して経カテーテル的大動脈弁植え込み術を施行しており、良好な成績を収めている。			
医療技術名	3次元マッピングシステムを用いたカテーテルアブレーション	取扱患者数	216
当該医療技術の概要 心房細動などの詳細な解剖の把握が必要となる不整脈治療において、CARTO, Navxなどの3次元マッピングシステムを用いて良好な成績を収めている。			
医療技術名	胃癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	13
当該医療技術の概要 胃癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し0, 1+, 2+, 3+の4段階に分類。このうち0, 1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは30%強で、残りの70%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の胃癌診療ガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	がんクリニカルシーケンス検査	取扱患者数	321
当該医療技術の概要 次世代シーケンサーを用いてがん関連遺伝子の遺伝子変異および融合遺伝子検査を行い、治療標的となる遺伝子異常の同定とその遺伝子異常に基づいた最適な治療薬の提案を行う。			
医療技術名	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 2 低位前方切除術	取扱患者数	23
当該医療技術の概要 直腸癌と診断され、他の臓器に浸潤がなくがんの進行度(ステージ)が0からIIIで、手術により病巣を完全に切除(根治手術)可能と判断された直腸癌治療のため、遠隔操作による手術ロボット「da Vinci Surgical System」を用いて、内視鏡下に行うもの。この装置(ロボット)を用いて、お腹の中の構造を立体的で高解像度な画像で把握して、操作ボックスの手術者の動きを術野において器具の微細な動きとして忠実に再現し、手術を行う。直腸が位置する狭い骨盤の中には性、排尿機能をつかさどる多数の神経が存在し、癌の根治性を担保しながら神経を温存することによって機能温存を図る可能が高くなる手術が可能と期待されています。			
医療技術名	生体部分肝移植における顕微鏡下動脈後壁支持吻合術	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 顕微鏡下動脈後壁支持吻合術は動脈にねじれの力をかけずに再建できる有用な手法である。これを生体部分肝移植における微小動脈再建に導入することで、動脈合併症軽減(閉塞、解離の軽減)に寄与すると考えられる。			
医療技術名	植込型補助人工心臓治療	取扱患者数	9
当該医療技術の概要 深刻なドナー不足のため現在心臓移植待機期間は3年を超えている。内科的治療抵抗性の重症心不全で、心臓移植が唯一の治療手段だったとしても、待機中に亡くなってしまいう患者が多い。植込み型補助人工心臓は、心臓移植までの橋渡し治療として、2011年に保険償還が下り、当院でも患者数が増えている。患者は在宅治療が可能になりQOLが向上。			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 腎盂尿管狭窄による先天性あるいは後天性の水腎症に対する手術である。従来は開腹あるいは腹腔鏡下での手術を行っていたが、ロボット支援手術による繊細な形成術と吻合によって良好な成績を収めている。			
医療技術名	腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 精巣腫瘍などによる後腹膜リンパ節郭清は開腹手術が標準術式であるが、郭清するリンパ節の範囲がある程度限局している症例では腹腔鏡下での郭清が可能であり、開腹術と比較して傷の大きさや術後の回復までの期間短縮などの点で大きなメリットがある。			
医療技術名	腸管不全関連肝機能障害に対する $\omega$ 3系脂肪製剤投与	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 肝機能障害を来した腸管不全症例に対する治療法の1つとして、 $\omega$ 3系脂肪製剤の投与が著明な改善効果を有すると報告されている。しかし、現在、国内で認可されている静脈投与可能な脂肪製剤は $\omega$ 6系脂肪製剤のみである。入手可能な $\omega$ 3系脂肪製剤はOMEGA VENだが、これは国内では製造・販売・承認されておらず、保険診療内では行えない治療で、倫理委員会の許可を得て行っている治療法である。			
医療技術名	婦人科癌に対する組織内照射	取扱患者数	40
当該医療技術の概要 婦人科癌において、腫瘍の大きさや形状によって、通常の腔内照射のみでは腫瘍に線量が十分カバーされない事もあるので、組織内照射を併用することで、抗腫瘍効果ならびに副作用軽減がより期待できる治療である。			

医療技術名	顎顔面領域でのCAD/CAMサージカルガイドによるコンピューター支援手術	取扱患者数	60
当該医療技術の概要 歯科顎口腔外科、形成外科、耳鼻科、歯科技術部門による連携により、顎骨切除時の三次元的な顎位復元を目的としたガイド作製や、矯正歯科と歯科顎口腔外科で治療にあたる顎矯正手術時の上顎骨位置決めスプリントの作製において、コンピューターシミュレーションを応用して術後予測を検討し、そのシミュレーションの確実な施行のためのサージカルガイドをCAD/CAMにて作製し、手術支援を行う。この支援手術により、手術時間の短縮、咬合機能、接触嚙下機能、審美的満足度の向上がはかれる。			
医療技術名	高強度硬質レジンブリッジ治療	取扱患者数	14
当該医療技術の概要 コンポジットレジンブリッジをグラスファイバーで補強することで、メタルフリーのブリッジを臼歯部に適応する治療であり、良好な成績を収めている。			
医療技術名	ロボット支援下食道切除術	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 高度な技術が求められる胸腔鏡下食道癌手術において、より繊細な操作のできるロボットを利用することにより反回神経麻痺の発生を抑制できるなどの効果が認められている。高度な技術と知識を要する手術である。			
医療技術名	食道癌放射線治療後の局所再発に対する光線力学療法	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 食道癌放射線治療後の局所再発に対して内視鏡下に行う治療方法。光感受性物質であるレザフィリンとレーザーを組み合わせ腫瘍細胞を壊死させる。Salvage食道切除術と比べ非侵襲的であり、かつ局所制御に優れている。			
医療技術名	胸椎後縦靭帯骨化症に対する3Dナビゲーションを用いた骨化巣前方浮上術	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 下肢に重篤な麻痺を生じる病態である胸椎後縦靭帯骨化症に対しては、その解剖学的な位置関係から前方の骨化巣を浮上させる極めて高度かつ難易度の高い手技が要求される。当院では3Dナビゲーションを用いた方法を導入している。			
医療技術名	脳磁図検査によるてんかん焦点の局在診断と機能野の同定	取扱患者数	105
当該医療技術の概要 ニューロンが活動する際に生じる磁場活動から活動源の皮質を評価する検査法である。優れた空間分解能を特徴とし、てんかん診断のみならずてんかん外科治療の術前診断にも重要な役割を果たす。一方で、専門性の高さなどのため、本邦で実施できる施設は東北大学を含め極めて限られている。			
医療技術名	ポリグリコール酸シートおよび自己フィブリン糊を用いた口腔外科手術	取扱患者数	13
当該医療技術の概要 顎口腔領域の手術における切除創面の被覆および局所止血を目的として、ポリグリコール酸シート(PGAシート)と共に自己フィブリン糊を用いる方法である。自己血漿から自己フィブリン糊調製装置(クリオシールシステム)により自己クリオプレシビテート(自己クリオ)と自己トロンビンを作製して用いる。創傷被覆・止血・接着に加え、組織修復促進や局所感染予防の効果も期待される。			
医療技術名	CAR-T細胞療法に用いる患者の末梢単核球の採取・調製・保管	取扱患者数	13
当該医療技術の概要 難治性悪性リンパ腫や急性リンパ性白血病への治療として、患者Tリンパ球をアフエーシスにより十分量採取し、遺伝子改変したキメラ抗原受容体を発現させ、患者体内に戻すのがCAR-T療法である。自己リンパ球採取が再生医療等製品の原材料に当たるため、品質管理体制に関して監査を受け、認可された施設のみが実施できる。			
医療技術名	重症呼吸不全患者に対するVV-ECMO	取扱患者数	12
当該医療技術の概要 VV-ECMOとは大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。肺移植待機患者やCOVID-19などによる重症呼吸不全は長期の肺障害を来す。移植待機期間の酸素化、換気機能をVV-ECMOにより臓器補助を行うことで、移植へつなげたり、過剰な呼吸器設定を避け、lung restによる肺保護を行い、肺障害の改善までの期間を乗り切ることができる。数カ月におわたる管理が必要であり、呼吸、循環、凝固、デバイス管理等、集学的な管理を必要とする。			
医療技術名	画像・髄液バイオマーカーを通じたアルツハイマー病の診断	取扱患者数	30
当該医療技術の概要 脳内の病理変化を反映する画像バイオマーカーや髄液バイオマーカーの組み合わせを通じて、早期の段階でアルツハイマー病を診断する技術。従来から用いられている認知機能検査・臨床症候・形態画像による診断よりも早期の段階の変化であるアミロイド・タウ・蓄積と神経細胞死のマーカーとの組み合わせで、認知機能低下や臨床症候が明らかとなる前の段階で判定する。			
医療技術名	左側乳がんに対する深吸気息止めVMATによる術後放射線治療	取扱患者数	12
当該医療技術の概要 左乳がんに対する乳房温存術後照射は一般的な治療方法であるが、従来の放射線治療技術では自由呼吸下に3次元原体照射を行うが、当施設に導入しているSyncTraxを用いて深吸気息止め下で回転型強度変調放射線治療(VMAT)を行うことで心臓や肺への被曝線量退席を軽減し、長期的な放射線障害の軽減を行っている。			

医療技術名	心臓移植治療	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
重症心不全の患者さんに対し、脳死ドナーからの心臓移植(認定施設/東北地方唯一)を施行している。			
医療技術名	腹部大動脈瘤に対する腹部分枝再建を伴うステントグラフト内挿術	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
腎動脈など、主要な分枝近くから腹部大動脈瘤が拡大している場合には従来のステントグラフト手術は実施できず、開腹手術を行う他に方法がなかった。本法により分枝を再建・温存した形で大動脈瘤ステントグラフト治療が可能であり、開腹手術が出来ないハイリスク患者に対して大動脈瘤治療が可能となった。			
医療技術名	深部静脈血栓後遺症に対する静脈カテーテル治療	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
深部静脈血栓症の合併症として静脈血栓後遺症がある。本症では深部静脈の慢性閉塞に伴う静脈圧上昇のため、下肢浮腫や潰瘍を生じて生活の質を落とすことに繋がるが、本治療によって下肢症状の大きな改善が期待できる。			
医療技術名	急性期深部静脈血栓症に対するカテーテル治療	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
深部静脈血栓症急性期に血栓を除去する目的でカテーテル治療を行う。本治療により下肢浮腫の大きな軽減と、静脈血栓後遺症の予防が可能となる。			
医療技術名	経皮的CTガイド下ラジオ波焼灼術による原発性アルドステロン症の治療	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
二次性高血圧症である原発性アルドステロン症の内、片側性のアルドステロン産生腺腫を原因とする症例に対し、CTガイド下にラジオ波焼灼針を原因副腎腺腫に穿刺、焼灼してアルドステロンを正常化する治療。 当院で行なった医師主導治験により2021年6月に保険収載された低侵襲治療である。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	83
取扱い患者数の合計(人)	4713

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	13	56	ベーチェット病	171
2	筋萎縮性側索硬化症	113	57	特発性拡張型心筋症	184
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	29
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	32	60	再生不良性貧血	45
6	パーキンソン病	131	61	自己免疫性溶血性貧血	5
7	大脳皮質基底核変性症	15	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	4	63	特発性血小板減少性紫斑病	65
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	65	原発性免疫不全症候群	28
11	重症筋無力症	66	66	IgA 腎症	72
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	51
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	298	68	黄色靱帯骨化症	15
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	41	69	後縦靱帯骨化症	86
15	封入体筋炎	15	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	60
17	多系統萎縮症	48	72	下垂体性ADH分泌異常症	23
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	70	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	28	74	下垂体性PRL分泌亢進症	9
20	副腎白質ジストロフィー	3	75	クッシング病	9
21	ミトコンドリア病	26	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	31	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	19
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	184
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	1
26	HTLV-1関連脊髄症	9	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	9
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	21	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	241
30	遠位型ミオパチー	9	85	特発性間質性肺炎	85
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	115
32	自己食空胞性ミオパチー	1	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	117
34	神経線維腫症	37	89	リンパ脈管筋腫症	45
35	天疱瘡	29	90	網膜色素変性症	53
36	表皮水疱症	3	91	バッド・キアリ症候群	6
37	膿疱性乾癬(汎発型)	11	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	93	原発性胆汁性肝硬変	75
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	15
40	高安動脈炎	97	95	自己免疫性肝炎	10
41	巨細胞性動脈炎	10	96	クローン病	397
42	結節性多発動脈炎	37	97	潰瘍性大腸炎	417
43	顕微鏡的多発血管炎	34	98	好酸球性消化管疾患	5
44	多発血管炎性肉芽腫症	23	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	8
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	42	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	8	101	腸管神経節細胞減少症	5
47	パージャー病	11	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	12	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	570	104	コステロ症候群	1
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	243	105	チャーシ症候群	0
51	全身性强皮症	90	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	98	107	若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	73	108	旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	0
54	成人スチル病	27	109	TNF受容体関連周期性症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	10	110	非典型溶血性尿毒症症候群	1
				フラウ症候群	0



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	4	166	弾性線維性仮性黄色腫	2
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	167	マルファン症候群	9
113	筋ジストロフィー	31	168	エーラス・ダンロス症候群	7
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	169	メンケス病	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	170	オキシビタル・ホーン症候群	0
116	アトピー性脊髄炎	0	171	ウィルソン病	6
117	脊髄空洞症	3	172	低ホスファターゼ症	0
118	脊髄髄膜瘤	0	173	VATER症候群	0
119	アイザックス症候群	3	174	那須・ハコラ病	0
120	遺伝性ジストニア	1	175	ウィーバー症候群	0
121	神経フェリチン症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	180	ATR-X症候群	0
126	ペリー症候群	0	181	クルーゾン症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	4	182	アペール症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	183	ファイファー症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
131	アレキサンダー病	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	187	歌舞伎症候群	0
133	メビウス症候群	0	188	多脾症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	189	無脾症候群	1
135	アイカルディ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
136	片側巨脳症	0	191	ウェルナー症候群	2
137	限局性皮質異形成	0	192	コケイン症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	193	プラダー・ウィリ症候群	2
139	先天性大脳白質形成不全症	1	194	ソトス症候群	1
140	ドラベ症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	196	ヤング・シン普森症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	197	1p36欠失症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	198	4p欠失症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	6	199	5p欠失症候群	0
145	ウエスト症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
146	大田原症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	202	スミス・マギニス症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	203	22q11.2欠失症候群	2
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
150	環状20番染色体体症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
151	ラスムッセン脳炎	1	206	脆弱X症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	207	総動脈幹遺残症	2
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	2	208	修正大血管転位症	7
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	209	完全大血管転位症	12
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	210	単心室症	11
156	レット症候群	0	211	左心低形成症候群	1
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	212	三尖弁閉鎖症	2
158	結節性硬化症	17	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	3
159	色素性乾皮症	0	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	11
160	先天性魚鱗癬	1	215	ファロー四徴症	22
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	216	両大血管右室起始症	10
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	23	217	エプスタイン病	2
163	特発性後天性全身性無汗症	15	218	アルポート症候群	3
164	眼皮膚白皮症	1	219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	220	急速進行性糸球体腎炎	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	271	強直性脊椎炎	29
222	一次性ネフローゼ症候群	51	272	進行性骨化性線維異形成症	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
224	紫斑病性腎炎	3	274	骨形成不全症	2
225	先天性腎性尿崩症	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	276	軟骨無形成症	1
227	オスラー病	6	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	3
228	閉塞性細気管支炎	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	13	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	2
230	肺胞低換気症候群	13	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	7
231	$\alpha 1$ -アンチトリプシン欠乏症	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	8
232	カーニー複合	2	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
233	ウォルフラム症候群	2	283	後天性赤芽球癆	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	2
235	副甲状腺機能低下症	1	285	ファンconi貧血	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	1
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	1	287	エプスタイン症候群	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	4
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
240	フェニルケトン尿症	12	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
241	高チロシン血症1型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	0
242	高チロシン血症2型	0	292	総排泄腔外反症	1
243	高チロシン血症3型	0	293	総排泄腔遺残	2
244	メープルシロップ尿症	1	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
245	プロピオン酸血症	1	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
246	メチルマロン酸血症	2	296	胆道閉鎖症	29
247	イソ吉草酸血症	0	297	アラジール症候群	3
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	298	遺伝性膀胱炎	3
249	グルタル酸血症1型	0	299	嚢胞性線維症	0
250	グルタル酸血症2型	1	300	IgG4関連疾患	67
251	尿素サイクル異常症	2	301	黄斑ジストロフィー	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	2
253	先天性葉酸吸収不全	0	303	アッシュヤー症候群	1
254	ポルフィリン症	1	304	若年発症型両側性感音難聴	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
256	筋型糖原病	2	306	好酸球性副鼻腔炎	15
257	肝型糖原病	5	307	カナパン病	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	308	進行性白質脳症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	309	進行性ミオクローヌステんかん	0
260	シトステロール血症	0	310	先天異常症候群	1
261	タンジール病	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
263	脳髄黄色腫症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
264	無 $\beta$ リポタンパク血症	1	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
265	脂肪萎縮症	1	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0
266	家族性地中海熱	7	316	カルニチン回路異常症	1
267	高IgD症候群	0	317	三頭酵素欠損症	0
268	中條・西村症候群	0	318	シトリン欠損症	3
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0			
322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0			
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0			
324	メチルグルタコン酸尿症	0			
325	遺伝性自己炎症疾患	1			
326	大理石骨病	0			
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2			
328	前眼部形成異常	0			
329	無虹彩症	3			
330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	1			
331	特発性多中心性キャッスルマン病	8			
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0			
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0			
334	脳クレアチン欠乏症候群	0			
335	ネフロン癆	0			
336	家族性低 $\beta$ リポタンパク血症1 (ホモ接合体)	0			
337	ホモシスチン尿症	6			
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	338
合計患者数(人)	5714

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟) 7対1入院基本料	・後発医薬品使用体制加算2
・特定機能病院入院基本料(精神病棟) 13対1入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算1
・救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・超急性期脳卒中加算	・データ提出加算2
・診療録管理体制加算1	・入退院支援加算1
・医師事務作業補助体制加算1(25対1)	・入退院支援加算3
・医師事務作業補助体制加算1(30対1)	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・急性期看護補助体制加算1	・精神疾患診療体制加算
・看護職員夜間配置加算(12対1)	・精神科急性期医師配置加算
・療養環境加算	・排尿自立支援加算
・重症者等療養環境特別加算	・地域医療体制確保加算
・無菌治療室管理加算1	・救命救急入院料3
・無菌治療室管理加算2	・特定集中治療室管理料1
・緩和ケア診療加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・精神科応急入院施設管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)
・精神病棟入院時医学管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児集中治療室管理料)
・精神科身体合併症管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科リエゾンチーム加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・摂食障害入院医療管理加算	・小児入院医療管理料2
・栄養サポートチーム加算	・緩和ケア病棟入院料1
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1	
・患者サポート体制充実加算	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・医療機器安全管理料2
・糖尿病合併症管理料	・精神科退院時共同指導料1及び2
・がん性疼痛緩和指導管理料	・歯科疾患管理料の「注11」に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・がん患者指導管理料イ	
・がん患者指導管理料ロ	・歯科疾患在宅療養管理料の「注4」に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医学管理料
・がん患者指導管理料ハ	
・がん患者指導管理料ニ	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の「注2」に掲げる遠隔モニタリング加算
・外来緩和ケア管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・糖尿病透析予防指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・小児運動器疾患指導管理料	
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・皮下連続式グルコース測定
・婦人科特定疾患治療管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・腎代替療法指導管理料	
・外来放射線照射診療料	・遺伝学的検査
・ニコチン依存症管理料	・有床義歯咀嚼機能検査1のイ
・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	・有床義歯咀嚼機能検査1のロ
・がん治療連携計画策定料	・咀嚼能力検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ
・外来排尿自立指導料	・有床義歯咀嚼機能検査2のロ
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・咬合圧検査
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・精密触覚機能検査
・薬剤管理指導料	・睡眠時歯科筋電図検査
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・骨髄微小残存病変量測定
・医療機器安全管理料1	・BRCA1/2遺伝子検査

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がんゲノムプロファイリング検査	・経気管支凍結生検法
・先天性代謝異常症検査	・画像診断管理加算3
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)	・歯科画像診断管理加算1
・抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・歯科画像診断管理加算2
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・CT撮影
・検体検査管理加算(IV)	・MRI撮影
・国際標準検査管理加算	・冠動脈CT撮影加算
・遺伝カウンセリング加算	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・外傷全身CT加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・心臓MRI撮影加算
・胎児心エコー法	・乳房MRI撮影加算
・時間内歩行試験	・小児鎮静下MRI撮影加算
・シャトルウォーキングテスト	・頭部MRI撮影加算
・ヘッドアップティルト試験	・全身MRI撮影加算
・人工臓臓検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・人工臓臓療法	・外来化学療法加算1
・長期継続頭蓋内脳波検査	・連携充実加算
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・無菌製剤処理料
・脳波検査判断料1	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・神経学的検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・補聴器適合検査	・運動器リハビリテーション料(I)
・黄斑局所網膜電図	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・全視野精密網膜電図	・がん患者リハビリテーション料
・ロービジョン検査判断料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・内服・点滴誘発試験	・認知療法・認知行動療法1

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・センチネルリンパ節加算
	・皮膚移植術(死体)
・医療保護入院等診療料	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1	・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1	・椎間板内酵素注入療法
	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・口腔粘膜処置	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・口腔粘膜血管腫凝固術	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)
・レーザー機器加算	・脳刺激装置交換術
・硬膜外自家血注入	・脊髄刺激装置植込術
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・脊髄刺激装置交換術
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・仙骨神経刺激装置植込術
・人工腎臓	・仙骨神経刺激装置交換術
・導入期加算2	・角膜移植術(内皮移植加算)
・腎代替療法実績加算	・羊膜移植術
・透析液水質確保加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・慢性維持透析濾過加算	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・手術用顕微鏡加算	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・網膜再建術
・CAD/CAM冠	・人工中耳植込術
・手術時歯根面レーザー応用加算	・人工内耳植込術

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型骨導補聴器移植術	・(1)内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術
・植込型骨導補聴器交換術	・(1)胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・(1)小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・(1)結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・(1)腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・(1)尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・(1)膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・(1)脛腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・内視鏡下筋層切開術
・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1	・胸腔鏡下弁形成術
・センチネルリンパ節生検(片側)(併用法)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・乳がんセンチネルリンパ節加算2	・胸腔鏡下弁置換術
・センチネルリンパ節生検(片側)(単独法)	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・磁気ナビゲーション加算
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・ペースメーカー移植術
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・ペースメーカー交換術
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカー)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	・ペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・同種死体肺移植術	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)
・生体部分肺移植術	・両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・(1)食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)
	・植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・植込型除細動器交換術(その他のもの)	・腹腔鏡下腓頭十二指腸切除術
・経静脈電極除去術	・同種死体腓移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)	・同種死体腓腎移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・生体部分小腸移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)	・同種死体小腸移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・補助人工心臓	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・同種心移植術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・同種心肺移植術	・同種死体腎移植術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)	・生体腎移植術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・膀胱水圧拡張術
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・胆管悪性腫瘍手術(腓頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・体外衝撃波胆石破碎術	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下肝切除術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡下手術用支援機器を用いる場合)
・生体部分肝移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・同種死体肝移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・体外衝撃波腓石破碎術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下腓腫瘍摘出術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1	・体外照射呼吸性移動対策加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1	・定位放射線治療
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
	・画像誘導密封小線源治療加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・保険医療機関間の連携による病理診断
	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・輸血管理料 I	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・コーディネート体制充実加算	・病理診断管理加算2
・自己生体組織接着剤作成術	・口腔病理診断管理加算2
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・クラウン・ブリッジ維持管理料(補綴物維持管理料)
・同種クリオプレシピテート作製術	・歯科矯正診断料
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・歯周組織再生誘導手術	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・入院時食事療養(I)
・顎関節人工関節全置換術(歯科)	・向精神薬多剤投与に係る医師の届出
・歯根端切除手術の注3	・ハイケアユニット入院医療管理料1【新型コロナウイルス感染症患者の受入れ等のための簡易な報告】
・麻酔管理料(I)	
・麻酔管理料(II)	・
・歯科麻酔管理料	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(切除が困難で進行性のもの又は術後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	・
・泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	290回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	26例
	剖検率(%)	3.10%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
語性失読の障害機序の解明と、それに基づいた訓練手技の開発に関する研究	遠藤 佳子	リハビリテーション部門	780,000	⑩補委	独立行政法人日本学術振興会
認知行動療法が心身症患者の自己評価機能に及ぼす効果の脳画像による検証	佐藤 康弘	心療内科	1,430,000	⑩補委	独立行政法人日本学術振興会
上皮系細胞から上皮間葉転換(EMT)誘導を応用した歯胚形成	齋藤 幹	小児歯科	2,990,000	⑩補委	独立行政法人日本学術振興会
筋層非浸潤性膀胱癌の進展リスク予測と進展予防への糖鎖バイオロジカルアプローチ	嶋田 修一	泌尿器科	650,000	⑩補委	独立行政法人日本学術振興会
PJDを応用した機能性フッ素化アパタイト成膜による新規予防填塞法の開発	泉田 一賢	周術期口腔健康管理部	260,000	⑩補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的遺伝子解析を用いた、老齢マウスにおける骨欠損修復メカニズムの解明	猪狩 洋平	口腔機能回復科	1,170,000	⑩補委	独立行政法人日本学術振興会
パラジウムに反応する特異的T細胞受容体の遺伝子導入細胞株や遺伝子導入マウスの作製	武田 裕利	歯科顎口腔外科	910,000	⑩補委	独立行政法人日本学術振興会
医師主導臨床研究でのePROシステムの開発と普及	高田 宗典	臨床試験データセンター(臨床研究推進センター)	520,000	⑩補委	独立行政法人日本学術振興会
副鼻腔真菌症の原因真菌とその微生物叢解析による重篤化予防と疾患制御に関する研究	角田 梨紗子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	780,000	⑩補委	独立行政法人日本学術振興会
合併症が再現でき消化管の層構造をもつ、安全な内視鏡治療手技モデルを開発する	菅野 武	総合地域医療教育支援部	2,860,000	⑩補委	独立行政法人日本学術振興会
MOG抗体関連脳脊髄炎における細胞性免疫動態に関する研究	三須 建郎	脳神経内科	1,170,000	⑩補委	独立行政法人日本学術振興会
Radiomics技術を用いてCT画像のみから肺機能画像を作成する手法の開発	角谷 倫之	放射線治療科	1,040,000	⑩補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒツジ胎仔を用いた人工子宮システムの開発: 成育限界児に対する効果と安全性の評価	渡邊真平	周産母子センター	1,430,000	⑩補委	独立行政法人日本学術振興会

肺高血圧を伴う慢性肺疾患肺における肺胞傷害・修復機転の検討と治療法の開発	大田千晴	小児科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小胞輸送機構を基軸としたB型肝炎ウイルス感染の病態解明と臨床応用に向けた研究	井上淳	消化器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ピロリ菌除菌後の炎症性発癌過程における口腔内雑菌による胃粘膜バリア傷害機序の解明	宇野要	消化器内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新たに同定されたチオプリン代謝酵素NUDT15のヒト血球内活性測定法の開発	志賀永嗣	消化器内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Rhoキナーゼを介した心筋症の冠微小循環障害による心筋リモデリングの機序解明	建部俊介	循環器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
臓器間ネットワークによる肝糖新生制御機構の解明	金子慶三	糖尿病代謝科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵・消化管神経内分泌腫瘍におけるCNPY2の肝転移関連機序の解明	水間正道	肝・胆・膵外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
中枢性メラトニン/mTOR交叉経路に着目した高齢者くも膜下出血の病態制御への挑戦	山本修三	加齢・老年病科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がんサバイバーの生殖補助医療におけるMRTの応用を目指した研究	立花眞仁	産科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規インドール化合物MA-5による難治不妊の克服を目指した研究	志賀尚美	婦人科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
長鎖非翻訳RNAによる歯周炎発症制御機構の解明	鈴木茂樹	歯周病科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯胚再生実現化へ向けた歯原性間葉細胞のHDAC3阻害による歯根長制御の試み	新部邦透	咬合修復科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
福島第一原発事故後に形成された歯における内部被ばく量推定法の確立	高橋温	障がい者歯科治療部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
講義と実習を連動させた効果的な漢方教育プログラムの開発と教育効果の検証	高山真	総合地域医療教育支援部	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早期患者安全教育は医学生への患者安全に対する意識を高めるか？	田畑雅央	医療安全推進室	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

抗菌薬耐性菌の多施設全 県サーベイランスと細菌学 的解析による伝播リスク評 価法の開発	徳田 浩一	感染管理室	1,170,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
動画モーションキャプチャ による摂食嚥下機能の外部 観察評価システムの構築	貴田岡亜希	障がい者歯科治療部	650,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
骨-脳連関に着目した高 齢者コグニティブ・フレイル の神経基盤の解明	高野由美	加齢・老年病科	910,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
肺がん3Dオルガノイド長 期継代株の樹立手法の確 立と臨床応用	野津田泰嗣	呼吸器外科	1,560,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
MR導電率マッピングによ る乳房非造影撮像プロ トコールの確立	前川由依	放射線診断科	390,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
尿酸塩結晶による冠動脈 の局所炎症を標的とした 先進的診断・治療法開発	西宮健介	循環器内科	1,300,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
心停止肝細胞移植におけ るviability上昇のための新 しい機械灌流法の開発	藤尾淳	乳腺・内分泌外科	910,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
十二指腸空腸バイパス術 後の代謝改善メカニズム における胆汁酸の意義と 腸肝循環の変化	井本博文	胃腸外科	1,170,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
ソナゾイドと改良エンベ ロープ法を基盤とした次世 代超音波ガイド下神経ブ ロックの確立	大西詠子	手術部	1,300,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
ICUビッグデータのヒューリ スティック探索:AIで解明 する赤字にならない集中 治療	志賀卓弥	集中治療部	1,300,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
ニコチンアミド(水溶性ビタ ミン)を用いた妊娠高血圧 腎症に対する新規治療法 の開発	只川真理	産科	1,430,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
必須微量元素セレン欠乏 に注目した急性感音難聴 の病態解明	大越明	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	1,170,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
Cochlear synaptopathyに 対する予防法・治療法の 開発	鈴木淳	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	1,040,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
口腔癌細胞の代謝活性と 環境因子の関連をリアル タイムモニタリング法で探 る	森島浩允	歯科顎口腔外科	650,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
歯髄痛覚系に対する交感 神経の末梢修飾機序の解 明	嶋田雄介	顎口腔画像診断科	910,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
超音波顕微鏡のメカニズ ムを応用した、歯科疾患の 科学的診断方法の確立	長沼由泰	障がい者歯科治療部	650,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会

口唇裂患者の包括的な顔面口腔形態と口腔機能の関連性に関する研究	板垣祐介	顎口腔機能治療部	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
硬組織蓄積性放射線傷害の概念に基づいた新たながん放射線治療有害事象の予防戦略	百々美奈	口腔支持療法科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
嘔吐するモデル動物スキunksの戻し交配で解明するPONVの遺伝学的機序	杉野繁一	手術部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
MDM2を中心とした食道扁平上皮癌の化学放射線抵抗性因子と新規分子標的薬の研究	岡本 宏史	移植・再建・内視鏡外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
非小細胞肺癌における免疫化学併用療法の新規治療効果予測・標的因子の病理学的探索	齊藤涼子	病理部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
癌代謝解析による腎癌細胞のチロシンキナーゼ阻害薬耐性獲得機序と新規治療標的の解明	川崎芳英	泌尿器科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TP53 signatureの他がん腫への応用のための研究	高橋信	腫瘍内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多系統蛋白質症－ALSにおける神経筋選択的な細胞変性メカニズムの解明	割田仁	神経内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍診断目的のFDG PETにおける心筋集積と心臓疾患の関連に関する前向き研究	高浪健太郎	放射線診断科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム編集マウスを用いたBリンパ球欠損症新規原因遺伝子の証明	菊池敦生	小児科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
先天性大脳白質形成不全症に伴う末梢神経障害の病態解明と治療法の確立	植松有里佳(沼田有里佳)	小児科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺移植患者におけるHIRA-TAN法での起炎病原体の探求	平間崇	呼吸器外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性閉塞性肺疾患病態における細胞内DNA認識機構の関与の解明	小荒井晃	呼吸器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
COPDにおける肺胞上皮細胞のストレス応答機構と微小環境相互作用の検討	藤野直也	呼吸器内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖代謝非依存性乳がんにおける診断・治療の一体化戦略の構築:アミノ酸代謝に着目して	原田成美	乳腺・内分泌外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
代謝改善手術によるNASH改善機序の解明 胆汁酸動態の変化からの検証	田中直樹	胃腸外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

体外肺灌流装置を用いたマージナルドナー肺の肺葉機能診断法の開発	新井川弘道	呼吸器外科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ジャボニカアレイを用いた股関節形成不全の疾患感受性遺伝子の探索	千葉大介	整形外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性膀胱痛症候群の病態分類と重症度を評価可能する尿中バイオマーカーの確立	川守田直樹	泌尿器科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性腸疾患併発下で難治化する根尖性歯周炎の分子病態解析と新規治療標的の検索	八幡祥生	歯内療法科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リン酸カルシウム遺伝子導入剤による機能性抗菌コーティングのインプラント周囲炎応用	天雲太一	咬合回復科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体データに基づく個別別筋骨格シミュレーションに関する研究	重光竜二	咬合回復科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食の力を測る新システム開発と咀嚼機能評価	菊池雅彦	総合歯科診療部	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
拡散テンソル画像を応用した咬筋内部筋線維動態の解析手法の確立	庄原健太	咬合回復科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
破骨細胞前駆細胞の骨組織への遊走を制御する $\gamma$ $\delta$ T細胞の機能解明と分子標的薬の検討	西村寿晃	顎口腔機能治療部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ウェアラブルデバイスを用いた周産期の不眠実態の解明と睡眠介入プログラムの作成	菊地紗耶	精神科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
特発性正常圧水頭症の認知・精神・行動障害に関連する神経基盤の解明	菅野重範	高次脳機能障害科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
もよもや病感受性遺伝子RNF213多型保持健康者における潜在的画像所見のAI解析	園部真也	高度救命救急センター	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
再生医療等製品の細胞材料における媒介物質エクソソームを用いた機能評価法の確立	沖田ひとみ	臨床研究推進センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
予期せぬ副作用回避のための薬物-胆汁酸相互作用研究:OATP4C1に着目して	佐藤紀宏	薬剤部	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
間質性肺炎合併肺癌における癌関連線維芽細胞の特徴に関する検討	井上千裕	個別化医療センター	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
進行胃癌のDIC併発に関連する遺伝子発現異常の網羅的探索研究	大内康太	腫瘍内科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会



網羅的遺伝子解析による多系統蛋白質症の神経筋共通病態解明と治療標的分子の探索	井泉瑠美子	神経内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ALSにおける活性化アストロサイトの極性転換に着目した新規治療法の開発	四條友望	神経内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
双極性障害発症ハイリスク状態の研究:診断基準の確立と行動・認知的変化の解明	桂雅宏	精神科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
MRIによる癒着胎盤の定量的診断方法の開発	佐藤友美	放射線診断科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胸部放射線治療中の腫瘍縮小および体内変化により変動する心臓被曝線量評価の研究	高橋紀善	放射線治療科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
MRIと流体固体相互作用解析の融合による内臓動脈瘤塞栓後の再開通リスク因子の解明	鎌田裕基	放射線診断科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺の機能と形態の線量評価を融合した放射線肺臓炎予測モデルの構築	勝田義之	放射線治療科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規病因遺伝子GALMを含むガラクトース血症と若年性白内障発症との関連	和田陽一	小児科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮内における慢性低酸素ストレスが胎児の副腎皮質に与える影響の解析	池田秀之	小児科(周産母子センター)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リンパ管腫瘍モデルマウスによる発症メカニズムの解明と治療への応用	野澤明史	遺伝科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工子宮システムに胎盤の内分泌作用として付与するCRH持続投与の有効性の検討	佐藤信一	小児科(周産母子センター)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫抵抗性克服のための非小細胞肺癌における放射線照射がもたらす免疫応答の解析	突田容子	呼吸器内科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿中落下細胞に含まれる多能性幹細胞の同定と解析	内田奈生	小児科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乾癬、感染症、メタボリック症候群における抗菌ペプチドカセリサイディンの関与	高橋隼也	皮膚科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Ah受容体が進行期皮膚扁平上皮癌へ与える影響の解析	日高高徳	皮膚科学分野	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肥満に伴う高インスリン血症における肝臓が及ぼす影響とその機序の探索	浅井洋一郎	糖尿病代謝科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

細胞外マトリックス阻害による腫瘍免疫活性化を目指した新規肺癌治療戦略	青木修一	総合外科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳死肺移植における広域周波オシレーション法の有用性に関する研究	新國悦弘	リハビリテーション部門	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
LILRB4免疫チェックポイント機構の解明と肺癌における臨床的意義の検討	田中遼太	呼吸器外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
誘導ヒトシュワン様細胞移植を用いた難治性神経障害性痛に対する根治的治療法の開発	村上徹	麻酔科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工呼吸関連肺傷害の血管内皮傷害における内皮微小粒子の病態生理学的作用の解明	武井祐介	麻酔科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メタボローム解析による骨軟部肉腫のバイオマーカー探索	吉田新一郎	整形外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨新生能と生体内吸収性を有する人工骨の開発	馬場一慈	整形外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規低弾性チタン合金であるTi-Nb-Sn合金を用いた骨折治療インプラントの開発	上村雅之	整形外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マイクロパルス毛様体光凝固術の作用機序及び予後因子の解明	國分太貴	眼科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎代謝に依存しない特殊表面加工したMg合金の開発	佐藤顕光	形成外科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工乳房に対する未分化大細胞型リンパ腫発生機序の解明-免疫反応と慢性炎症の関与-	三浦千絵子	形成外科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨造成後のインプラント周囲骨の経年的変化に影響する生体力学的背景因子の検討	佐藤智哉	歯科インプラントセンター(咬合回復科)	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
還元ストレスをiPS細胞の分化誘導に応用した新規骨再生技術の開発	渡辺隼	歯科医療管理部	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口唇口蓋裂患者の口腔感覚特性の解明	島田栄理遣	顎口腔機能治療部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
矯正学的歯の移動の促進に向けた低出力超音波パルスによる骨改造亢進効果の検討	坂本麻由里	矯正歯科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒストンメチル基転移酵素EZH2は牽引力による歯根膜の骨芽細胞分化を制御するか	伊藤新	矯正歯科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

咀嚼能力とプレイルの関連にサルコペニア肥満は媒介するのか～中間媒介分析を用いて～	沼崎貴子	口腔機能回復科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
患者安全におけるレジリエンス能力は新たなシミュレーション教育で向上するか？	荒田悠太郎	卒後研修センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
バイオマーカーを活用した新規せん妄予測スコアの開発	佐久間篤	精神科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝性嚢胞性腎・肝疾患への運動療法の効果の機序解明	三浦平寛	内部障害リハビリテーション科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
変形性膝関節症者の屋内・屋外環境下での膝関節にかかる負荷の相違	矢口春木	リハビリテーション部門	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳卒中片麻痺患者の不整地歩行時の安定性制御様式と転倒リスク及び身体活動量の関係	本田啓太	リハビリテーション部門	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心臓死ドナー肺をターゲットとした体外肺灌流装置を用いた肺機能回復法の開発	新井川弘道	呼吸器外科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超音波波形解析による術中異常血管識別法の開発	下田由輝	脳神経外科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
進行性下顎頭吸収の新規治療法の開発に向けた生物学的メカニズムの解明	野上晋之介	歯科顎口腔外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔癌所属リンパ節郭清による肺転移活性機序の解明と予防法の開発	宮下仁	歯科顎口腔外科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵液中エクソソームによる膵癌進展機序の解明と新規診断法の開発	滝川 哲也	消化器内科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心停止肝細胞移植におけるviability上昇のための新しい機械灌流法の開発	藤尾淳	移植・再建・内視鏡外科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
複雑閉鎖空間中の爆風による生体内衝撃波伝播防止のための衝撃波工学・医学的検討	中川敦寛	脳神経外科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大規模MRIデータベース・治療的介入を用いた、心機能が脳の老化に及ぼす影響の研究	鈴木秀明	循環器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
患者個別化医療に向けた治療前の医療画像のみから腫瘍の縮小を予測する手法の開発	田中祥平	放射線治療科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
WntシグナルによるABCC3・胆汁酸を介した新規大腸癌発癌機構の解明	小林実	卒後研修センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

難治性骨格筋変性疾患におけるRNA顆粒解析	池田謙輔	脳神経内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Stanford B型大動脈解離における血流動態解析とCFDモデルの最適化	樋口慧	放射線診断科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網膜神経節細胞障害を高感度に検出するウイルスベクターの作成と薬剤スクリーニング	矢花武史	眼科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
活性型ビタミンD3による制御性T細胞の増強と治療への応用	田中志典	歯科麻酔疼痛管理科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞由来軟骨細胞塊の血管新生因子制御を基盤とした骨再生技術の開発	河阪幸宏	咬合修復科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ダイナミックな酸素濃度の変化が口腔がん細胞の代謝に及ぼす悪影響	篠原優太	咬合回復科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
HeterogeneousなTi-Fe傾斜拡散層によるチタンの耐摩耗性表面改質	山口洋史	咬合回復科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯の発生と分化過程におけるmicro RNAの役割解明	中村友昭	小児歯科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エナメル質石灰化におけるin vitro解析システムの開発	但野愛実	小児歯科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
放射線誘発性肺障害の予測モデルおよび進展モデルの構築に関する研究	山本貴也	放射線治療科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ものづくり日本のアイデアと技術を盛り込んだ移植肺体外灌流システムの日加共同開発	渡辺有為	呼吸器外科	6,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
HOTAIRによる腎癌悪性化メカニズムの探索と治療への応用	方山博路	泌尿器科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔癌の低侵襲治療に向けたMRI・PETの定量的指標を用いた画像診断法の確立	小嶋郁穂	顎口腔画像診断科	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫受容活性化チロシンモチーフを有する新規分子の骨代謝と矯正学的歯の移動への作用	小川紗衣香	矯正歯科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
S1PR1シグナル制御による脳血液関門保護を介したくも膜下出血の新規治療法開発	伊藤明	脳神経外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ポストコロナを見据えた、実地疫学を軸とした感染症危機管理体制の構築と活用	吉田真紀子	検査部	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

ヒト膵癌におけるvasohibin-2発現意義と免疫治療への展開	三浦孝之	肝・胆・膵外科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
筋萎縮性側索硬化症モデルにおける軸索分岐異常の分子基盤の解明	鈴木直輝	神経内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
MOG抗体関連疾患の臨床表現型と重症化に関する分子免疫病理学的解析	高井良樹	脳神経内科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
非造影灌流MRIによる前交通動脈瘤術後高次機能障害診断システム構築	山崎哲郎	放射線診断科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NF- $\kappa$ B経路の異常による自己免疫疾患の病態解明	森谷邦彦	小児科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多面的アプローチによるニーマンピック病C型の病態分子機構と病態生理の解明	前川正充	薬剤部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工子宮装置を用いた胎児発育遅延モデルにおける脳障害の解析	埴田卓志	小児科(周産母子センター)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム不安定性による体細胞モザイクを介したクローン病の発症・病態変化の解析	角田洋一	消化器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Rho-kinase活性に着目した微小血管狭心症の新規治療法及び治療戦略の確立	白戸崇	臨床研究推進センター	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺高血圧症における遺伝的新規予後規定因子の探索	矢尾板信裕	循環器内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CYP27A1を標的とした新規喘息治療薬の開発に向けての基礎的研究	市川朋宏	呼吸器内科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪性黒色腫真皮内浸潤におけるIL-17/LL37シグナルの役割の解明	藤村卓	皮膚科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
表皮I $\kappa$ B $\zeta$ を軸とした皮膚細菌叢異常による自己免疫疾患発症機構の解析	水芦政人	皮膚科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
転写因子GATA-2を介した造血幹細胞と造血微小環境の機能的連関の解明	藤原亨	血液・免疫科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
B細胞遺伝子発現に基づく病原性形質芽細胞を標的としたSLEの新規治療法の開発	藤井博司	リウマチ膠原病内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
共通病態を基盤とした高安動脈炎と潰瘍性大腸炎を包括する新規症候群の検討	白井剛志	血液・免疫科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

D型乳酸アシドーシスを予防する効果的プロバイオティクスの確立	安藤亮	小児外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心停止肝に対する、酸素化灌流とMuse細胞移植を融合した臓器修復再生法の開発	宮城重人	移植・再建・内視鏡外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞死パターンから解明する胆道閉鎖症の病因・病態	佐々木英之	小児外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オルガノイド培養を応用した大腸癌に対する次世代個別化医療の実現に向けて	唐澤秀明	胃腸外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胆管癌における休眠がん細胞のメカニズムの解明	益田邦洋	肝・胆・膵外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌におけるヘキソサミン経路を介した化学療法誘導転移及び耐性獲得機序の解明	有明恭平	肝・胆・膵外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Bile cell-free DNAを用いゲノム多様性を標的とした胆道癌新規治療	中川圭	肝・胆・膵外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸全摘・回腸囊肛門吻合術後の腸内環境の変化と回腸囊炎発症メカニズムの解明	渡辺和宏	胃腸外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌発癌と浸潤転移能獲得機構における低分子G蛋白Ralの機能解析	大塚英郎	肝・胆・膵外科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規生体吸収性素材による大動脈解離断端形成法の確立と有効性に関する研究	伊藤校輝	心臓血管外科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腹部大動脈瘤患者における次世代シーケンサーを用いた瘤壁中の腸内細菌の網羅的解析	田島悠太	移植再建内視鏡外科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
赤外線照射による植込型補助人工心臓ドライブレイン感染の制御	片平晋太郎	心臓血管外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
開心術後の縦隔内癒着予防のための生体吸収性薬剤徐放性代用自己心膜の開発	前田恵	心臓血管外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自然免疫とサブタイプに着目した慢性移植肺機能不全のメカニズム解明	渡邊龍秋	呼吸器外科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規肺移植後免疫抑制療法の開発を目指した間葉系幹細胞由来の細胞外小胞の解析と応用	大石久	呼吸器外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺葉移植戦略の確立 - 局所二酸化炭素濃度測定による肺葉機能評価 -	渡辺有為	呼吸器外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

敗血症性DICにおけるマイクロパーティクルの動態およびその病態生理学的役割の解明	齋藤浩二	集中治療部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アーク型光音響トランスデューサーを用いた軟部肉腫反応層の評価	綿貫宗則	整形外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮内炎症の早期診断マーカーの探索および早期治療法の開発	築地謙治	臨床研究監理センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3世代コホート調査を用いた生殖補助技術特有のゲノム遺伝子異常の探索的研究	菅原淳史	産科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大規模出生コホートから月経関連症状の長期的変化を捉える	渡邊善	婦人科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
予後不良卵巣癌における薬剤抵抗性の機序解明と新規治療標的の開発	徳永英樹	産婦人科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オルガノイドとオミックス解析による頭頸部非扁平上皮癌の個別化医療モデルの開発	佐藤亜矢子(中目亜矢子)	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
瘢痕化定量技術と薬剤ナノ粒子化による組織移行性の高い濾過胞瘢痕抑制薬の開発	津田聡	眼科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
前眼部組織間のトランスオミックス解析による包括的な眼圧上昇機序の解明	横山悠	眼科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合解析を用いた網膜神経節細胞別の脆弱性に関わる緑内障障害シグナル伝達経路の探索	面高宗子	眼科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔樹状細胞を標的とした舌下免疫療法の効果増強法の開発	田中志典	歯科麻酔疼痛管理科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
RANKL逆シグナルと破骨細胞エクソソームを基軸とした新規歯周組織再生療法の開発	向阪幸彦	歯周病科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
静電誘導型発電シートを用いたウェアラブル型リアルタイム咬合力測定方法の開発	依田信裕	咬合回復科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咀嚼筋fMRIを応用した口腔機能とフレイルの多角的関連解析	山口哲史	口腔機能回復科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
AI機械学習を基盤とした支台歯形成技能評価システムの自律化	奥山弥生	咬合修復科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
形状記憶ゲルを利用した周術期医療にも対応可能な顎補綴装置の開発	小山重人	顎顔面口腔再建治療部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

高周波振動刺激の骨形成促進効果を利用したインプラント治療支援機器の開発	宮下牧子	咬合回復科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マイクロ波ドライプロセスによるTiN表面改質のインプラントアバットメントへの応用	伊東明代	咬合回復科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
矯正学的歯の移動時における低出力超音波パルスによる骨改造亢進機構の解析	福永智広	矯正歯科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
レジンによるアレルギーおよび免疫増強効果の機序解明	坂東加南	矯正歯科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TNF- $\alpha$ による骨細胞の遺伝子発現の網羅的解析	小川紗衣香	矯正歯科	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新型コロナウイルス感染症療養患者の健康管理アルゴリズム確立及び管理ツールの開発	石井正	総合地域医療教育支援部	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
放射線従事者に資する持続可能な放射線被曝防護システムの開発	常陸真	放射線診断科(放射線部)	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
未知の薬物相互作用の解明を目指したCYP4F2活性への薬物の影響評価	佐藤裕	薬剤部	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬による自己免疫疾患関連有害事象のバイオマーカー探索	高崎新也	薬剤部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NSAIDsによるABCC3とROSを介した家族性大腸腺腫症の発癌抑制機構の解明	小林実	卒後研修センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胆汁由来オルガノイドによるIgG4関連硬化性胆管炎の新規診断法の開発	吉田直樹	消化器内科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
個人の脳領域間の結合性を反映したニューラルネットワークによる自閉症認知特性の再現	高橋雄太	精神科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ディープラーニングを用いた新MRIシーケンス開発～小児の肝機能画像評価の実現	青木英和	放射線診断科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
透析シャント狭窄低減のための血流要因解析	木下知	放射線診断科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経筋疾患のミトコンドリア機能異常の解析と新規治療薬MA-5の効果の検証	及川善嗣	小児科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵の限局的脂肪化・限局的萎縮の病態解明と膵癌早期診断への臨床応用	三浦晋	消化器内科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会



Notch1細胞膜受容体維持を介した細胞老化誘導による胃癌発癌抑制機序の解明	金笑奕	消化器内科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オミックス解析に基づく頻脈誘発性心筋症と拡張型心筋症の鑑別バイオマーカーの探索	長谷部雄飛	循環器内科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
冠動脈機能異常の成因と機序に内皮由来弛緩因子が果たす役割の解明	神戸茂雄	循環器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心原性院外心停止患者におけるハイブリッド救急室を用いた診療システムの有効性の検討	須田彬	循環器内科	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性閉塞性肺疾患における活性イオウ分子種産生酵素の解析と新規抗酸化治療薬の創出	佐野寛仁	呼吸器内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
活性イオウ分子種によるマクロファージ細菌貪食能を介した新規COPD治療戦略の開拓	佐藤慶	呼吸器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規抗酸化分子によるT細胞活性制御機構の解明と新規免疫・アレルギー治療の開発	沼倉忠久	呼吸器内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺線維化と鉄動態	東出直樹	呼吸器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自然免疫系気道アレルギー炎症における活性イオウ分子種の役割解明	光根歩	呼吸器内科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん微小環境のTSLPシグナルをターゲットとしたCAR-T療法の肺がんへの応用	渋谷里紗	呼吸器内科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NAD代謝による組織因子制御と慢性腎臓病血栓症の予防法開発	大江佑治	血液浄化療法部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病性腎臓病における腸腎連関の解明と新規DKDバイオマーカーの確立	菊地晃一	腎・高血圧・内分泌科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪性リンパ腫の自然退縮メカニズムの解明	市川聡	血液・免疫科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト膵島における嗅覚受容体を介したインスリン分泌機構の解明	宗像佑一郎	糖尿病代謝科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
単一前脳基底部細胞のゲノム網羅的遺伝子発現解析から迫る手術後せん妄の機序解明	紺野大輔	集中治療部	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
α1受容体拮抗薬の抗アレルギー作用の検討	阿部望	手術部	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

てんかん診療における心理社会評価の信頼性・妥当性検証による標準化の取組み	藤川真由	てんかん科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
低活動膀胱に対する低出力衝撃波およびPDE5阻害薬を用いた新規治療法の開発	佐藤琢磨	泌尿器科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗アポトーシスタンパクをターゲットとした子宮内膜症および卵巣癌治療の開発	渋谷祐介	婦人科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎盤幹細胞モデルを用いた前置胎盤の遺伝子発現とエピゲノム制御	濱田裕貴	産科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
RTK/RAS/PI3K遺伝子異常による頭頸部腫瘍発生を抑制する一治療への展開	黒沢是之	形成外科	3,120,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒトiPS細胞由来網膜神経節細胞におけるミトコンドリア機能障害の検討	小林航	眼科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
酸化ストレスによる細胞老化とSTING経路に着目した糖尿病網膜症の病態解明	安田正幸	眼科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
L-アセチルカルニチンの重要性ならびに神経保護治療への応用	前川重人	眼科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マイクロRNAを最適化した力学応答歯根膜細胞エクソソームによるDDSの基盤構築	丸山頭太郎	歯周病科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
帯電による結合作用を利用した新規石灰化促進タンパク質製剤の開発	長崎敦洋	咬合修復科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
熱拡散を応用したチタンのマルチファンクション化表面改質法の確立	山口洋史	咬合回復科	2,990,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プリン作動性シグナルを介した新たな骨リモデリング促進機構の解明	宍戸香	矯正歯科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯科矯正用インプラントによる顎整形力を骨格性上顎前突へ応用した際の生物学的検討	真山敦	矯正歯科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯の発生におけるIGFBPの機能解明とIGF1を基軸とした再生歯形態制御への応用	大柳俊仁	矯正歯科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血流と内皮細胞の相互作用から迫るもやもや病の発症機序解明	富永悌二	脳神経外科	15,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
嘔吐するモデル動物スナックスを用いた手術後悪心嘔吐の脳内機序の解明	杉野繁一	手術部	4,160,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

抗精神病薬類の網羅的分析法の開発と統合失調症患者の治療薬物モニタリングへの応用	鈴鹿雅人	薬剤部	470,000	①補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
Nrf2依存的リプログラミングを標的とした膵癌新規治療法開発	濱田晋	消化器内科	1,040,000	①補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会

ファスジルのPCI関連心筋障害予防効果に対する検討	菊地翼	循環器内科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢出産妊婦の効果的な支援方法の検討	小林奈津子	精神科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸腫瘍の発育進展過程における周囲間質の線維芽細胞の役割	下山雄丞	消化器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における2型自然リンパ球の機能解析	町山智章	リウマチ膠原病内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
COPD増悪病態におけるretinoic acid receptorの関与の検討	相澤洋之	呼吸器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心不全および致死性不整脈に対する遠隔治療指針開発のための基盤研究	野田崇	循環器内科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
関節窩軟骨欠損が関節窩の接触圧に与える影響	川上純	整形外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SアデノシルメチオニンのBリンパ球分化・活性化での機能の解明	加藤浩貴	血液内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌に対するMAT2A阻害剤の効果とDNAメチル化異常との関連の解明	杉沢徳彦	胃腸外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌の腹腔洗浄液を用いたリキッドバイオプシーによる腹膜播種への臨床的応用性の検討	千葉和治	肝・胆・膵外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メタボロミクスを用いたアルドステロン産生腺腫の新規バイオマーカーの探索	手塚雄太	腎・高血圧・内分泌科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪肝の細胞ストレス応答に関与するTCA回路中間体の解析と治療応用に向けた研究	佐野晃俊	消化器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ラクトフェリンによる骨再生増進効果と臨床への応用	岩間亮介	歯科顎口腔外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
包括的遺伝子情報に基づいた新規生分解性Mgデバイスの形状および表面処理技術の開発	柳沢佑太	歯科顎口腔外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規骨吸収抑制シグナルの同定	佐々木桃子	小児歯科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

パルスジェットと超音波硬度計測器を併用した硬度選択的う蝕治療システムの開発	横山由加(佐藤由加)	顎口腔画像診断科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト・家畜・環境水に由来する志賀毒素産生性大腸菌の包括的分子疫学研究	馬場啓聡	総合感染症科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NRF2活性化モニタリングマウスを用いた内耳酸化ストレス障害の局在と病態の研究	大石哲也	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規ミトコンドリア病治療候補薬MA-5の細胞保護効果と作用機序の解明	松橋徹郎	小児科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体に内在する多能性幹細胞Muse細胞の肝切除周術期における血中動態測定への解析	伊関雅裕	肝・胆・膵外科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳心血管病高リスク患者の個別化リスク管理のための包括的リスク層別化モデルの開発	大山宗馬	循環器内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
特発性低身長への網羅的遺伝子解析による新規責任遺伝子の探索	島彦仁	小児科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯の中に照射の痕跡として残された炭酸ラジカル測定による低線量計測法の開発	高橋温	障がい者歯科治療部	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
レセプトデータを用いた高齢者におけるPolypharmacyに関する薬剤疫学研究	富田尚希	老年科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
線溶系制御因子を標的とした新規複合的がん免疫療法の確立	藤村卓	皮膚科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腸内細菌叢(特にAM菌)と肥満・糖尿病外科手術後減量・糖尿病改善効果の関連の解明	井本博文	胃腸外科	184,600	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎生期の脳subplate損傷における過成熟反応の解析	池田秀之	周産母子センター	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

胎生期の脳subplate損傷における過成熟反応の解析	佐藤信一	周産母子センター	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎生期の脳subplate損傷における過成熟反応の解析	埴田卓志	周産母子センター	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎生期の脳subplate損傷における過成熟反応の解析	渡邊真平	周産母子センター	975,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Total Survey Errorの枠組みによる調査データ評価手法の確立	富田尚希	老年科	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肥満および脂質異常症による術後痛増強メカニズムの解明	杉野繁一	手術部	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
共役因子MTI-IIによるエストロゲンシグナル調節を介した硬組織再生療法の開発	鈴木茂樹	歯周病科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
標的指向性マイクロバブルと金属ナノ粒子及び低出力超音波を用いた口腔癌治療法の確立	丹田奈緒子	口腔支持療法科	39,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
局所進行非小細胞肺癌に対する肺機能画像を用いたオーダーメイド放射線治療法の開発	角谷倫之	放射線治療科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
国際医学物理ネットワークを軸とした放射線治療における先端技術の創出と普及	角谷倫之	放射線治療科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
味覚障害の改善は「フレイル予防」につながる-唾液を用いた免疫学的測定法の開発-	佐藤しづ子	総合歯科診療部	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超音波併用脳内局所広範囲薬剤投与方法を用いた画期的なアルツハイマー病新規治療法開発	下田由輝	脳神経外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超音波併用脳内局所薬剤送達システムの臨床応用に向けた研究 研究課題	富永悌二	脳神経外科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

社会的弱者を対象とする臨床研究時代の新たな研究倫理フレームワークの構築	高野忠夫	婦人科	910,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
縦断的解析による注意欠如・多動性障害発症の予測因子の解析	和田陽一	小児科	130,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
縦断的解析による注意欠如・多動性障害発症の予測因子の解析	大田千晴	小児科	260,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
持続肺換気保存法を用いたドナー肺機能改善と長時間肺保存法の開発	大石久	呼吸器外科	104,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
持続肺換気保存法を用いたドナー肺機能改善と長時間肺保存法の開発	平間崇	呼吸器外科	91,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
医療行為の結果を質向上する多施設共同カイゼン研究デザインの確立に関する研究	田畑雅央	医療安全推進室	130,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
BNP分子型を用いたトランスレーショナルリサーチ	高濱博幸	循環器内科	130,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
能動的精密表面温度計測を用いた熱パルスレーダーによる癌の生体内診断	藤村卓	皮膚科	910,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
リン酸八カルシウム・コラーゲン複合体と自家骨とによる広範囲顎骨再建法の確立	江副祐史	顎口腔外科	65,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
肺動脈性肺高血圧症における2型自然リンパ球の役割	藤井博司	血液・免疫科	50,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
肺動脈性肺高血圧症における2型自然リンパ球の役割	藤原亨	検査部	110,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
ドナー肺の冷保存と体外肺灌流を組合わせた体外肺保存装置の開発と最適保存条件の検討	新井川弘道	呼吸器外科	390,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会

小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆膵疾患の調査研究	仁尾正記	小児外科	16,900,000	補 委	厚生労働省
希少難治性筋疾患に関する調査研究	青木正志	脳神経内科	24,986,000	補 委	厚生労働省
認知症者における抑うつ・無気力に対する治療法に関するエビデンス構築を目指した研究	鈴木匡子	高次脳機能障害科	1,900,000	補 委	厚生労働省
障害者の支援機器開発に携わる医療・福祉・工学分野の人材育成モデル構築に資する研究	出江紳一	リハビリテーション医学分野	14,670,000	補 委	厚生労働省
高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究	鈴木匡子	高次脳機能障害科	1,000,000	補 委	厚生労働省
環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法等の確立のための研究	金森肇	総合感染症科	1,554,000	補 委	厚生労働省
医療情報データベースの活用推進に関する研究	中山雅晴	医学情報学分野	6,500,000	補 委	厚生労働省
次世代医療情報交換標準規格FHIRを用いたPHR統一プラットフォームの開発	中山雅晴	医学情報学分野	20,000,000	補 委	厚生労働省
就労系障害福祉サービス事業所におけるテレワークによる就労の推進のための研究	藤川真由	てんかん科	250,000	補 委	厚生労働省
運動失調症の医療水準、患者QOLの向上に資する研究班	青木正志	脳神経内科	700,000	補 委	厚生労働省
遺伝性白質疾患・知的障害をきたす疾患の診断・治療・研究システム構築	植松有里佳	小児科	600,000	補 委	厚生労働省
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	仁尾正記	小児外科	300,000	補 委	厚生労働省
次期がん対策推進基本計画に向けて小児がん拠点病院および連携病院の小児がん医療・支援の質を評価する新たな指標開発	笹原洋二	小児科	200,000	補 委	厚生労働省
子宮頸がん検診におけるHPV検査導入に向けた実際の運用と課題の検討のための研究	八重樫伸生	婦人科	500,000	補 委	厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	石井智徳	臨床研究・実施部門	180,000	補 委	厚生労働省
特発性心筋症に関する調査研究	安田聡	循環器内科	300,000	補 委	厚生労働省



新生児スクリーニング対象疾患等の先天代謝異常症における生涯にわたる診療体制の整備に関する研究	和田陽一	小児科	700,000	補委	厚生労働省
慢性活動性EBV感染症と類縁疾患の疾患レジストリ情報に基づいた診療ガイドライン改定	笹原洋二	小児科	200,000	補委	厚生労働省
多系統蛋白質症(MSP)患者の全国実態調査と診療体制構築に関する研究	青木正志	脳神経内科	300,000	補委	厚生労働省
関連学会の取組と連携したPROガイドラインの作成	鈴嶋よしみ	肢体不自由リハ科	400,000	補委	厚生労働省
性分化・性成熟異常を伴う内分泌症候群(ブラダーウイリ症候群・ヌーナン症候群を含む)の診療水準向上を目指す調査研究	青木洋子	遺伝科	400,000	補委	厚生労働省
IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	正宗淳	消化器内科	800,000	補委	厚生労働省
難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究	仁尾正記	小児外科	200,000	補委	厚生労働省
原発性免疫不全症候群の診療ガイドライン改訂、診療提供体制・移行医療体制構築、データベースの確立に関する研究	笹原洋二	小児科	1,000,000	補委	厚生労働省
脳死下、心停止後の臓器・組織提供における効率的な連携体制の構築に資する研究	久志本成樹	救急科	400,000	補委	厚生労働省
一類感染症等の患者発生時に備えた臨臨床的対応に関する研究	徳田浩一	総合感染症科	300,000	補委	厚生労働省
循環器病に係る急性期から回復期・慢性期へのシームレスな医療提供体制の構築のための研究	安田聡	循環器内科	500,000	補委	厚生労働省
成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの充実化に資する研究	大島謙吾	総合感染症科	400,000	補委	厚生労働省
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、移行医療体制の構築、診療ガイドライン確立に関する研究	笹原洋二	小児科	600,000	補委	厚生労働省
筋ジストロフィーの標準的医療普及のための調査研究	青木正志	脳神経内科	300,000	補委	厚生労働省
新型コロナウイルス感染症に対する院内および施設内感染対策の確立に向けた研究	富田博秋	精神科	514,695	補委	厚生労働省
運動失調症の医療水準、患者QOLの向上に資する研究班	青木正志	脳神経内科	700,000	補委	厚生労働省

先天異常症候群のライフステージ全体の自然歴と合併症の把握:Reverse phenotypingを包含したアプローチ	青木洋子	遺伝科	950,000	(補)委	厚生労働省
特発性造血障害に関する調査研究	張替秀郎	血液・免疫科	600,000	(補)委	厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	青木正志	脳神経内科	900,000	(補)委	厚生労働省
新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究	井上淳	消化器内科	400,000	(補)委	厚生労働省
先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療および移行期医療支援に関する研究	香取幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	100,000	(補)委	厚生労働省
難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上に資する研究	石井智徳	臨床研究・実施部門	250,000	(補)委	厚生労働省
稀少てんかんに関する包括的研究	神一敬	てんかん科	600,000	(補)委	厚生労働省
先天性骨髄不全症の登録システムの構築と診断基準・重症度分類・診断ガイドラインの確立に関する研究	張替秀郎	血液・免疫科	700,000	(補)委	厚生労働省
神経変性疾患領域の基盤的調査研究	青木正志	脳神経内科	900,000	(補)委	厚生労働省
循環器病に関する適切な情報提供・相談支援のための方策と体制等の効果的な展開に向けた研究	富永悌二	脳神経外科	200,000	(補)委	厚生労働省
もやもや病(ウイリス動脈輪閉塞症)における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究	富永悌二	脳神経外科	500,000	(補)委	厚生労働省
がん患者の療養生活の最終段階における体系的な苦痛緩和法の構築に関する研究	田上恵太	緩和医療科	500,000	(補)委	厚生労働省
ARO拠点機能を活用した医療機器ベンチャー教育・人材育成	富永 悌二	病院(臨床研究推進センター)	49,400,000	補(委)	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
国内外のDecentralized Trial 実施に当たっての課題及び対応策に関する研究 Study on issues and	鈴木 由香	臨床研究推進センター	2,600,000	補(委)	学校法人東京理科大学
医工連携を基盤としたオープン・イノベーション・プラットフォーム構築	張替 秀郎	臨床研究推進センター	86,361,328	(補)委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
東北大学病院における医療技術実用化総合促進拠点構築	張替 秀郎	臨床研究推進センター	166,383,966	(補)委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

医工連携拠点の支援を活用した異分野融合型研究開発の最適化	張替 秀郎	臨床研究推進センター	49,605,706	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
拠点を基点とし、地域と世界をつなぐhub and spoke形成型拠点整備事業	富永 悌二	病院(臨床研究推進センター)	8,195,807	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
臨床研究総合促進事業	富永 悌二	病院(臨床研究推進センター)	48,625,000	補 委	厚生労働省
恒常性の理解と制御による糖尿病および併発疾患の克服	片桐秀樹	糖尿病代謝科	21,840,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
末梢臓器情報を中枢に伝達する分子機序解明とその制御法の開発	片桐秀樹	糖尿病代謝科	9,100,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
糖尿病における肝の変容解明とその制御	片桐秀樹	糖尿病代謝科	9,100,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
糖尿病超早期段階の予測法の開発と予後予測	片桐秀樹	糖尿病代謝科	1,300,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
遠心性神経による臓器機能調節の実態解明とその制御法の開発	新妻邦泰	脳神経外科	2,600,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
糖尿病における脳血管の変容解明と制御	新妻邦泰	脳神経外科	10,400,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
低CO2と低環境負荷を実現する微細藻バイオリファインリーの創出	中川敦寛	SH推進室	1,608,264	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
哺乳類の能動的低代謝である冬眠から着想を得た新しい臓器保存戦略	渡辺有為	呼吸器外科	2,314,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
抗コロナウイルス免疫能測定技術の開発と実用化	玉田勉	呼吸器内科	2,990,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
Dysferlinopathyおよび類似疾患の遺伝子解析と結合蛋白に注目した病態・治療研究	青木正志	脳神経内科	400,000	補 委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
バイオデザインと連携した医療ロボット人材育成	中川敦寛	脳神経外科	300,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
婦人科悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	八重樫伸生	婦人科	500,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
試料集積の方法検討、トランスレーショナル実施案検討	武田一也	放射線治療科	100,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター

RASopathies新規原因遺伝子検索と患者登録研究	青木洋子	遺伝科	1,500,000	補 委	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
胎児MRIの最適化:先天性頸部、胸部疾患の胎児MRIの撮像の有用性と最適化	青木英和	放射線診断科	140,000	補 委	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
世界モデルとなる自律成長型人材・技術を育む総合健康産業都市拠点	安田聡	循環器内科	300,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
マルチモーダルAIを用いた視覚指標による幸福度評価	中澤徹	眼科	6,500,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
慢性肝疾患患者と一般住民の血中アミノ酸プロファイルに基づくサルコペニア・リスクスコアの確立と栄養介入療法の開発	井上淳	消化器内科	500,000	補 委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
遠隔病理診断装置の実用化	藤島史喜	病理部	560,000	補 委	気仙沼市
新型コロナウイルス感染症流行期における糖尿病患者の行動変容・重症化に関する多施設共同後ろ向き研究	片桐秀樹	糖尿病代謝科	200,000	補 委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
経静脈的ラジオ波焼灼による原発性アルドステロン症の低侵襲根治療法	高瀬圭	放射線診断科	14,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
COVID-19感染重症患者における凝固異常の病態解明と早期治療戦略の構築	齋藤浩二	集中治療部	26,533,326	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)肺炎に対するPAI-1阻害薬TM5614のプラセボ対照二重盲検第II相医師主導治験	張替秀郎	血液・免疫科	325,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
緑内障のカルパイン活性化の生体内イメージングシステムの開発	中澤 徹	眼科	12,100,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
組織の適応・修復のための神経シグナルを介した細胞増殖制御機構の解明	今井淳太	糖尿病代謝科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
非閉塞性冠動脈疾患患者における冠動脈機能の性差に関する研究開発	高橋潤	循環器内科	10,400,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
心臓カテーテル検査・治療中に生じる難治性冠攣縮に対するファスジルの有効性及び安全性に関する無作為化、プラセボ対照二重盲検比較試験	下川宏明	循環器内科	26,858,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
医薬関係者による副作用報告の質向上に向けた情報連携のあり方の研究	眞野成康	薬剤部	4,060,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
神経疾患特異的iPS細胞を活用した病態解明と新	青木正志	脳神経内科	5,000,000	補	国立研究開発法人 日本医療

規治療法の創出を目指した研究	月小中心	脳神経外科	3,000,000	委	国立研究開発機構
脳内広範囲薬剤送達システムの開発ー塩酸ニムスチン局所投与による脳腫瘍治療法ー	富永悌二	脳神経外科	51,801,100	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
個体・臓器老化研究拠点	片桐秀樹	糖尿病代謝科	478,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
NUDT15遺伝子型に基づき個人に最適化された安全かつ有効的なチオプリンによる免疫調節療法の開発	角田洋一	消化器内科	39,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
嚥下障害患者の安全な経口摂取を支援する咽喉頭感覚評価法の研究	香取幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	3,090,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
植込型補助人工心臓装着予定患者を対象とした出血性合併症リスクの事前予測に基づいた個別化精密医療・最適化補助人工心臓治療の実現	齋木佳克	心臓血管外科	12,905,750	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ヌーナン症候群類縁疾患の診断・診療ガイドライン作成に向けたエビデンス創出研究	青木洋子	遺伝科	12,905,750	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
経静脈的ラジオ波焼灼による原発性アルドステロン症の低侵襲根治療法	高瀬圭	放射線診断科	37,570,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
個別化医療を実現するAI・ビッグデータ活用と循環器疾患発症・重症化予測	安田聡	循環器内科	13,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
パーソナルヘルスレコードによる生活習慣病合併心血管病患者の診療の質向上を目指した研究	後岡広太郎	循環器内科	19,500,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
重症気管支喘息に対する先制医療を実現するためのマルチオミックスを用いた探索的研究	杉浦久敏	呼吸器内科	13,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
活性イオウ分子種の抗酸化・抗炎症作用に基づく新規眼内灌流液の開発	中澤徹	眼科	64,428,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
進行性悪性黒色腫治療における抗PD-1抗体とのTM5614の安全性・有効性を検討する第II相試験	藤村卓	皮膚科	104,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
衝撃波アブレーションカテーテルシステムの開発	下川宏明	循環器内科	13,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
新規遺伝性膵炎原因遺伝子TRPV6変異による膵炎発症機序の解明と治療応用	正宗淳	消化器内科	10,400,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多層オミックス解析による個別化緑内障創薬 ※国費	中澤徹	眼科	30,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

多層オミックス解析による個別化緑内障創薬 ※企業原資(間接経費なし)	中澤徹	眼科	30,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)肺炎に対するPAI-1阻害薬TM5614のプラセボ対照二重盲検第II相医師主導治験	張替秀郎	血液・免疫科	117,650,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Ferroptosis: molecular basis and links to human aging and neurodegenerative disease.	Rashad Sherif	脳神経外科	3,993,665	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験	大内憲明	乳腺・内分泌外科	104,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
網膜中心動脈閉塞症に対する神経保護薬の開発のための患者レジストリの構築及び早期第II相臨床試験	中澤徹	眼科	69,076,267	補 委	千寿製薬株式会社 (国立研究開発法人 日本医療研究開発機構)
全身性エリテマトーデス(SLE)の自然免疫系と自己免疫系の連関に中心的に関与する因子を特定するための臨床研究	石井智徳	血液・免疫科	2,060,500	補 委	エーザイ株式会社(国立研究開発法人 日本医療研究開発機構)
4次元照射領域最適化を実現する放射線治療計画支援システムの開発	角谷倫之	放射線治療科	14,300,130	補 委	アイテム株式会社(国立研究開発法人 日本医療研究開発機構)
ハイドロゲルを基材とする頭蓋内有機物電極の開発	中川敦寛	脳神経外科	12,430,000	補 委	株式会社ユニークメディカル (国立研究開発法人 日本医療研究開発機構)
AYA世代の精神疾患高リスク群における予防的睡眠マネジメントに関する研究	富田博秋	精神科	600,000	補 委	学校法人東邦大学 (国立研究開発法人 日本医療研究開発機構)
対面診療に比したオンライン診療の非劣性試験: COVID-19によって最も影響を受け得る精神疾患に対するマスタープロトコル試験による検証	富田博秋	精神科	2,600,000	補 委	学校法人慶應義塾 (国立研究開発法人 日本医療研究開発機構)

眼内悪性リンパ腫に対するブルトンキナーゼ阻害剤を用いた中枢再発予防法による医師主導多施設共同治験	福原規子	血液・免疫科	130,000	補 委	国立大学 法人東京 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
オールジャパン拡張型心筋症ゲノムコホート研究によるゲノム医療の発展	後岡広太郎	循環器内科	650,000	補 委	国立大学 法人東京 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
B型肝炎ウイルスの感染性エンベロープ形成を阻害する治療法の開発	井上淳	消化器内科	1,820,000	補 委	国立大学 法人熊本 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
内視鏡検診対象群のリクルートおよび継続受診の勧奨	正宗淳	消化器内科	100,001	補 委	公益財団 法人宮城 県対がん 協会(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
失明回避を目指す開放隅角緑内障の遺伝的リスク予測に関する研究開発	中澤徹	眼科	2,253,940	補 委	国立大学 法人九州 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
子宮頸癌ⅠB期-ⅡB期根治手術例における術後放射線治療と術後化学療法との第Ⅲ相ランダム化比較試験	島田宗昭	婦人科	65,000	補 委	静岡県立 静岡がんセ ンター(国 立研究開 発法人日 本医療研 究開発機 構)
難ブラ標準レジストリーを使用し、新生児マスクリーニング対象疾患等の遺伝子変異を考慮したガイドライン改定に向けたエビデンス創出研究	和田陽一	小児科	559,000	補 委	国立大学 法人東海 国立大学 機構(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
がん患者の抑うつ・不安に対するスマートフォン精神療法の最適化研究:革新的臨床試験システムを用いた多相最適化戦略試験	井上彰	緩和医療科	260,000	補 委	公立大学 法人名古 屋市立大 学(国立研 究開発法 人日本医 療研究開 発機構)

オンライン被験者検査・被験者募集	富田尚希	老年科	1,950,000	補 委	国立大学 法人東京 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
Cellm-001による初発膠芽腫治療効果無作為比較対照試験	金森政之	脳神経外科	1,430,000	補 委	東京女子 医科大学 (国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構)
早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験	神宮啓一	放射線治療科	312,000	補 委	国立大学 法人広島 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
新型コロナウイルスに対する体外式膜型肺(ECMO)診療データベースの利活用	久志本成樹	救急科	650,000	補 委	国立大学 法人広島 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
中央診断とモニタリング	張替秀郎	血液・免疫科	780,000	補 委	国立大学 法人福井 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	福原規子	血液・免疫科	1,300,000	補 委	国立大学 法人山形 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
慢性血栓塞栓性肺高血圧症における肺動脈バルーン形成術の医療の質評価及びフィードバックシステムを構築する社会実装研究	安田聡	循環器内科	130,000	補 委	国立研究 開発法人 国立循環 器病研究 センター (国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構)
医師主導治験の実施(症例登録及びプロトコル遂行)	徳永英樹	婦人科	1,820,000	補 委	国立大学 法人千葉 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)



医師主導治験の実施(症例登録及びプロトコル遂行)	徳永英樹	婦人科	2,860,000	補 委	国立大学 法人千葉 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	綿貫宗則	整形外科	390,000	補 委	国立大学 法人岡山 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
中性脂肪蓄積心筋血管症の診療に直結するエビデンス創出研究	後岡広太郎	循環器内科	130,000	補 委	国立大学 法人大阪 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
オピオイド不応の神経障害性疼痛に対するプレガバリンとデュロキセチンの国際共同ランダム化比較試験	井上彰	緩和医療科	325,000	補 委	国立研究 開発法人 国立がん 研究セン ター(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
進行・再発子宮頸癌の予後向上を目指した集学的治療の開発	八重樫伸生	婦人科	195,000	補 委	国立研究 開発法人 国立がん 研究セン ター(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
t(8:21)およびinv(16)陽性AYA・若年成人急性骨髄性白血病に対する微小残存病変を指標とするゲムツズマブ・オゾガマイシン治療介入の有効性と安全性を評価する研究	横山寿行	血液・免疫科	130,000	補 委	国立大学 法人長崎 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
可及的摘出術が行われた初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置用剤を用いた標準治療確立に関する研究	金森政之	脳神経外科	260,000	補 委	学校法人 北里研究 所(国立研 究開発法 人日本医 療研究開 発機構)
「シスプラチンを含む化学療法を施行される子宮がん患者の嘔気・嘔吐に対する六君子湯の効果ープラセボ対照無作為化二重盲検比較検証試験」の分担機関として自施設の患者登録を推進する	徳永英樹	婦人科	325,000	補 委	国立大学 法人北海 道大学(国 立研究開 発法人日 本医療研 究開発機 構)

核酸検出等の方法を用いた原発性免疫不全症等治療可能な新生児・小児期疾患に対する新生児マスキューニング法の開発	笹原洋二	小児科	1,300,000	補 委	国立大学 法人東京 医科歯科 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
レジストリを活用した慢性血拴塞栓性肺高血圧症に対するエドキサバンの適応拡大のための第Ⅲ相医師主導治験	安田聡	循環器内科	1,820,000	補 委	国立大学 法人九州 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
顕微鏡的多発血管炎および多発血管炎性肉芽腫症に対するトシリズマブの有効性、安全性、薬物動態に関する医師主導治験	石井智徳	血液・免疫科	390,000	補 委	学校法人 東京女子 医科大学 (国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構)
小児がんレジストリーを用いた転移性肝芽腫に対する薬剤開発戦略としての国際共同臨床試験	福澤太一	小児外科	500,501	補 委	国立大学 法人広島 大学(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
臨床試験統括と検体収集	横山寿行	血液・免疫科	130,000	補 委	国立大学 法人東海 国立大学 機構(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	島田宗昭	婦人科	195,000	補 委	学校法人 昭和大学 (国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構)
成人SMA患者レジストリの整備、成人期SMAの臨床的検討、SMA予後マーカー・因子の探索	青木正志	脳神経内科	390,000	補 委	国立大学 法人東海 国立大学 機構(国立 研究開発 法人日本 医療研究 開発機構)
クラウド計算環境を利用したゲノム医科学研究の倫理・技術課題の調査と実践	角田洋一	消化器内科	3,250,000	補 委	国立研究 開発法人 国立国際 医療研究 センター (国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構)

慢性腎臓病を合併した冠動脈疾患ベリハイリスク患者の心血管イベント抑制を目的とした冠動脈MRブラクイメーキングの有効性を検証する多施設前向き無作為化対照試験	高瀬圭	放射線診断科	780,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
精神疾患に伴う障害の評価尺度開発ー尺度構成の指導および信頼性・基準関連妥当性の確認指導	鈴鴨よしみ	肢体不自由リハ科	520,000	補 委	公立大学法人福島県立医科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
CRP遺伝子多型解析による食道癌リンパ節転移リスク診断キットの開発	亀井尚	移植・再建・内視鏡外科	38,174,174	補 委	国立大学法人秋田大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
東北ブロックのIRUD拠点病院 / IRUD center hospital in Tohoku area	呉繁夫	小児科	7,800,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
卵巣がん検体と臨床情報の収集と管理、解析機関への送付、臨床情報登録、患者還元、全ゲノム情報と臨床病理学的情報との統合解析	八重樫伸生	婦人科	3,900,000	補 委	公益財団法人がん研究会(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
膵・胆道がん全ゲノム解析データ・臨床情報の収集・共有・患者還元・創薬開発	海野倫明	肝・胆・膵外科	5,200,000	補 委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究	徳永英樹	婦人科	650,000	補 委	国家公務員共済組合連合会虎の門病院(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
急性心筋梗塞や他臓器虚血の原因となる特発性冠動脈解離の診断基準策定・診療実態ならびに予後についての臨床エビデンスを創出する研究	安田聡	循環器内科	1,300,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出	佐藤康弘	心療内科	2,600,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
もやもや病の出血性脳卒中予防と長期予後改善を目指す多施設共同研究	富永悌二	脳神経外科	260,000	補 委	国立大学法人京都大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
慢性心不全発症予防・重症化予防のための次世代医療基盤確立に向けたゲノム・オミックス解析とデータシェアリング	後岡広太郎	循環器内科	6,188,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
東北大学病院のウイルスゲノム、臨床情報、臨床検体の収集	張替秀郎	血液・免疫科	2,600,000	補 委	国立大学法人北海道大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究(JFMC46-1201)	三浦康	胃腸外科	21,600	補 委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
Stage III 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験	海野 倫明	肝・胆・膵外科	97,800	補 委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
舌再建手術後の嚥下障害発生割合を検討する多施設共同前向き観察研究	高木尚之	形成外科	10,900	補 委	公益財団法人静岡県産業振興財団
先天性代謝異常症患者を対象とした健康関連 QOL 調査	呉繁夫	小児科	264,000	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
EGFRm+進行非小細胞肺癌(NSCLC)初回オシメルチニブ治療の効果、安全性及び増悪後の治療に関する観察研究	齋藤良太	呼吸器内科	565,400	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床研究情報収集に関する研究(J-DREAMS)	片桐秀樹	糖尿病代謝科	300,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター

超ハイリスク基準群における生体情報評価及びサイトカイン測定による統合失調症の発現予測因子の探索研究	富田博秋	精神科	3,215,520	補 ○委	国立研究開発法人 国立精神・ 神経医療 研究セン ター
切除不能包巣状軟部肉腫患者に対するアテゾリズマブ療法の多施設共同第Ⅱ相医師主導治験	高橋雅信	腫瘍内科	800,000	補 ○委	国立研究 開発法人 国立がん 研究セン ター
PI3K/AKT/mTOR経路の遺伝子変異を含む稀な遺伝子異常を有する小細胞肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにするための前向き観察研究・アジア人の非小細胞肺癌における個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究	宮内栄作	呼吸器内科	95,050	補 ○委	国立研究 開発法人 国立がん 研究セン ター
研究課題名:繰返し入院する慢性心不全患者を対象としたASV療法の子後に関する前向きコホート研究:再入院や死亡に関する影響を検討する縦断的観察研究	鈴木秀明	循環器内科	1,705,000	補 ○委	公益財団 法人パブ リックヘル スリサーチ センター
承認医療機器用性能検証プラットフォーム機の開発	出江紳一	肢体リハ	29,360	補 ○委	公益財団 法人いわて 産業振興 センター
高中性脂肪血症を合併した冠動脈疾患を対象としたペマフィブラートの冠動脈プラークの退縮に及ぼす影響を検討する無作為化非盲検群間比較試験	安田聡	循環器内科	506,000	補 ○委	国立研究 開発法人 国立循環 器病研究 センター
再発/治療抵抗性NK/T細胞リンパ腫-鼻型に対するアテゾリズマブの第Ⅱ相医師主導治験	福原規子	血液・免疫科	400,000	補 ○委	国立研究 開発法人 国立がん 研究セン ター
エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS-1術後療法・長期予後に関する多施設共同観察研究:POTENT附随研究	石田孝宣	乳腺・内分泌外科	77,000	補 ○委	公益財団 法人パブ リックヘル スリサーチ センター
切除不能進行がんおよび転移・再発固形がん患者に対するElwetric Patient-Reported Outcome (ePro)モニタリングの有用性を検証する多施設共同非盲検ランダム化比較試験	西條憲	腫瘍内科	55,000	補 ○委	公益財団 法人パブ リックヘル スリサーチ センター
デュシェンヌ型筋ジストロフィーを対象とした新たな患者レジストリを構築するための研究	植松貢	小児科	242,000	補 ○委	国立研究 開発法人 国立精神・ 神経医療 研究セン

計 454件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Maezawa, S.   Kudo, D.   Miyagawa, N. et al.	高度救命救急センター	Association of Body Weight Change and Fluid Balance With Extubation Failure in Intensive Care Unit Patients: A Single-Center Observational Study	Journal of Intensive Care Medicine	Original Article
2	Abe, M.   Akaishi, T.   Ishii, T.	総合地域医療教育支援部	Late increases in dialysis initiation after a massive disaster	Therapeutic Apheresis and Dialysis	Letter
3	Motoi, F.   Unno, M.	総合外科	Adjuvant and neoadjuvant treatment for pancreatic adenocarcinoma	Japanese Journal of Clinical Oncology	Review
4	Kanno, H.   Aizawa, T.   Hashimoto, K. et al.	整形外科	Novel augmentation technique of percutaneous pedicle screw fixation using hydroxyapatite granules in the osteoporotic lumbar spine: a cadaveric biomechanical analysis	European Spine Journal	Original Article
5	Shiga, H.   Abe, I.   Masamune, A.	消化器内科	Methotrexate-associated Lymphoproliferative Disorder of the Small Intestine	Clinical Gastroenterology and Hepatology	Original Article
6	Fukasawa, K.   Fukuda, K.   Mori, N. et al.	循環器内科	Impacts of sinus rhythm maintenance with catheter ablation on exercise tolerance in patients with paroxysmal atrial fibrillation	Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology	Original Article
7	Ishida, H.   Kasajima, A.   Fujishima, F. et al.	総合外科	p16 in highly malignant esophageal carcinomas: the correlation with clinicopathological factors and human papillomavirus infection	Virchows Archiv	Original Article
8	Ichikawa, S.   Furukawa, E.   Saito, K. et al.	血液内科	Sustained remission of giant pancreatic plasmacytoma with daratumumab	Annals of Hematology	Letter
9	Ishii, R.   Kato, K.   Ohkoshi, A. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Simultaneous evaluation of symptoms, swallowing functions, and patient-reported swallowing difficulties and their correlations with ingestion status during definitive chemoradiotherapy for oropharyngeal and hypopharyngeal cancer	Supportive Care in Cancer	Original Article
10	Ikeda, R.   Kikuchi, T.   Sato, S. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Pulsatile tinnitus caused by pneumocephalus after Janneta surgery	Auris Nasus Larynx	Original Article
11	Mishima, E.   Funayama, Y.   Suzuki, T. et al.	腎・高血圧・内分泌科	Concurrent analogous organ damage in the brain, eyes, and kidneys in malignant hypertension: reversible encephalopathy, serous retinal detachment, and proteinuria	Hypertension Research	Original Article
12	Himori, N.   Nakazawa, T.	眼科	Response to the letter re “CPAP therapy reduces oxidative stress in patients with glaucoma and OSAS and improves the visual field”	Graefe’s Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology	Letter
13	Shiga, K.   Nibu, K.-I.   Fujimoto, Y. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Multi-institutional Survey of Squamous Cell Carcinoma of the External Auditory Canal in Japan	Laryngoscope	Original Article

小計13件

14	Kikuchi, H. Fukuda, S. Koike, T. et al.	消化器内科	Association of residual gastric acid secretion with persistent symptoms in gastroesophageal reflux disease patients receiving standard-dose proton pump inhibitor therapy	Esophagus	Original Article
15	Morikawa, T. Ishida, M. Iseki, M. et al.	総合外科	Liver resections in patients with prior bilioenteric anastomosis are predisposed to develop organ/space surgical site infections and biliary leakage: results from a propensity score matching analysis	Surgery Today	Original Article
16	Kitami, M. Aoki, H. Saito, M.	放射線診断科	“Follow the Fallopian tube”: A technique to improve sonographic identification of ovaries in children	Journal of Clinical Ultrasound	Original Article
17	Ichikawa, S. Fujiwara, T. Saito, K. et al.	血液内科	A novel case of $\gamma \delta$ T cell leukemia with recurrent genetic abnormalities accompanied by agranulocytosis	Annals of Hematology	Letter
18	Tominaga, J. Iwasawa, T. Murota, M. et al.	放射線診断科	Computed tomography findings of current nonspecific interstitial pneumonia based on the 2013 updated classification of idiopathic interstitial pneumonias: What is a characteristic of previously diagnosed nonspecific interstitial pneumonia excluded from the updated classification	Japanese Journal of Radiology	Original Article
19	Norita, K. Asanuma, K. Koike, T. et al.	消化器内科	Impaired Mucosal Integrity in Proximal Esophagus Is Involved in Development of Proton Pump Inhibitor-Refractory Nonerosive Reflux Disease	Digestion	Original Article
20	Asano, T. Kunikata, H. Yasuda, M. et al.	眼科	Ocular microcirculation changes, measured with laser speckle flowgraphy and optical coherence tomography angiography, in branch retinal vein occlusion with macular edema treated by ranibizumab	International Ophthalmology	Original Article
21	Takadate, T. Morikawa, T. Ishida, M. et al.	総合外科	Staging laparoscopy is mandatory for the treatment of pancreatic cancer to avoid missing radiologically negative metastases	Surgery Today	Original Article
22	Honkura, Y. Hayashi, S. Abe, H. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	The third vascular route of the inner ear or the canal of Cotugno: Its topographical anatomy, fetal development, and contribution to ossification of the otic capsule cartilage	Anatomical Record	Original Article
23	Iseki, M. Mizuma, M. Wakao, S. et al.	総合外科	The evaluation of the safety and efficacy of intravenously administered allogeneic multilineage-differentiating stress-enduring cells in a swine hepatectomy model	Surgery Today	Original Article
24	Hoshijima, H. Mihara, T. Denawa, Y. et al.	歯科麻酔疼痛管理科	Comparison of Hemodynamic Responses to Administration of Vasopressin and Norepinephrine Under General Anesthesia: A Systematic Review and Meta-analysis of Randomized Controlled Trials with Trial Sequential Analysis	Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia	Original Article
25	Kuroha, M. Shiga, H. Kanazawa, Y. et al.	消化器内科	Factors Associated with Fibrosis during Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection: Does Pretreatment Biopsy Potentially Elicit Submucosal Fibrosis and Affect Endoscopic Submucosal Dissection Outcomes?	Digestion	Original Article
26	Takano, I. Takeshita, N. Yoshida, M. et al.	矯正歯科	Ten-m/Odz3 regulates migration and differentiation of chondrogenic ATDC5 cells via RhoA-mediated actin reorganization	Journal of Cellular Physiology	Original Article
27	Takahashi, A. Umehara, J. Kamimura, M. et al.	整形外科	Obesity is a risk factor for osteoarthritis progression and spontaneous osteoporosis is a risk for the development of spontaneous osteonecrosis in patients with medial meniscus posterior root tear	Journal of Orthopaedic Science	Original Article
28	Onishi, Y. Mori, T. Yamazaki, H. et al.	血液内科	Cyclosporine/methotrexate versus tacrolimus/methotrexate with or without anti-thymocyte globulin as GVHD prophylaxis in adult patients with aplastic anemia	Annals of Hematology	Original Article

29	Rashad, S. Tominaga, T. Niizuma, K.	神経外科	The cell and stress-specific canonical and noncanonical tRNA cleavage	Journal of Cellular Physiology	Original Article
30	Suda, A.   Seitz, A.   Odaka, Y. et al.	循環器内科	Assessment of coronary vasomotor responses to acetylcholine in German and Japanese patients with epicardial coronary spasm—more similarities than differences?	Heart and Vessels	Original Article
31	Yamazaki, E.   Irimada, M.   Sasaki, R. et al.	皮膚科	Multiple halo nevi associated with Turner syndrome	Journal of Dermatology	Letter
32	Yabana, T.   Hooper, M.L.   Farrell, S.R. et al.	眼科	GCaMP3 expressing cells in the ganglion cell layer of Thy1-GCaMP3 transgenic mice before and after optic nerve injury	Experimental Eye Research	Original Article
33	Kimura, Y.   Fujimura, C.   Aiba, S.	皮膚科	The modified IL-8 Luc assay, an in vitro skin sensitisation test, can significantly improve the false-negative judgment of lipophilic sensitizers with logK <sub>ow</sub> values > 3.5	Archives of Toxicology	Original Article
34	Endo, H.   Tanoue, S.   Hiramatsu, M. et al.	神経外科	Risk factors for medullary infarction after endovascular trapping of vertebral artery dissecting aneurysms	Neurosurgical Review	Original Article
35	Yamaguchi, S.   Horigome, Y.   Endo, K. et al.	口腔機能回復科	Caregiver-reported dementia as a predictor of oral health among patients receiving home-visit dental treatment: A retrospective cohort study	Clinical and Experimental Dental Research	Original Article
36	Kunikata, H.   Yasuda, M.   Aizawa, N. et al.	眼科	RETINAL SENSITIVITY AND VESSEL DENSITY AFTER MACULAR HOLE SURGERY WITH THE SUPERIOR INVERTED INTERNAL LIMITING MEMBRANE FLAP TECHNIQUE	Retina (Philadelphia, Pa.)	Original Article
37	Sano, A.   Tsuge, S.   Kakazu, E. et al.	消化器内科	Plasma free amino acids are associated with sarcopenia in the course of hepatocellular carcinoma recurrence	Nutrition	Original Article
38	Shoji, T.   Kanamori, M.   Inoue, J. et al.	神経外科	Hepatitis B virus reactivation during temozolomide administration for malignant glioma	International Journal of Clinical Oncology	Original Article
39	Koyama, J.   Yamashita, S.   Yamada, S. et al.	泌尿器科	Impact of cancer therapy on post-treatment ejaculation disorder and sexual life in testicular cancer survivors	International Journal of Urology	Original Article
40	Kohyama, A.   Watanabe, K.   Sugita, A. et al.	総合外科	Ulcerative colitis-related severe enteritis: an infrequent but serious complication after colectomy	Journal of Gastroenterology	Original Article
41	Nomura, Y.   Kawase, T.   Kanno, A. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	N100m latency shortening caused by selective attention	Brain Research	Original Article
42	Takahashi, M.   Kato, K.   Okada, M. et al.	腫瘍内科	Nivolumab versus chemotherapy in Japanese patients with advanced esophageal squamous cell carcinoma: a subgroup analysis of a multicenter, randomized, open-label, phase 3 trial (ATTRACTION-3)	Esophagus	Original Article
43	Endo, H.   Fujimura, M.   Saito, A. et al.	神経外科	Efficacy of arterial spin labeling magnetic resonance imaging with multiple post-labeling delays to predict postoperative cerebral hyperperfusion in carotid endarterectomy	Neurological Research	Original Article



44	Kiyota, N.  Shiga, Y.  Omodaka, K. et al.	眼科	Time-Course Changes in Optic Nerve Head Blood Flow and Retinal Nerve Fiber Layer Thickness in Eyes with Open-angle Glaucoma	Ophthalmology	Original Article
45	Nagamoto, H.  Yaguchi, H.  Takahashi, H.	整形外科	History of ankle sprain affect the star excursion balance test among youth football players	Foot and Ankle Surgery	Original Article
46	Akaishi, T.  Ishii, T.	総合地域医療教育支援部	Author reply to “Caution about overdiagnosis of neck calcification”	Journal of General and Family Medicine	Letter
47	Nogami, S.  Yamauchi, K.  Morishima, H. et al.	歯科顎口腔外科	Mandible fractures and dental injuries related to road traffic accidents over a 12-year period—Retrospective multicentre study	Dental Traumatology	Original Article
48	Amagai, R.  Fujimura, T.  Muto, Y. et al.	皮膚科	Serum soluble CD163 and proinflammatory chemokines may be biomarkers of the onset of adverse events in dabrafenib plus trametinib combination therapy for advanced melanoma	Dermatologic Therapy	Original Article
49	Fujimura, T.  Yoshino, K.  Kato, H. et al.	皮膚科	Case series of BRAF-mutated advanced melanoma treated with encorafenib plus binimetinib combination therapy	Journal of Dermatology	Original Article
50	Moroi, R.  Tarasawa, K.  Shiga, H. et al.	消化器内科	Efficacy of urgent colonoscopy for colonic diverticular bleeding: A propensity score-matched analysis using a nationwide database in Japan	Journal of Gastroenterology and Hepatology (Australia)	Original Article
51	Yamashita, S.  Suzukamo, Y.  Kakimoto, K. et al.	泌尿器科	Validation study of the Japanese version of the European Organization for Research and Treatment of Cancer Quality of Life Questionnaire-Testicular Cancer 26 for patients with testicular cancer	International Journal of Urology	Original Article
52	Hata, T.  Mizuma, M.  Masuda, K. et al.	総合外科	MicroRNA-593-3p Expression in Peritoneal Lavage Fluid as a Prognostic Marker for Pancreatic Cancer Patients Undergoing Staging Laparoscopy	Annals of Surgical Oncology	Original Article
53	Kido, K.  Katagiri, N.  Kawana, H. et al.	歯科麻酔疼痛管理科	Effects of magnesium sulfate administration in attenuating chronic postsurgical pain in rats	Biochemical and Biophysical Research Communications	Original Article
54	Yamakoshi, S.  Nakamura, T.  Mori, N. et al.	内部障害リハビリテーション科	Effects of exercise training on renal interstitial fibrosis and renin-angiotensin system in rats with chronic renal failure	Journal of Hypertension	Original Article
55	Yamaya, M.  Shimotai, Y.  Ohkawara, A. et al.	呼吸器内科	The clinically used serine protease inhibitor nafamostat reduces influenza virus replication and cytokine production in human airway epithelial cells and viral replication in mice	Journal of Medical Virology	Original Article
56	Takeuchi, N.  Terui, Y.  Izumi, S.-I.	肢体不自由リハビリテーション科	Oscillatory entrainment of neural activity between inferior frontoparietal cortices alters imitation performance	Neuropsychologia	Original Article
57	Akaishi, T.  Misu, T.  Takahashi, T. et al.	総合地域医療教育支援部	Progression pattern of neurological disability with respect to clinical attacks in anti-MOG antibody-associated disorders	Journal of Neuroimmunology	Original Article
58	Nezu, M.  Suzuki, N.	腎・高血圧・内分泌科	Nrf2 activation for kidney disease treatment—a mixed blessing?	Kidney International	Others

59	Sugisawa, J.   Matsumoto, Y.   Takeuchi, M. et al.	循環器内科	Beneficial effects of exercise training on physical performance in patients with vasospastic angina	International Journal of Cardiology	Original Article
60	Ikeda, R.   Hamanishi, S.   Kikuchi, T. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Objective assessment of autophony during phonation in the diagnosis of patulous Eustachian tube patients	Auris Nasus Larynx	Original Article
61	Oyama, K.   Furtado, R.H.M.   Fagundes, A. et al.	循環器内科	Effect of Evolocumab on Complex Coronary Disease Requiring Revascularization	Journal of the American College of Cardiology	Original Article
62	Iseki, M.   Mizuma, M.   Aoki, Y. et al.	総合外科	Intracholecystic papillary neoplasm arising in the cystic duct and extending into common bile duct: a case report	Clinical Journal of Gastroenterology	Original Article
63	Akaishi, T.   Takahashi, T.   Fujihara, K. et al.	総合地域医療教育支援部	Impact of comorbid Sjögren syndrome in anti-aquaporin-4 antibody-positive neuromyelitis optica spectrum disorders	Journal of Neurology	Original Article
64	Yokoyama, H.   Kanda, J.   Kawahara, Y. et al.	血液内科	Reduced leukemia relapse through cytomegalovirus reactivation in killer cell immunoglobulin-like receptor-ligand-mismatched cord blood transplantation	Bone Marrow Transplantation	Original Article
65	Kikuchi, S.   Kobayashi, N.   Watanabe, Z. et al.	精神科	The delivery of a placenta/fetus with high gonadal steroid production contributes to postpartum depressive symptoms	Depression and Anxiety	Original Article
66	Imai, H.   Saijo, K.   Chikamatsu, S. et al.	腫瘍内科	LPIN1 downregulation enhances anticancer activity of the novel HDAC/PI3K dual inhibitor FK-A11	Cancer Science	Original Article
67	Masukawa, K.   Sato, K.   Shimizu, M. et al.	緩和医療科	Cancer Care Evaluation Scale (CCES): Measuring the quality of the structure and process of cancer care from the perspective of patients with cancer	Japanese Journal of Clinical Oncology	Original Article
68	Norita, K.   Koike, T.   Saito, M. et al.	消化器内科	Long-term endoscopic surveillance for Barrett's esophagus in Japan: Multicenter prospective cohort study	Digestive Endoscopy	Original Article
69	Osawa, S.-I.   Tominaga, T.	神経外科	Application of optogenetics in epilepsy research	Advances in Experimental Medicine and Biology	Others
70	Kanno, A.   Yasuda, I.   Irisawa, A. et al.	消化器内科	Adverse events of endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration for histologic diagnosis in Japanese tertiary centers: Multicenter retrospective study	Digestive Endoscopy	Original Article
71	Ota, S.   Kanno, S.   Morita, A. et al.	高次脳機能障害科	Echolalia in patients with primary progressive aphasia	European Journal of Neurology	Original Article
72	Katagiri, Y.   Jingu, K.   Yamamoto, T. et al.	放射線診断科	Differences in patterns of recurrence of squamous cell carcinoma and adenocarcinoma after radiotherapy for stage III non-small cell lung cancer	Japanese Journal of Radiology	Original Article
73	Kido, K.   Katagiri, N.   Kawana, H. et al.	歯科麻酔疼痛管理科	Nociceptive sensitization by activation of protease-activated receptor 2 in a rat model of incisional pain	Brain Sciences	Original Article

74	Koyama, J. Kawasaki, Y. Kimura, S. et al.	泌尿器科	BK Virus-Associated Urothelial Carcinoma in a Patient with Peripheral Blood Stem Cell Transplantation for Acute Lymphoblastic Leukemia: A Case Report	Case Reports in Oncology	Original Article
75	Takasaki, S. Hirasawa, T. Sato, Y. et al.	薬剤部	Simultaneous analysis of drugs administered to lung-transplanted patients using liquid chromatography-tandem mass spectrometry for therapeutic drug monitoring	Biomedical Chromatography	Original Article
76	Tokunaga, H. Iida, K. Hozawa, A. et al.	産婦人科	Novel candidates of pathogenic variants of the BRCA1 and BRCA2 genes from a dataset of 3,552 Japanese whole genomes (3.5KJPNv2)	PLoS ONE	Original Article
77	Miyauuchi, K. Nakai, T. Saito, S. et al.	腎・高血圧・内分泌科	Renal interstitial fibroblasts coproduce erythropoietin and renin under anaemic conditions	EBioMedicine	Original Article
78	Ebina-Shibuya, R. West, E.E. Spolski, R. et al.	呼吸器内科	Thymic stromal lymphopoietin limits primary and recall CD8+ T-cell anti-viral responses	eLife	Original Article
79	Tamada, T. Nara, M. Murakami, K. et al.	呼吸器内科	The Clinical Features of Patients with Sarcoidosis and Malignant Diseases in Japan	Internal Medicine	Original Article
80	Abe, Y. Aihara, Y. Endo, W. et al.	小児科	The effect of dietary protein restriction in a case of molybdenum cofactor deficiency with MOCS1 mutation	Molecular Genetics and Metabolism Reports	Original Article
81	Sato, T. Kudo, D. Kushimoto, S.	高度救命救急センター	Epidemiological features and outcomes of patients with psoas abscess: A retrospective cohort study	Annals of Medicine and Surgery	Original Article
82	Tone, T. Shimizu, Y. Saito, H. et al.	歯科顎口腔外科	In vivo behavior of untreated and compressed concentrated growth factors as biomaterials in rabbits	Dental Materials Journal	Original Article
83	Takai, Y. Kuroda, H. Misu, T. et al.	神経内科	Optimal management of neuromyelitis optica spectrum disorder with aquaporin-4 antibody by oral prednisolone maintenance therapy: PSL maintenance therapy for NMOSD	Multiple Sclerosis and Related Disorders	Original Article
84	Shibahara, I. Sato, S. Hide, T. et al.	高度救命救急センター	Postcentral gyrus resection of opercular gliomas is a risk factor for motor deficits caused by damaging the radiologically invisible arteries supplying the descending motor pathway	Acta Neurochirurgica	Original Article
85	Aizawa, T. Kokubun, S. Kusakabe, T. et al.	整形外科	Rate of spinal surgery in a rapidly aging society: The 27-year changes in Miyagi prefecture, Japan	Journal of Neurosurgical Sciences	Original Article
86	Naito, T. Botwin, C.J. Haritunians, T. et al.	消化器内科	Prevalence and Effect of Genetic Risk of Thromboembolic Disease in Inflammatory Bowel Disease	Gastroenterology	Original Article
87	Kumondai, M. Ito, A. Rico, E.M.G. et al.	薬剤部	Functional assessment of 12 rare allelic cyp2c9 variants identified in a population of 4773 japanese individuals	Journal of Personalized Medicine	Original Article
88	Mori, Y. Izumiya, T. Kurishima, H. et al.	整形外科	Effect of denosumab switched from bisphosphonates in preventing joint destruction in postmenopausal rheumatoid arthritis patients with anti-cyclic citrullinated peptide antibodies	Journal of Orthopaedic Surgery and Research	Original Article

89	Kurosawa, R. Sato, K. Nakata, T. et al.	循環器内科	Identification of Celastrol as a Novel Therapeutic Agent for Pulmonary Arterial Hypertension and Right Ventricular Failure Through Suppression of Bsg (Basigin)/CyPA (Cyclophilin A)	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology	Original Article
90	Watanabe, K. Sato, E.   Mishima, E. et al.	血液浄化療法部	Effect of uremic toxins on hippocampal cell damage: analysis in vitro and in rat model of chronic kidney disease	Heliyon	Original Article
91	Ohkoshi, A. Ogawa, T.   Kato, K. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Simple Endoscopic Method of Scoring Swallowing Function After Treatment in Advanced Head and Neck Cancer Patients	Indian Journal of Otolaryngology and Head and Neck Surgery	Original Article
92	Fujimura, T. Amagai, R. Kambayashi, Y. et al.	皮膚科	Topical and systemic formulation options for cutaneous T cell lymphomas	Pharmaceutics	Review
93	Hamada, S. Matsumoto, R. Tanaka, Y. et al.	消化器内科	Nrf2 activation sensitizes k-ras mutant pancreatic cancer cells to glutaminase inhibition	International Journal of Molecular Sciences	Original Article
94	Onodera, K. Onishi, Y.   Inoue, J. et al.	血液内科	Second direct-acting antiviral therapy for hepatitis C virus infection after umbilical cord blood transplantation: A case report	Journal of Infection and Chemotherapy	Original Article
95	Hatta, W.   Tsuji, Y.   Yoshio, T. et al.	消化器内科	Prediction model of bleeding after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer: BEST-J score	Gut	Original Article
96	Hao, K. Takahashi, J. Kikuchi, Y. et al.	循環器内科	Prognostic impacts of comorbid significant coronary stenosis and coronary artery spasm in patients with stable coronary artery disease	Journal of the American Heart Association	Original Article
97	Ishii, T. Kushimoto, S. Katori, Y. et al.	総合地域医療教育支援部	Predictors of sars-cov-2 positivity based on rt-pcr swab tests at a drive-through outpatient clinic for covid-19 screening in japan	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
98	Saito, M.   Koike, T.   Abe, Y. et al.	消化器内科	The development of foveolar-type gastric adenocarcinoma during maintenance therapy of vonoprazan for reflux esophagitis	Internal Medicine	Original Article
99	Endo, H.   Obara, N.   Watanabe, T. et al.	消化器内科	Using polyethylene glycol 3350 plus electrolytes in constipated hemodialysis patients: A case series	Internal Medicine	Original Article
100	Akita, K.   Yasaka, K.   Shirai, T. et al.	リウマチ膠原病科	Interferon $\alpha$ Enhances B Cell Activation Associated With FOXM1 Induction: Potential Novel Therapeutic Strategy for Targeting the Plasmablasts of Systemic Lupus Erythematosus	Frontiers in Immunology	Original Article
101	Watanabe, Z. Tokunaga, H. Ishibashi, M. et al.	周産母子センター	A modified technique of laparoscopic radical trachelectomy combined with extracorporeal cervical amputation through a mini-laparotomy	European Journal of Gynaecological Oncology	Original Article
102	Ariake, K. Mizuma, M. Motoi, F. et al.	総合外科	Preceding Systemic Chemotherapy for Patients with Pancreatic Ductal Adenocarcinoma with Positive Peritoneal Cytology Provides Survival Benefit Compared with Up-Front Surgery	Annals of Surgical Oncology	Original Article
103	Serizawa, F. Ohara, M. Kotegawa, T. et al.	総合外科	The Incidence of Para-Anastomotic Aneurysm After Open Repair Surgery for Abdominal Aortic Aneurysm Through Routine Annual Computed Tomography Imaging	European Journal of Vascular and Endovascular Surgery	Original Article

104	Akaishi, T.   Himori, N.   Takeshita, T. et al.	総合地域医療教育支援部	Optic neuritis after ocular trauma in anti-aquaporin-4 antibody-positive neuromyelitis optica spectrum disorder	Brain and Behavior	Original Article
105	Masamune, A.   Hamada, S.   Kikuta, K.	消化器内科	Implementation of Pancreatitis Bundles Is Associated With Reduced Mortality in Patients With Severe Acute Pancreatitis in Japan	Pancreas	Letter
106	Watanabe, K.   Sasaki, I.   Kohyama, A. et al.	総合外科	Antimesenteric cutback end-to-end isoperistaltic anastomosis (Sasaki-Watanabe anastomosis) for Crohn's disease: Novel surgical technique and early results of surgical anastomotic recurrence	Annals of Gastroenterological Surgery	Original Article
107	Chiba, M.   Hirofani, H.   Takahashi, T.	歯科口腔外科	Clinical and Pain-Related Characteristics of Idiopathic First Bite Syndrome Induced by Taste in Japanese Patients without Diabetes: A Retrospective Study of Five Cases	Pain Research and Management	Original Article
108	Ariake, K.   Mizuma, M.   Motoi, F. et al.	総合外科	ASO Author Reflections: Preceding Systemic Chemotherapy Might Provide Better Prognosis for Pancreatic Ductal Adenocarcinoma with Positive Peritoneal Cytology	Annals of Surgical Oncology	Original Article
109	Nagase, S.   Ohta, T.   Takahashi, F. et al.	周産母子センター	Annual report of the Committee on Gynecologic Oncology, the Japan Society of Obstetrics and Gynecology: Annual patient report for 2017 and annual treatment report for 2012	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	Original Article
110	Nishimiya, K.   Shimokawa, H.	循環器内科	Gender differences in coronary functional abnormalities	Italian Journal of Gender-Specific Medicine	Review
111	Sato, T.   Sugawara, K.   Kato, T. et al.	歯科顎口腔外科	Manipulation of Dirac Cone in Topological Insulator/Topological Insulator Heterostructure	ACS Applied Electronic Materials	Original Article
112	Okazaki, T.   Suzukamo, Y.   Miyatake, M. et al.	リハビリテーション部	Respiratory Muscle Weakness as a Risk Factor for Pneumonia in Older People	Gerontology	Original Article
113	Yamaguchi, S.   Watanabe, M.   Hattori, Y.	口腔機能回復科	Statistical parametric mapping of three-dimensional local activity distribution of skeletal muscle using magnetic resonance imaging (MRI)	Scientific Reports	Original Article
114	Takahashi, S.   Sakamoto, Y.   Denda, T. et al.	腫瘍内科	Advanced colorectal cancer subtypes (aCRCS) help select oxaliplatin-based or irinotecan-based therapy for colorectal cancer	Cancer Science	Original Article
115	Sato, T.   Suzuka, M.   Sato, Y. et al.	薬剤部	Development of a simultaneous analytical method for clozapine and its metabolites in human plasma using liquid chromatography/electrospray ionization tandem mass spectrometry with linear range adjusted by in-source collision-induced dissociation	Biomedical Chromatography	Original Article
116	Kumondai, M.   Rico, E.M.G.   Hishinuma, E. et al.	薬剤部	Functional characterization of 40 cyp3a4 variants by assessing midazolam 19-hydroxylation and testosterone 6b-hydroxylation	Drug Metabolism and Disposition	Original Article
117	Kobayashi, N.   Shiga, T.   Ikumi, S. et al.	集中治療部	Semi-automated tracking of pain in critical care patients using artificial intelligence: a retrospective observational study	Scientific Reports	Original Article
118	Nishimiya, K.   Suda, A.   Fukui, K. et al.	循環器内科	Prognostic Links Between OCT-Delineated Coronary Morphologies and Coronary Functional Abnormalities in Patients With INOCA	JACC: Cardiovascular Interventions	Original Article

119	Ikeda, S.   Nah, J.   Shirakabe, A. et al.	循環器内科	YAP plays a crucial role in the development of cardiomyopathy in lysosomal storage diseases	Journal of Clinical Investigation	Original Article
120	Yamamoto, J.   Katagiri, H.	糖尿病代謝科	The authors' reply to "additional bacteriological examinations might be required for the correct identification of staphylococcus warneri"	Internal Medicine	Letter
121	Tokunaga, H.   Mikami, M.   Nagase, S. et al.	婦人科	The 2020 japan society of gynecologic oncology guidelines for the treatment of ovarian cancer, fallopian tube cancer, and primary peritoneal cancer	Journal of Gynecologic Oncology	Original Article
122	Watahiki, A.   Hoshikawa, S.   Chiba, M. et al.	咬合修復科	Deficiency of lipin2 results in enhanced nf- $\kappa$ b signaling and osteoclast formation in raw-d murine macrophages	International Journal of Molecular Sciences	Original Article
123	Naganuma, M.   Kanda, K.   Sasaki, K. et al.	心臓血管外科	New hemostatic technique with combined use of Hydrofit® and Surgicel®: an in vitro and in vivo study	Journal of Artificial Organs	Original Article
124	Kawasaki, S.   Ohtsuka, H.   Sato, Y. et al.	総合外科	Silencing of LRRFIP1 enhances the sensitivity of gemcitabine in pancreatic cancer cells by activating JNK/c-Jun signaling	Pancreatology	Original Article
125	Kanamori, M.   Takami, H.   Yamaguchi, S. et al.	神経外科	So-called bifocal tumors with diabetes insipidus and negative tumor markers: Are they all germinoma-	Neuro-Oncology	Original Article
126	Akaishi, T.   Takahashi, T.   Fujihara, K. et al.	総合地域医療教育支援部	Early Treatment Initiation With Oral Prednisolone for Relapse Prevention Alleviates Depression and Fatigue in Aquaporin-4-Positive Neuromyelitis optica Spectrum Disorder	Frontiers in Neurology	Original Article
127	Kunikata, H.   Osada, U.   Abe, T. et al.	眼科	Efficacy of early microincision vitrectomy surgery in traumatic macular hole	Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology	Letter
128	Terui, H.   Kimura, Y.   Fujimura, C. et al.	皮膚科	The IL-1 promoter-driven luciferase reporter cell line THP-G1b can efficiently predict skin-sensitising chemicals	Archives of Toxicology	Original Article
129	Kudo, D.   Goto, T.   Uchimido, R. et al.	高度救命救急センター	Coagulation phenotypes in sepsis and effects of recombinant human thrombomodulin: an analysis of three multicentre observational studies	Critical Care	Original Article
130	Shirai, T.   Sato, H.   Fujii, H. et al.	リウマチ膠原病科	The feasible maintenance dose of corticosteroid in Takayasu arteritis in the era of biologic therapy	Scandinavian Journal of Rheumatology	Original Article
131	Shobara, K.   Ogawa, T.   Shibamoto, A. et al.	咬合回復科	Osteogenic effect of low-intensity pulsed ultrasound and whole-body vibration on peri-implant bone. An experimental in vivo study	Clinical Oral Implants Research	Original Article
132	Yamamoto, N.   Itoi, E.	整形外科	Treatment of irreparable rotator cuff tears with superior capsular reconstruction	Journal of Experimental Orthopaedics	Review
133	Watanabe, K.   Nakayama, M.   Yamamoto, T. et al.	血液浄化療法部	Different clinical impact of hyperuricemia according to etiologies of chronic kidney disease: Gonryo Study	PLoS ONE	Original Article

134	Ninomiya, M.  Inoue, J.  Krueger, E.W. et al.	消化器内科	The Exosome-Associated Tetraspanin CD63 Contributes to the Efficient Assembly and Infectivity of the Hepatitis B Virus	Hepatology Communications	Original Article
135	Ishii, R.  Ogawa, T.  Ohkoshi, A. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Use of the Geriatric-8 screening tool to predict prognosis and complications in older adults with head and neck cancer: A prospective, observational study	Journal of Geriatric Oncology	Original Article
136	Yamamoto, T.  Niibe, Y.  Aoki, M. et al.	放射線診断科	Stereotactic body radiotherapy for pulmonary oligometastases as an initial metastasis-directed therapy: patterns of relapse and predictive factors for early mortality	Precision Radiation Oncology	Original Article
137	Kajitani, T.  Endo, T.  Iwabuchi, N. et al.	神経外科	Association of intravenous administration of human Muse cells with deficit amelioration in a rat model of spinal cord injury	Journal of Neurosurgery: Spine	Original Article
138	Takasaki, S.  Kawasaki, Y.  Kikuchi, M. et al.	薬剤部	Clinical importance of blood drug concentration of oral molecular targeted drugs for renal cell carcinoma	Journal of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences	Original Article
139	Moroi, R.  Shiga, H.  Tarasawa, K. et al.	消化器内科	The clinical practice of ulcerative colitis in elderly patients: An investigation using a nationwide database in Japan	JGH Open	Original Article
140	Okuyama, J.  Seto, S.  Fukuda, Y. et al.	肢体不自由リハビリテーション科	Mental health and physical activity among children and adolescents during the COVID-19 pandemic	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
141	Ujii, N.  Enomoto, Y.  Takido, N. et al.	総合外科	Rapid progression of gastric cancer with liver metastasis after discontinuation of lenalidomide in a patient with concurrent multiple myeloma: A case report	International Journal of Surgery Case Reports	Original Article
142	Niikura, H.  Toki, A.  Nagai, T. et al.	婦人科	Prospective evaluation of sentinel node navigation surgery in Japanese patients with low-risk endometrial cancer - Safety and occurrence of lymphedema	Japanese Journal of Clinical Oncology	Original Article
143	Yagihashi, M.  Kano, M.  Muratsubaki, T. et al.	精神科	Concordant pattern of the HPA axis response to visceral stimulation and CRH administration	Neuroscience Research	Original Article
144	Yoshida, S.  Celaire, J.  Pace, C. et al.	整形外科	Delay in diagnosis of primary osteosarcoma of bone in children: Have we improved in the last 15 years and what is the impact of delay on diagnosis?	Journal of Bone Oncology	Original Article
145	Ohkoshi, A.  Sato, N.  Kurosawa, K. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Impact of CAD/CAM mandibular reconstruction on chewing and swallowing function after surgery for locally advanced oral cancer: A retrospective study of 50 cases	Auris Nasus Larynx	Original Article
146	Shimada, M.  Sato, S.  Shoji, T. et al.	婦人科	Docetaxel and carboplatin chemotherapy for treating patients with stage IVB or recurrent non-squamous cell carcinoma of the uterine cervix: a phase II study	International Journal of Clinical Oncology	Original Article
147	Onoki, T.  Izumi, Y.  Takahashi, M. et al.	整形外科	Skeletal muscle-specific Keap1 disruption modulates fatty acid utilization and enhances exercise capacity in female mice	Redox Biology	Original Article
148	Fujishima, F.  Konosu-Fukaya, S.  Nabeshima, K. et al.	病理部	Histological and immunohistochemical characteristics and p16 status studied by FISH in six incidentally detected cases of well-differentiated papillary mesothelioma of the peritoneum	Indian Journal of Pathology and Microbiology	Original Article

149	Saito, R. Ninomiya, H. Okumura, S. et al.	病理部	Novel Histologic Classification of Small Tumor Cell Nests for Lung Adenocarcinoma with Prognostic and Etiological Significance: Small Solid Nests and Pure Micropapillary Nests	American Journal of Surgical Pathology	Original Article
150	Yamada, H. Takahashi, M. Watanuki, M. et al.	腫瘍内科	lncRNA HAR1B has potential to be a predictive marker for pazopanib therapy in patients with sarcoma	Oncology Letters	Original Article
151	Aki, T. Hashimoto, K. Uozumi, H. et al.	整形外科	Morphological and morphometrical analyses of fracture-healing sites of an atypical femoral fracture in patients with and without long-term bisphosphonate treatment for osteoporosis: A report of two cases	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
152	Kouketsu, A. Shimizu, Y. Nogami, S. et al.	歯科顎口腔外科	Wound healing effect of autologous fibrin glue and polyglycolic acid sheets in a rat back skin defect model	Transfusion and Apheresis Science	Original Article
153	Kikuchi, A. Yoneda, M. Hasegawa, T. et al.	神経内科	High prevalence of serum anti-NH <sub>2</sub> -terminal of $\alpha$ -enolase antibodies in patients with multiple system atrophy and corticobasal syndrome	Journal of Neurology	Original Article
154	Godo, S.   Suda, A.   Takahashi, J. et al.	循環器内科	Coronary Microvascular Dysfunction	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology	Review
155	Tanaka, R. Koarai, A. Yamada, M. et al.	呼吸器内科	Longitudinal relationship between growth differentiation factor 11 and physical activity in chronic obstructive pulmonary disease	International Journal of COPD	Original Article
156	Kanamori, H. Rutala, W.A. Gergen, M.F. et al.	総合感染症科	Microbial Assessment of Health Care-Associated Pathogens on Various Environmental Sites in Patient Rooms after Terminal Room Disinfection	Open Forum Infectious Diseases	Others
157	Kuroha, M. Yoshinaga, T. Yazaki, M. et al.	消化器内科	Localized intestinal AL amyloidosis detected as bright green using autofluorescence endoscopy	Clinical Journal of Gastroenterology	Original Article
158	Suzuki, H.   Noda, M.   Watanabe, T. et al.	呼吸器外科	Aortogenic embolic stroke after sleeve pneumonectomy with median sternotomy for lung cancer: a case report	Journal of Medical Case Reports	Original Article
159	Terui, H. Yamasaki, K. Hagiwara-Takita, A. et al.	皮膚科	Pediatric psoriasis induced by HLA-B46-Cw1 haplotype: A retrospective study of psoriasis onset after hematopoietic stem cell transplantation	Journal of Dermatology	Original Article
160	Tamabuchi, E. Fujimura, T.   Lyu, C. et al.	皮膚科	Phosphor-signal transducers and activator of transcription 1 signaling in mucosal lichen planus developing from metastatic bladder cancer treated with pembrolizumab	Dermatologic Therapy	Letter
161	Yamashita, S. Kakimoto, K. Uemura, M. et al.	泌尿器科	Health-Related Quality of Life in Testicular Cancer Survivors in Japan: A Multi-Institutional, Cross-Sectional Study Using the EORTC QLQ-TC26	Urology	Original Article
162	Tashiro, R. Niizuma, K. Kasamatsu, J. et al.	神経外科	Dysregulation of Rnf 213 gene contributes to T cell response via antigen uptake, processing, and presentation	Journal of Cellular Physiology	Original Article
163	Akaishi, T. Morino, K. Maruyama, Y. et al.	総合地域医療教育支援部	Restoration of clean water supply and toilet hygiene reduces infectious diseases in post-disaster evacuation shelters: A multicenter observational study	Heliyon	Original Article



164	Arai-Ichinoi, N. Kikuchi, A. Wada, Y. et al.	小児科	Hypoglycemic attacks and growth failure are the most common manifestations of citrin deficiency after 1 year of age	Journal of Inherited Metabolic Disease	Original Article
165	Hatta, T.   Goto, H.   Sonofuchi, K. et al.	整形外科	Surgical treatment for persistent second carpometacarpal joint pain	Orthopedic Reviews	Original Article
166	Fujimura, M.   Tominaga, T.	神経外科	Characteristic Pattern of the Cerebral Hemodynamic Changes in the Acute Stage After Combined Revascularization Surgery for Adult Moyamoya Disease: N-isopropyl-p-[123I] iodoamphetamine Single-Photon Emission Computed Tomography Study	Acta Neurochirurgica, Supplementum	Others
167	Shobara, K.   Ogawa, T.   Sitalaksmi, R.M. et al.	咬合回復科	Tightening and Loosening of the Abutment Screw Negatively Affects Implant Osseointegration in the Early Healing Stage in Rat Tibiae	International Journal of Prosthodontics	Original Article
168	Monma, Y.   Shindo, T.   Eguchi, K. et al.	循環器内科	Low-intensity pulsed ultrasound ameliorates cardiac diastolic dysfunction in mice: A possible novel therapy for heart failure with preserved left ventricular ejection fraction	Cardiovascular Research	Original Article
169	Matsui, K.   Kawai, T.   Ezoe, Y. et al.	歯科顎口腔外科	Segmental Bone Reconstruction by Octacalcium Phosphate Collagen Composites with Teriparatide	Tissue Engineering - Part A	Original Article
170	Nishimiya, K.   Tearney, G.	循環器内科	Micro Optical Coherence Tomography for Coronary Imaging	Frontiers in Cardiovascular Medicine	Review
171	Tasaka, S.   Jingu, K.   Takahashi, N. et al.	放射線診断科	The Long-Term Recovery of Parotid Glands in Nasopharyngeal Carcinoma Treated by Intensity-Modulated Radiotherapy	Frontiers in Oncology	Original Article
172	Takahashi, M.   Sakamoto, Y.   Ohori, H. et al.	腫瘍内科	Phase II study of trifluridine/tipiracil (TAS-102) therapy in elderly patients with colorectal cancer (T-CORE1401): geriatric assessment tools and plasma drug concentrations as possible predictive biomarkers	Cancer Chemotherapy and Pharmacology	Original Article
173	Fujino, N.   Sugiura, H.	呼吸器内科	Aco (Asthma-copd overlap) is independent from copd, a case in favor: A systematic review	Diagnostics	Review
174	Kaneko, K.   Katagiri, H.	糖尿病代謝科	Dual-specificity phosphatase 8: A gatekeeper in hypothalamic control of glucose metabolism in males	Journal of Diabetes Investigation	Others
175	Yamamoto, T.   Kawasaki, Y.   Umezawa, R. et al.	放射線診断科	Stereotactic body radiotherapy for kidney cancer: a 10-year experience from a single institute	Journal of Radiation Research	Original Article
176	Toki, A.   Niikura, H.   Mori, N. et al.	産科	Establishment of a Diagnostic Method for Pelvic Sentinel Lymph Node Metastasis by Contrast-Enhanced Ultrasound in Uterine Cancer	Ultrasound in Medicine and Biology	Original Article
177	Ishikawa, H.   Muraki, T.   Morise, S. et al.	肢体不自由リハビリテーション科	Differences in scapular motion and parascapular muscle activities among patients with symptomatic and asymptomatic rotator cuff tears, and healthy individuals	JSES International	Original Article
178	Oyama, K.   Giugliano, R.P.   Berg, D.D. et al.	循環器内科	Serial assessment of biomarkers and the risk of stroke or systemic embolism and bleeding in patients with atrial fibrillation in the ENGAGE AF-TIMI 48 trial	European Heart Journal	Original Article

179	Takahashi, N. Kunikata, H. Yasuda, M. et al.	眼科	Polypoidal choroidal vasculopathy in a case of retinitis pigmentosa, successfully treated with intravitreal aflibercept	American Journal of Ophthalmology Case Reports	Original Article
180	Suzuki, H. Yasuda, S. Shimokawa, H.	循環器内科	Brain-heart connection in Takotsubo syndrome before onset	European Heart Journal	Others
181	Tsukita, Y. Yamamoto, T. Mayahara, H. et al.	呼吸器内科	Intensity-modulated radiation therapy with concurrent chemotherapy followed by durvalumab for stage III non-small cell lung cancer: A multi-center retrospective study	Radiotherapy and Oncology	Original Article
182	Shido, K.   Kojima, K.   Shirota, M. et al.	皮膚科	GWAS Identified IL4R and the Major Histocompatibility Complex Region as the Associated Loci of Total Serum IgE Levels in 9,260 Japanese Individuals	Journal of Investigative Dermatology	Original Article
183	Akaishi, T. Kushimoto, S. Katori, Y. et al.	総合地域医療教育支援部	COVID-19 transmission in group living environments and households	Scientific Reports	Original Article
184	Nakayama, M. Inoue, R.	循環器内科	Electronic phenotyping to identify patients with heart failure using a national clinical information database in Japan	Public Health and Informatics: Proceedings of MIE 2021	Others
185	Sato, T. Maekawa, M. Mano, N. et al.	薬剤部	Role of oatp4c1 in renal handling of remdesivir and its nucleoside analog gs-441524: The first approved drug for patients with covid-19	Journal of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences	Original Article
186	Mori, Y. Izumiyama, T. Mori, N. et al.	整形外科	The effect of teriparatide for the treatment of multiple spontaneous clinical vertebral fractures after discontinuation of denosumab in a female patient with rheumatoid arthritis: A case report	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
187	Takahashi, M. Sakamoto, Y. Otsuka, K. et al.	腫瘍内科	Phase ii study of the reuse of trastuzumab with docetaxel beyond progression after first-line treatment in second-line treatment for unresectable, metastatic gastric cancer (T-core1203)	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
188	Aizawa, T.   Eto, T.   Hashimoto, K. et al.	整形外科	Surgical results of nonambulatory patients caused by ossification of the posterior longitudinal ligaments in the thoracic spine: Retrospective comparative study between posterior decompression and instrumented spinal fusion versus anterior decompression through a posterior approach	Journal of Neurosurgery: Spine	Original Article
189	Kanamori, H. Weber, D.J. Rutala, W.A.	総合感染症科	Role of the Healthcare Surface Environment in Severe Acute Respiratory Syndrome Coronavirus 2 (SARS-CoV-2) Transmission and Potential Control Measures	Clinical Infectious Diseases	Original Article
190	Tsuji, K. Shimada, M. Takahashi, F. et al.	婦人科	Clinico-pathological characteristics of patients with stage IB1-IB2 (FIGO 2018) uterine cervical cancer: a nationwide study in Japan	International Journal of Clinical Oncology	Original Article
191	Tanaka, S. Kadoya, N. Umezawa, R. et al.	放射線部	Evaluation of the dosimetric impact of heart function-based volumetric modulated arc therapy planning in patients with esophageal cancer	Radiological Physics and Technology	Original Article
192	Dairaku, T. Kawai, R. Kanaba, T. et al.	薬剤部	Effect of cytosine-Ag <sup>+</sup> -cytosine base pairing on the redox potential of the Ag <sup>+</sup> /Ag couple and the chemical reduction of Ag <sup>+</sup> to Ag by tetrathiafulvalene	Dalton Transactions	Original Article
193	Suzuki, H. Morita, Y.   Saito, R. et al.	循環器内科	Detection of intracellular histological abnormalities using cardiacmagnetic resonance T1mapping in patients with Danon disease: A case series	European Heart Journal - Case Reports	Original Article

194	Hata, T.  Mizuma, M.  Iseki, M. et al.	総合外科	Circulating tumor DNA as a predictive marker for occult metastases in pancreatic cancer patients with radiographically non-metastatic disease	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	Original Article
195	Ishikawa, H.  Muraki, T.  Morise, S. et al.	肢体不自由リハビリテーション科	Changes in shoulder muscle activities and glenohumeral motion after rotator cuff repair: an assessment using ultrasound real-time tissue elastography	Journal of Shoulder and Elbow Surgery	Original Article
196	Nakayama, M.  Inoue, R.  Miyata, S. et al.	循環器内科	Health Information Exchange between Specialists and General Practitioners Benefits Rural Patients	Applied Clinical Informatics	Original Article
197	Takayama, S.  Arita, R.  Ono, R. et al.	漢方内科	Treatment of covid-19-related olfactory disorder promoted by kakkontokasenkyushin'i: A case series	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
198	Kitaura, H.  Ogawa, S.  Ohori, F. et al.	矯正歯科	Effects of incretin-related diabetes drugs on bone formation and bone resorption	International Journal of Molecular Sciences	Review
199	Himori, N.  Yanagimachi, M.I.  Omodaka, K. et al.	眼科	The effect of dietary antioxidant supplementation in patients with glaucoma	Clinical Ophthalmology	Original Article
200	Bando, K.  Kuroishi, T.  Tada, H. et al.	矯正歯科	Nitrogen-containing bisphosphonates and lipopolysaccharide mutually augment inflammation via adenosine triphosphate (ATP)-mediated and interleukin 1 $\beta$ (IL-1 $\beta$ )-mediated production of neutrophil extracellular traps (NETs)	Journal of Bone and Mineral Research	Original Article
201	Kadoya, N.  Sakulsingharoj, S.  Kron, T. et al.	放射線治療科	Development of a physical geometric phantom for deformable image registration credentialing of radiotherapy centers for a clinical trial	Journal of Applied Clinical Medical Physics	Original Article
202	Katahira, S.  Sugimura, Y.  Mehdiani, A. et al.	心臓血管外科	Coronary artery bypass grafting under sole Impella 5.0 support for patients with severely depressed left ventricular function	Journal of Artificial Organs	Original Article
203	Inoue, J.  Sato, K.  Ninomiya, M. et al.	消化器内科	Envelope proteins of hepatitis B virus: Molecular biology and involvement in carcinogenesis	Viruses	Original Article
204	Suzuki, J.  Tozuka, H.  Hemmi, T. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Preoperative endovascular embolization in an easily bleeding respiratory epithelial adenomatoid hamartoma of the olfactory cleft: A case report	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
205	Sugino, S.  Konno, D.  Abe, J. et al.	手術部	Crucial involvement of catecholamine neurotransmission in postoperative nausea and vomiting: Whole-transcriptome profiling in the rat nucleus of the solitary tract	Genes, Brain and Behavior	Original Article
206	Akaishi, T.  Suzuki, T.  Nemoto, H. et al.	総合地域医療教育支援部	Five-year Psychosocial Impact of Living in Post-Disaster Prefabricated Temporary Housing	Disaster Medicine and Public Health Preparedness	Original Article
207	Saito, K.  Mori, S.  Kodama, T.	口腔支持療法科	McH-lpr/lpr-RA1 mice: A novel spontaneous mouse model of autoimmune sialadenitis	Immunology Letters	Original Article
208	Koarai, A.  Yamada, M.  Ichikawa, T. et al.	呼吸器内科	Triple versus LAMA/LABA combination therapy for patients with COPD: a systematic review and meta-analysis	Respiratory Research	Original Article

209	Ishii, T.   Kushimoto, S.   Katori, Y. et al.	総合地域医療教育支援部	Impacts of natural environmental factors and prevalence of airway symptoms on the local spread of covid-19: A time-series analysis in regional covid-19 epidemics	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
210	Inaba, Y.   Hitachi, S.   Watanuki, M. et al.	放射線部	Occupational radiation dose to eye lenses in CT-guided interventions using MDCT-fluoroscopy	Diagnostics	Original Article
211	Takayama, S.   Namiki, T.   Odaguchi, H. et al.	漢方内科	Prevention and Recovery of COVID-19 Patients With Kampo Medicine: Review of Case Reports and Ongoing Clinical Trials	Frontiers in Pharmacology	Review
212	Honkura, Y.   Yamamoto, M.   Rodriguez-Vázquez, J.F. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Fetal Development Of The Carotid Canal With Special Reference To A Contribution Of The Sphenoid Bone And Pharyngotympanic Tube	Anatomy and Cell Biology	Original Article
213	Takai, Y.   Misu, T.   Suzuki, H. et al.	神経内科	Staging of astrocytopathy and complement activation in neuromyelitis optica spectrum disorders	Brain	Original Article
214	Mori, Y.   Mori, N.   Izumiyama, T. et al.	整形外科	Mathematical model for histogram analysis of dynamic contrast-enhanced MRI: A method to evaluate the drug treatment response in rheumatoid arthritis	European Journal of Radiology	Original Article
215	Ujiie, N.   Sato, C.   Taniyama, Y. et al.	総合外科	Characteristics of esophageal achalasia in geriatric patients over 75 years of age and outcomes after peroral endoscopic myotomy	Geriatrics and Gerontology International	Original Article
216	Shiga, K.   Nibu, K.-I.   Fujimoto, Y. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Sites of invasion of cancer of the external auditory canal predicting oncologic outcomes	Head and Neck	Original Article
217	Hirashima, T.   Karasawa, H.   Aizawa, T. et al.	総合外科	Wnt5a in cancer-associated fibroblasts promotes colorectal cancer progression	Biochemical and Biophysical Research Communications	Original Article
218	Iwasaki, M.   Saito, T.   Tsubota, A. et al.	神経外科	Budget impact analysis of treatment flow optimization in epilepsy patients: Estimating potential impacts with increased referral rate to specialized care	Journal of Health Economics and Outcomes Research	Original Article
219	Yamaya, M.   Kudoh, S.	呼吸器内科	Anti-viral, anti-inflammatory and immunomodulatory effects of macrolides and their mechanisms in the human airway and lung cells	Advances in Medicine and Biology	Others
220	Ogata, H.   Yamazaki, Y.   Tezuka, Y. et al.	個別化医療センター	Renal injuries in primary aldosteronism: Quantitative histopathological analysis of 19 patients with primary aldosteronism	Hypertension	Original Article
221	Tanaka, K.   Hayashi, Y.   Takehara, A. et al.	婦人科	Abnormal early folliculogenesis due to impeded pyruvate metabolism in mouse oocytes	Biology of Reproduction	Original Article
222	Kouketsu, A.   Miyashita, H.   Kojima, I. et al.	歯科顎口腔外科	Comparison of different diagnostic imaging techniques for the detection of bone invasion in oral cancers	Oral Oncology	Original Article
223	Hirama, T.   Singer, L.G.   Brode, S.K. et al.	呼吸器外科	Treatment outcomes of nontuberculous mycobacterial pulmonary disease in lung transplant recipients	Transplant Infectious Disease	Original Article

224	Fujimura, M. Tominaga, T.	神経外科	Flow-augmentation bypass for moyamoya disease	Journal of Neurosurgical Sciences	Review
225	Saito, K. Toyama, H. Saito, M. et al.	麻酔科	Successive perioperative management of laparoscopic liver resection in the reverse Trendelenburg position for a patient with Fontan physiology: a case report	JA Clinical Reports	Original Article
226	Tanaka, H. Yamada, N. Kurishima, H. et al.	整形外科	The intraoperative hip range of motion in total hip arthroplasty predicts postoperative patient's satisfaction for cutting toenails and putting on sock	Journal of Orthopaedic Science	Original Article
227	Toyoshima, M. Shimada, M. Sasaki, S. et al.	婦人科	A single arm prospective pilot study examining the efficacy and safety of bevacizumab single maintenance therapy following platinum-based chemotherapy in patients with advanced or recurrent cervical cancer	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
228	Kudo, H.   Wada, M.   Sasaki, H. et al.	総合外科	Intestinal Transplantation at a Single Institution in Japan	Transplantation Proceedings	Original Article
229	Akaishi, T. Takahashi, T. Misu, T. et al.	総合地域医療教育支援部	Difference in the Source of Anti-AQP4-IgG and Anti-MOG-IgG Antibodies in CSF in Patients With Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder	Neurology	Original Article
230	Shimokawa, H. Suda, A. Takahashi, J. et al.	循環器内科	Clinical characteristics and prognosis of patients with microvascular angina: An international and prospective cohort study by the Coronary Vasomotor Disorders International Study (COVADIS) Group	European Heart Journal	Original Article
231	Yamashita, S. Kakimoto, K. Uemura, M. et al.	泌尿器科	Fertility and reproductive technology use in testicular cancer survivors in Japan: A multi-institutional, cross-sectional study	International Journal of Urology	Others
232	Mori, Y.   Aizawa, T.	整形外科	Assessment of bone repair in animal models with suppressed osteoclast function by pretreatment of bisphosphonates	Journal of Bone and Mineral Metabolism	Letter
233	Takahashi, S. Fukui, T. Nomizu, T. et al.	腫瘍内科	TP53 signature diagnostic system using multiplex reverse transcription-polymerase chain reaction system enables prediction of prognosis of breast cancer patients	Breast Cancer	Original Article
234	Hatta, W.   Koike, T.   Takahashi, S. et al.	消化器内科	Risk of metastatic recurrence after endoscopic resection for esophageal squamous cell carcinoma invading into the muscularis mucosa or submucosa: a multicenter retrospective study	Journal of Gastroenterology	Original Article
235	Ohkoshi, A.   Ishii, R.   Wakamori, S. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Serum selenium predicts achievement of full-dose cisplatin in concurrent chemoradiotherapy for locally advanced head and neck squamous cell carcinoma: A prospective, observational study	Oral Oncology	Original Article
236	Ota, C.   Saito, R.   Tominaga, J. et al.	小児科	Bilateral lung transplantation in a 9-year-old girl with bronchopulmonary dysplasia with pulmonary hypertension	Pediatric Pulmonology	Original Article
237	Terui, H.   Asano, M.   Shimada-Omori, R. et al.	皮膚科	Body mass index, HbA1c and serum C-reactive protein are predictors of secondary failure in infliximab continuance for Japanese psoriasis patients: A hospital-based retrospective case-control study	Journal of Dermatology	Original Article
238	Kimura, Y.   Terui, H.   Fujimura, C. et al.	皮膚科	Optimization of the IL-2 Luc assay for immunosuppressive drugs: a novel in vitro immunotoxicity test with high sensitivity and predictivity	Archives of Toxicology	Original Article

239	Tanaka, H.   Yamada, N.   Kurishima, H. et al.	整形外科	Limited effects on patient outcomes of conjoint tendon release in anterolateral muscle-sparing total hip arthroplasty	Journal of Orthopaedic Surgery and Research	Original Article
240	Niizuma, H.   Searleman, A.C.   Takeda, S. et al.	神経外科	Taspase1 orchestrates fetal liver hematopoietic stem cell and vertebrae fates by cleaving TFIIA	JCI Insight	Original Article
241	Hirama, T.   Tomiyama, F.   Notsuda, H. et al.	呼吸器外科	Outcome and prognostic factors after lung transplantation for bronchiectasis other than cystic fibrosis	BMC Pulmonary Medicine	Original Article
242	Mochizuki, Y.   Funayama, R.   Shirota, M. et al.	総合外科	Alternative microexon splicing by RBFOX2 and PTBP1 is associated with metastasis in colorectal cancer	International Journal of Cancer	Original Article
243	Kuramatsu, Y.   Suzukamo, Y.   Izumi, S.-I.	肢体不自由リハビリテーション科	Two types of sensorimotor strategies for whole-body movement in individuals with stroke: a pilot study	Physiotherapy Theory and Practice	Original Article
244	Harada-Shoji, N.   Suzuki, A.   Ishida, T. et al.	総合外科	Evaluation of Adjunctive Ultrasonography for Breast Cancer Detection among Women Aged 40-49 Years with Varying Breast Density Undergoing Screening Mammography: A Secondary Analysis of a Randomized Clinical Trial	JAMA Network Open	Original Article
245	Yamada, S.   Tsushima, K.   Kinoshita, M. et al.	歯周病科	Mouse Model of Loeys-Dietz Syndrome Shows Elevated Susceptibility to Periodontitis via Alterations in Transforming Growth Factor-Beta Signaling	Frontiers in Physiology	Original Article
246	Shido, K.   Kojima, K.   Yoshida-Akai, S. et al.	皮膚科	Ehlers-Danlos syndrome type IV with a novel COL3A1 exon 14 skipping variation confirmed by Tohoku Medical Megabank Organization genomic database	Journal of Dermatology	Original Article
247	Mori, Y.   Aizawa, T.	整形外科	Impacts of hydroxyvitamin D deficiency on impaired balance function and muscle weakness in young adults	Journal of Bone and Mineral Metabolism	Letter
248	Mitsune, A.   Yamada, M.   Fujino, N. et al.	呼吸器内科	Upregulation of leukocyte immunoglobulin-like receptor B4 on interstitial macrophages in COPD; their possible protective role against emphysema formation	Respiratory Research	Original Article
249	Tashiro, R.   Fujimura, M.   Katsuki, M. et al.	神経外科	Prolonged/delayed cerebral hyperperfusion in adult patients with moyamoya disease with RNF213 gene polymorphism c.14576G>A (rs112735431) after superficial temporal artery-middle cerebral artery anastomosis	Journal of Neurosurgery	Original Article
250	Takeuchi, N.   Izumi, S.-I.	肢体不自由リハビリテーション科	Motor learning based on oscillatory brain activity using transcranial alternating current stimulation: A review	Brain Sciences	Review
251	Yamaya, M.   Deng, X.   Kikuchi, A. et al.	呼吸器内科	The proton ATPase inhibitor bafilomycin A1 reduces the release of rhinovirus C and cytokines from primary cultures of human nasal epithelial cells	Virus Research	Original Article
252	Onodera, Y.   Takagi, K.   Neoi, Y. et al.	病理部	Forkhead box i1 in breast carcinoma as a potent prognostic factor	Acta Histochemica et Cytochemica	Original Article
253	Oshima, K.   Niinuma, Y.   Saito, H. et al.	総合感染症科	Pulmonary infection caused by mycobacterium marinum in a patient with anorexia nervosa	ERJ Open Research	Letter

254	Hasegawa, T.   Hosaka, T.   Harada, R. et al.	神経内科	Case Report: Guitarist's cramp as the initial manifestation of dopa-responsive dystonia with a novel heterozygous GCH1 mutation	F1000Research	Original Article
255	Kawasaki, Y.   Ishidoya, S.   Morimoto, R. et al.	泌尿器科	Laparoscopic Adrenalectomy Is Beneficial for the Health-Related Quality of Life of Older Patients with Primary Aldosteronism	Urologia Internationalis	Original Article
256	Shimoda, Y.   Kanamori, M.   Saito, R. et al.	神経外科	Aphasic status epilepticus after glioma resection: two case reports	Acta Neurochirurgica	Original Article
257	Fukuzawa, T.   Yamaki, S.   Irie, M. et al.	小児外科	Retroperitoneal paraganglioma with hypertensive crisis during laparoscopic surgery	Journal of Pediatric Surgery Case Reports	Original Article
258	Kanno, S.   Ogawa, K.-I.   Kikuchi, H. et al.	リハビリテーション部	Reduced default mode network connectivity relative to white matter integrity is associated with poor cognitive outcomes in patients with idiopathic normal pressure hydrocephalus	BMC Neurology	Original Article
259	Kawamura, Y.   Saijo, K.   Imai, H. et al.	腫瘍内科	Inhibition of IRAK1/4 enhances the antitumor effect of lenvatinib in anaplastic thyroid cancer cells	Cancer Science	Original Article
260	Miyauchi, E.   Tanaka, H.   Nakamura, A. et al.	呼吸器内科	Phase I/II study of biweekly nab-paclitaxel in patients with platinum-pretreated non-small cell lung cancer: NJLCG1402	Thoracic Cancer	Original Article
261	Sano, A.   Kakazu, E.   Hamada, S. et al.	消化器内科	Steatotic Hepatocytes Release Mature VLDL Through Methionine and Tyrosine Metabolism in a Keap1-Nrf2-Dependent Manner	Hepatology	Original Article
262	Dairaku, T.   Kawai, R.   Nozawa-Kumada, K. et al.	薬剤部	Chemical reduction of Ag <sup>+</sup> to Ag employing organic electron donors: evaluation of the effect of Ag <sup>+</sup> -mediated cytosine-cytosine base pairing on the aggregation of Ag nanoparticles	Dalton Transactions	Original Article
263	Saito, N.   Kikuchi, A.   Yamaya, M. et al.	総合地域医療教育支援部	Kakkonto Inhibits Cytokine Production Induced by Rhinovirus Infection in Primary Cultures of Human Nasal Epithelial Cells	Frontiers in Pharmacology	Original Article
264	Ogasawara, H.   Inagaki, A.   Fathi, I. et al.	総合外科	Preferable Transplant Site for Hepatocyte Transplantation in a Rat Model	Cell Transplantation	Original Article
265	Okamoto, H.   Takasawa, S.	総合外科	Okamoto model for necrosis and its expansions, CD38-cyclic ADP-ribose signal system for intracellular Ca <sup>2+</sup> mobilization and Reg (Regenerating gene protein)-Reg receptor system for cell regeneration	Proceedings of the Japan Academy Series B: Physical and Biological Sciences	Review
266	Okuyama, J.   Funakoshi, S.   Seto, S. et al.	肢体不自由リハビリテーション科	Importance of psychological support for disaster-affected adolescents: 10 years after the great east japan earthquake	Journal of Disaster Research	Original Article
267	Takahashi, J.   Suda, A.   Nishimiya, K. et al.	循環器内科	Pathophysiology and diagnosis of coronary functional abnormalities	European Cardiology Review	Original Article
268	Tsuchiya, S.   Tsuchiya, M.   Momma, H. et al.	顎口腔機能治療部	Prospective association between maternal bonding disorders and child toothbrushing frequency: A cross-sectional study of the Japan Environment and Children's Study	International Journal of Paediatric Dentistry	Original Article

269	Sasaki, H.   Nio, M.   Ando, H. et al.	小児外科	Anatomical patterns of biliary atresia including hepatic radicles at the porta hepatis influence short- and long-term prognoses	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	Original Article
270	Ichikawa, S.   Fujiwara, T.   Saito, K. et al.	血液内科	Salvage Cord Blood Transplantation for Sustained Remission of Acute Megakaryoblastic Leukemia That Relapsed Early after Myeloablative Transplantation	Internal Medicine	Original Article
271	Akaishi, T.   Kushimoto, S.   Katori, Y. et al.	総合地域医療教育支援部	Discriminatory Value of Self-reported Olfactory Dysfunction in the Prediction of Coronavirus Disease 2019	Internal Medicine	Original Article
272	Kikuchi, S.   Murakami, K.   Obara, T. et al.	精神科	One-year trajectories of postpartum depressive symptoms and associated psychosocial factors: findings from the Tohoku Medical Megabank Project Birth and Three-Generation Cohort Study	Journal of Affective Disorders	Original Article
273	Yokoyama, H.   Hirayama, M.   Takahashi, Y. et al.	血液内科	Altered effect of killer immunoglobulin-like receptor-ligand mismatch by graft versus host disease prophylaxis in cord blood transplantation	Bone Marrow Transplantation	Original Article
274	Oyama, K.   Giugliano, R.P.   Blazing, M.A. et al.	循環器内科	Baseline Low-Density Lipoprotein Cholesterol and Clinical Outcomes of Combining Ezetimibe With Statin Therapy in IMPROVE-IT	Journal of the American College of Cardiology	Original Article
275	Terui, H.   Yamasaki, K.   Tamabuchi, E. et al.	皮膚科	Neutrophil extracellular traps as a possible pathomechanism of generalized acquired cutis laxa associated with IgA-lambda monoclonal gammopathy of undetermined significance	Acta Dermato-Venereologica	Original Article
276	Hoshijima, H.   Higuchi, H.   Sato Boku, A. et al.	歯科麻酔疼痛管理科	Patient satisfaction with deep versus light/moderate sedation for non-surgical procedures: A systematic review and meta-analysis	Medicine	Original Article
277	Watanabe, T.   Juvet, S.C.   Boonstra, K. et al.	呼吸器外科	Recipient bone marrow-derived IL-17 receptor A-positive cells drive allograft fibrosis in a mouse intrapulmonary tracheal transplantation model	Transplant Immunology	Original Article
278	Minato, T.   Ito, S.   Li, B. et al.	婦人科	Liquid biopsy with droplet digital PCR targeted to specific mutations in plasma cell-free tumor DNA can detect ovarian cancer recurrence earlier than CA125	Gynecologic Oncology Reports	Original Article
279	Suzuki, H.   Takanami, K.   Takase, K. et al.	循環器内科	Reversible increase in stress-associated neurobiological activity in the acute phase of Takotsubo syndrome; a brain 18F-FDG-PET study	International Journal of Cardiology	Original Article
280	Aoyagi, T.   Sato, Y.   Baba, H. et al.	総合感染症科	Case Report: Successful Treatment of Five Critically Ill Coronavirus Disease 2019 Patients Using Combination Therapy With Etoposide and Corticosteroids	Frontiers in Medicine	Original Article
281	Kikuchi, S.   Kobayashi, N.   Watanabe, Z. et al.	精神科	Corrigendum to: The delivery of a placenta/fetus with high gonadal steroid production contributes to postpartum depressive symptoms (Depression and Anxiety, (2021), 38, 4, (422-430), 10.1002/da.23134)	Depression and Anxiety	Others
282	Miura, S.   Takikawa, T.   Kikuta, K. et al.	消化器内科	Focal parenchymal atrophy of the pancreas is frequently observed on pre-diagnostic computed tomography in patients with pancreatic cancer: A case-control study	Diagnostics	Original Article
283	Yamada, A.   Yoshizaki, K.   Ishikawa, M. et al.	小児歯科	Connexin 43-Mediated Gap Junction Communication Regulates Ameloblast Differentiation via ERK1/2 Phosphorylation	Frontiers in Physiology	Original Article



284	Tezuka, Y.  Ishii, K.  Zhao, L. et al.	腎・高血圧・内分泌科	ACTH Stimulation Maximizes the Accuracy of Peripheral Steroid Profiling in Primary Aldosteronism Subtyping	Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism	Original Article
285	Takahashi, J.  Suda, A.  Yasuda, S. et al.	循環器内科	Measurement of myocardial lactate production for diagnosis of coronary microvascular spasm	Journal of Visualized Experiments	Original Article
286	Shirai, T.  Kakuta, Y.  Fujii, H.	リウマチ膠原病科	Distinct Autoantibodies Against Endothelial Protein C Receptor in Ulcerative Colitis	Gastroenterology	Letter
287	Shirai, T.  Mori, Y.  Izumiya, T. et al.	リウマチ膠原病科	Rheumatoid Arthritis After Cord Blood Cell Transplantation	Journal of clinical rheumatology : practical reports on rheumatic & musculoskeletal diseases	Original Article
288	Umezawa, R.  Wakita, A.  Katsuta, Y. et al.	放射線治療科	A Pilot Study of Synchronization of Respiration-Induced Motions in the Duodenum and Stomach for the Primary Tumor in Radiation Therapy for Pancreatic Cancer Using 4-Dimensional Computed Tomography	Advances in Radiation Oncology	Original Article
289	Hatta, W.  Koike, T.  Ogata, Y. et al.	消化器内科	Comparison of magnifying endoscopy with blue light imaging and narrow band imaging for determining the invasion depth of superficial esophageal squamous cell carcinoma by the japanese esophageal society's intrapapillary capillary loop classification	Diagnostics	Original Article
290	Takahashi, J.  Shimokawa, H.  Yasuda, S.	循環器内科	Usefulness of hybrid assessment for coronary functional abnormalities by non-invasive and invasive techniques	International Journal of Cardiology	Others
291	Mori, Y.  Fujisawa, H.  Kamimura, M. et al.	整形外科	Acceleration of fracture healing in mouse tibiae using intramedullary nails composed of $\beta$ -type titanium alloy with low young's modulus	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
292	Sato, T.  Kariyasu, M.  Watanabe, K. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Oral reading task with selected indices to evaluate speaking voice function in patients with unilateral vocal fold paralysis before and after surgical interventions	Japan Journal of Logopedics and Phoniatrics	Original Article
293	Shinohara, Y.  Washio, J.  Kobayashi, Y. et al.	咬合回復科	Hypoxically cultured cells of oral squamous cell carcinoma increased their glucose metabolic activity under normoxic conditions	PLoS ONE	Original Article
294	Hosoyama, K.  Maeda, K.  Saiki, Y.	心臓血管外科	What does complete revascularization mean in 2021? - Definitions, implications, and biases	Current opinion in cardiology	Review
295	Kikuchi, A.  Wada, Y.  Ohura, T. et al.	小児科	The discovery of galactose deficiency (Type iv galactosemia) and newborn screening system for galactosemia in japan	International Journal of Neonatal Screening	Review
296	Ishikawa, Y.  Umezawa, R.  Yamamoto, T. et al.	放射線治療科	Successful treatment with radiation therapy for desmoid-type fibromatosis with unilateral hydronephrosis: a case report	Journal of Medical Case Reports	Original Article
297	Ichikawa, S.  Inokura, K.  Kawamura, Y. et al.	血液内科	Massive bone marrow infiltration of neuroendocrine carcinoma mimicking aggressive hematological malignancy	Journal of Hematopathology	Original Article
298	Irie, M.  Nakano, T.  Katayama, S. et al.	小児腫瘍科	Clofarabine monotherapy in two patients with refractory Langerhans cell histiocytosis	Cancer Reports	Original Article

299	Hata, T.   Mizuma, M.   Motoi, F. et al.	総合外科	Germline DNA damage repair gene mutations in pancreatic cancer patients with personal/family histories of pancreas/breast/ovarian/prostate cancer in a Japanese population	Annals of Gastroenterological Surgery	Original Article
300	Akaishi, T.   Karibe, H.   Endo, T. et al.	総合地域医療教育支援部	Organized Chronic Subdural Hematoma: A Condition Presenting Mixed-Density Hematoma without Gradation Density on Brain CT	Case Reports in Neurology	Original Article
301	Saito, M.   Koike, T.   Ohara, Y. et al.	消化器内科	Linked-color imaging may help improve the visibility of superficial barrett's esophageal adenocarcinoma by increasing the color difference	Internal Medicine	Original Article
302	Tanaka, K.   Hayashi, Y.   Takehara, A. et al.	婦人科	Erratum: Abnormal early folliculogenesis due to impeded pyruvate metabolism in mouse oocytes† (Biology of Reproduction (2021) 105:1 (64-75) DOI: 10.1093/biolre/ioab064)	Biology of Reproduction	Others
303	Yamada, M.   Motoike, I.N.   Kojima, K. et al.	呼吸器内科	Genetic loci for lung function in Japanese adults with adjustment for exhaled nitric oxide levels as airway inflammation indicator	Communications Biology	Original Article
304	Akaishi, T.   Misu, T.   Fujihara, K. et al.	総合地域医療教育支援部	White blood cell count profiles in multiple sclerosis during attacks before the initiation of acute and chronic treatments	Scientific Reports	Original Article
305	Takagi, H.   Leipsic, J.A.   Indraratna, P. et al.	放射線診断科	Association of Tube Voltage With Plaque Composition on Coronary CT Angiography: Results From PARADIGM Registry	JACC: Cardiovascular Imaging	Original Article
306	Sekiguchi, Y.   Honda, K.   Owaki, D. et al.	リハビリテーション部	Classification of ankle joint stiffness during walking to determine the use of ankle foot orthosis after stroke	Brain Sciences	Original Article
307	Oyama, K.   Giugliano, R.P.   Tang, M. et al.	循環器内科	Effect of evolocumab on acute arterial events across all vascular territories: Results from the FOURIER trial	European Heart Journal	Original Article
308	Akaishi, T.   Kushimoto, S.   Katori, Y. et al.	総合地域医療教育支援部	Covid-19 transmission at schools in Japan	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
309	Chiba, D.   Yamada, N.   Mori, Y. et al.	整形外科	Mid-term results of a new femoral prosthesis using Ti-Nb-Sn alloy with low Young's modulus	BMC Musculoskeletal Disorders	Original Article
310	Bando, K.   Oizumi, T.   Takahashi, T. et al.	矯正歯科	Release of nitrogen-containing bisphosphonates (nbps) from hydroxyapatite by non-nbps and by pyrophosphate	Biological and Pharmaceutical Bulletin	Original Article
311	Hirama, T.   Akiba, M.   Watanabe, T. et al.	呼吸器外科	Waiting time and mortality rate on lung transplant candidates in Japan: a single-center retrospective cohort study	BMC Pulmonary Medicine	Original Article
312	Odashima, K.   Nogami, S.   Kitamura, J. et al.	歯科顎口腔外科	Glandular odontogenic cyst in mandible: A case report and literature review	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	Original Article
313	Katahira, S.   Sugimura, Y.   Aubin, H. et al.	心臓血管外科	Transplantation after Mustard operation for transposition of the great arteries	Clinical Case Reports	Original Article

314	Nagamoto, H.   Abe, M.   Konashi, Y. et al.	整形外科	Rotation-related sports players demonstrate rotation-type lumbar spondylolysis fracture angle and decreased hip internal rotation range of motion	Journal of Orthopaedics	Original Article
315	Akaishi, T.   Misu, T.   Fujihara, K. et al.	総合地域医療教育支援部	Relapse activity in the chronic phase of anti-myelin-oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease	Journal of Neurology	Original Article
316	Kagaya, Y.   Tabata, M.   Arata, Y. et al.	循環器内科	Employment of color Doppler echocardiographic video clips in a cardiac auscultation class with a cardiology patient simulator: discrepancy between students' satisfaction and learning	BMC Medical Education	Original Article
317	Moriya, K.   Imamura, T.   Katayama, S. et al.	小児科	The incidence of symptomatic osteonecrosis is similar between Japanese children and children in Western countries with acute lymphoblastic leukaemia treated with a Berlin-Frankfurt-Münster (BFM)95-based protocol	British Journal of Haematology	Original Article
318	Naganuma, M.   Akiyama, M.   Sasaki, K. et al.	心臓血管外科	Aortic insufficiency causes symptomatic heart failure during left ventricular assist device support	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
319	Toyama, H.   Takei, Y.   Saito, K. et al.	麻酔科	Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation During Bilateral Lung Transplantation for a Patient With Eisenmenger Syndrome Complicated With Giant Pulmonary Artery Aneurysm, Azygos Continuation, and Central Airway Obstruction	Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia	Original Article
320	Ezura, M.   Kikuchi, A.   Okamura, N. et al.	神経内科	<sup>18</sup> F-THK5351 Positron Emission Tomography Imaging in Neurodegenerative Tauopathies	Frontiers in Aging Neuroscience	Original Article
321	Fujishima, F.   Fukuhara, N.   Katsushima, H. et al.	病理部	Utility of a new notation to visualize flow cytometry analysis results: first preliminary comparison with immunohistochemistry to detect CD30 expression on T-cell lymphoma cells	BMC Cancer	Original Article
322	Amagai, R.   Muto, Y.   Kato, H. et al.	皮膚科	Retrospective analysis of adjuvant therapy using dabrafenib plus trametinib in Japanese patients with advanced melanoma: analysis of 36 cases	Melanoma research	Original Article
323	Yamauchi, D.   Honkura, Y.   Kawamura, Y. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Underwater Endoscopic Ear Surgery for Closure of Cholesteatomatous Labyrinthine Fistula with Preservation of Auditory Function	Otology and Neurotology	Original Article
324	Shirakura, M.   Kawase, T.   Kanno, A. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Different contra-sound effects between noise and music stimuli seen in N1m and psychophysical responses	PLoS ONE	Original Article
325	Honda, K.   Sekiguchi, Y.   Sasaki, A. et al.	肢体不自由リハビリテーション科	Effects of seat height on whole-body movement and lower limb muscle power during sit-to-stand movements in young and older individuals	Journal of biomechanics	Original Article
326	Oshima, K.   Baba, H.   Kanamori, H. et al.	総合感染症科	Azithromycin: A promising treatment option for Mycobacterium avium complex pulmonary disease in case of intolerance to clarithromycin	Journal of Clinical Tuberculosis and Other Mycobacterial Diseases	Original Article
327	Godo, S.   Takahashi, J.   Yasuda, S. et al.	循環器内科	Endothelium in Coronary Macrovascular and Microvascular Diseases	Journal of cardiovascular pharmacology	Review
328	Kanamori, M.   Takami, H.   Suzuki, T. et al.	神経外科	Necessity for craniospinal irradiation of germinoma with positive cytology without spinal lesion on MR imaging - A controversy	Neuro-Oncology Advances	Original Article

329	Takeda, K. Matsushita, H. Umezawa, R. et al.	放射線診断科	Hyperfractionated radiotherapy for re-irradiation of recurrent esophageal cancer	Radiation Oncology Journal	Original Article
330	Hashimoto, K. Tanaka, Y. Tsubakino, T. et al.	整形外科	Imaging diagnosis of lumbar foraminal stenosis in the fifth lumbar nerve root: reliability and reproducibility of T1-weighted three-dimensional lumbar MRI	Journal of Spine Surgery	Original Article

計330件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合)。
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

## (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Mikami, T. Nakano, T. Takahashi, M. et al.	消化器内科	A case of scirrhous gastric cancer in which cancer cells were first identified in the ascites by immunostaining using the cell transfer technique	Nihon Shokakibyō Gakkai zasshi = The Japanese journal of gastroenterology	Original Article
2	Kikuta, K. Masamune, A.	消化器内科	The revised diagnostic criteria and prospects of chronic pancreatitis	Nihon Shokakibyō Gakkai zasshi = The Japanese journal of gastroenterology	Original Article
3	Nitta, F. Kunikata, H. Nishiguchi, K. et al.	眼科	A case of delayed-onset endophthalmitis due to intraocular iron foreign body detected by MRI	Japanese Journal of Clinical Ophthalmology	Original Article
4	Endo, T. Tominaga, T.	神経外科	Current surgical treatment strategy for spinal cord tumors	Japanese Journal of Neurosurgery	Original Article
5	Maekawa, M. Iwahori, A. Mano, N.	薬剤部	Identification and diagnostic performance evaluation of biomarkers for Niemann-Pick disease type C using mass spectrometry	Japanese Journal of Clinical Chemistry	Original Article
6	Jingu, K. Takahashi, N. Tasaka, S. et al.	放射線治療科	Long-term change in the oral health related qol of patients treated with definitive radiotherapy for head and neck cancer	Japanese Journal of Head and Neck Cancer	Original Article
7	Kajitani, T. Karibe, H. Narisawa, A.	神経外科	Oculomotor nerve palsy caused by the posterior communicating artery with impending ruptured internal carotid-posterior communicating aneurysm: A case report	Japanese Journal of Neurosurgery	Original Article

計7件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 主に倫理委員会の体制や申請の要件、倫理委員会審査まで流れ、申請手続き、様式一覧、その他留意すべき事項など。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 東北大学利益相反マネジメントポリシーに基づき、役職員が産学官連携活動その他の社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、大学の社会後年の推進を図ることを目的とする。 利益相反マネジメント推進体制、利益相反マネジメントの実施方法など。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年8回
・ 研修の主な内容 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針、『人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針』の制定について・新たな研究指針制定に伴う倫理審査申請等の手続きの変更について、プロトコールの作成について、事例を踏まえた臨床研究実施時の留意点2021・臨床研究の規制遵守、研究デザインとサンプルサイズ設計、知的財産制度の基礎と活用、研究公正に関する講習会、研究目的に合致した質の作りこみの意味とその方法	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院の研修では、各領域の多数の専門医・指導医の指導の下、豊富な高度医療設備を用いて、将来の専門医・指導医資格の取得のため、日々高度な医療の習得に努めています。最先端医療や稀少症例、難治症例を経験するだけでなく、連携病院と協力し各領域の多様な症例を経験することにより、全人的な診療能力を持つ専門医を養成しております。また、大学院で学位を併行して取得することも可能であり、医師のみならず教育者、研究者として社会に貢献しております。

平成30年度から開始した新専門医制度による専門医研修において、全19基本領域の専門研修プログラムを整備しております。さらに、初期研修から基本領域の専門研修、サブスペシャリティ領域での専門研修、大学院進学等、シームレスな医師養成を行っております。また、当院の専門研修プログラムでは、当院のみならず多くの連携病院と協力し、各人の希望やニーズを考慮し各人毎に最適なプログラムでの研修を行えるよう整備しています。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	122.9 人
-------------	---------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
阿部 倫明	総合診療科	准教授	28年	
安田 聡	循環器内科	教授	35年	
金森 肇	感染症内科	講師	18年	
田中 哲洋	腎・高血圧・内分泌科	教授	27年	
張替 秀郎	血液内科	教授	36年	
藤井 博司	リウマチ膠原病内科	特命教授	26年	
片桐 秀樹	糖尿病代謝科	教授	35年	
井上 淳	消化器内科	講師	22年	
富田 尚希	加齢・老年病科	助教	21年	
高山 真	漢方内科	准教授	25年	
福土 審	心療内科	教授	39年	
玉田 勉	呼吸器内科	准教授	28年	
石岡千加史	腫瘍内科	教授	38年	
海野 倫明	総合外科（肝胆膵・移植グループ）	教授	36年	
大沼 忍	総合外科（下部消化管グループ）	特命教授	28年	
亀井 尚	総合外科（上部消化管・血管グループ）	教授	31年	
石田 孝宣	外科（乳腺・内分泌グループ）	教授	35年	
和田 基	小児外科	教授	28年	
齋木 佳克	心臓血管外科	教授	32年	
相澤 俊峰	整形外科	教授	33年	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
今井 啓道	形成外科	教授	29年	
岡田 克典	呼吸器外科	教授	34年	
山内 正憲	麻酔科	教授	31年	
八重樫 伸生	産婦人科	教授	38年	
伊藤 明宏	泌尿器科	教授	32年	
青木 正志	脳神経内科	教授	32年	
金森 政之	脳神経外科	准教授	27年	
富田 博秋	精神科	教授	33年	
笹原 洋二	小児科	准教授	31年	
浅野 善英	皮膚科	教授	24年	
針谷 威寛	眼科	助教	16年	
香取 幸夫	耳鼻咽喉科	教授	34年	
香取 幸夫	頭頸部外科	教授	34年	
出江 紳一	リハビリテーション科	教授	39年	
高瀬 圭	放射線科	教授	33年	
古川 宗	救急科	助手	23年	
藤島 史喜	病理診断科	准教授	23年	
山田 聡	歯科	教授	28年	
山内 健介	歯科顎口腔外科	准教授	22年	
山田 亜矢	小児歯科	特命教授	27年	
溝口 到	矯正歯科	教授	39年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容：看護実践を担う看護職員に対してジェネラリストとしての看護実践能力向上とキャリア開発のために「看護実践能力開発システム（TNADS）」を導入している。TNADSの柱としてクリニカルラダーがあり、看護実践、看護管理、教育・研究、人間形成の4領域と4段階の熟達レベルで教育プログラムを組み集合・オンラインで実施している。
- ・研修の期間：令和3年4月～令和4年3月 ・実施回数：54回
- ・研修の参加人数：延べ3,508人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容：質の高い看護を提供するために看護管理者が人を育成しながら組織運営に係る資質を高めることを支援するための研修を集合・オンラインで実施している。
- ・研修の期間：令和3年4月～令和4年3月 ・実施回数：6回
- ・研修の参加人数：延べ609人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。



(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画      ②現状
管理責任者氏名	病院長 富永 悌二
管理担当者氏名	総務課長 木村 賢一・医事課長 前田 光男

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課 各診療科 薬剤部 医事課 電子カルテ	診療記録(手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真等を含む)は、平成26年4月より電子カルテを原本とし、記載及びスキャン取込を行い管理している。紙媒体の診療記録は患者毎にファイリングし、ターミナルデジットファイリング法で一元管理を行っている。保管期間は、最終来院日より15年と定めている。診療記録の院外への持ち出しについては原則として禁止している。病院日誌は年度毎に整理し紙媒体で保管している。処方箋は、月及び処方区分ごとにまとめ、5年間保管している。
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	従業者数を明らかにする帳簿は、人事システムで管理している。高度な医療の研修の実績については、紙・電子媒体で管理している。高度の医療の提供については、診療科・研究推進室等からデータをもらい、年度ごとに一覧を作成し、紙・電子媒体で管理している。患者数については、月ごとに集計を行い電子媒体で管理している。調剤の枚数については、毎月集計し、電子媒体で管理している。その他については、各部署で月ごとや年ごとに管理している。
		高度の医療の提供の実績	医事課及び研究推進室	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究推進室	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課及び医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部			
第一規則	規則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		医療に係る安全管理のための委		

		員会の開催状況		
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		

		保管場所	管理方法			
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。		
		院内感染対策のための委員会の開催状況				
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況				
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況				
	第二項第一号から第三号までに掲げる事項	医薬品安全管理責任者の配置状況	医薬品安全管理室	電子ファイルで保管（医薬品安全管理室内規及び医薬品安全管理手順書）。		
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況				
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況				
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況				
		医療機器安全管理責任者の配置状況			医療機器安全管理室	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況				
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況				
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況				

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医薬品安全管理室	会議資料等を毎月整理し、電子ファイルで保管。
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課	
		医療安全管理部門の設置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況		
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医薬品安全管理室	会議資料を電子ファイルで保管。
			地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		監査委員会の設置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況		
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況		
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況		
		職員研修の実施状況		
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況				
管理者が有する権限に関する状況	総務課	紙媒体を薄冊として保管している。		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況				
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況				

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="radio"/> 2. 現状 <input checked="" type="radio"/>
閲覧責任者氏名	病院長 富永 悌二
閲覧担当者氏名	総務課長 木村 賢一・医事課長 前田 光男
閲覧の求めに応じる場所	・会議室
閲覧の手続の概要	
閲覧については、諸記録ごとの管理部署が担当窓口となり、請求手続きに応じている。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>『東北大学病院の医療に関する安全管理指針』</p> <p>(1) 患者に対する十分なインフォームド・コンセント及びその同意に基づく医療従事者との良好な信頼関係のもとに、患者本位の全人的な医療及び安全な医療を提供する。</p> <p>(2) 医療における基本の徹底及びその質の向上を図るとともに、すべての医療従事者の意識改革及び啓発を図るため、教育・研修及び講演会等を定期的開催する。</p> <p>(3) 医療従事者自らが、医療行為の基本的事項を日々点検・確認し、事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに所属責任者に報告するとともに、患者及び関係者に説明の上適切に対処し、速やかに事故内容等の検討及び再発の防止対策を講ずる。</p> <p>(4) 上記3つの事項を遂行するため、次に掲げる組織及び体制を整備する。</p> <p>① 医療安全管理責任者          本院に、病院長を補佐し、医療安全推進委員会、医療安全推進室、医薬品安全管理室及び医療機器安全管理室を統括する者として医療安全管理責任者を置き、副病院長（医療安全担当）をもって充てる。</p> <p>② 医療安全推進委員会          本院における医療の安全管理体制の確保、研修等の企画・実施、及び、次のイからホのインシデントについて、医療安全推進室からの報告を受け、改善策の検討と実施状況の確認を行う。</p> <p>イ 分類別、職種別、レベル別の月間分析結果          ロ 分類別（薬剤、チューブ、転倒転落等）の年間分析結果          ハ レベル3b以上の事案についての詳細とその改善状況          ニ 警鐘的事例に関すること          ホ その他、重大事例に関すること</p> <p>③ 医療安全推進室          医療に関する安全管理指針に基づき、本院における医療事故の防止及び医療の質と安全性を一層向上させるため、その遂行に必要な組織全体のシステムを構築する。</p> <p>④ 専門部会          医療安全推進室の専門部会として下記部会を置き、専門の事項を調査審議するため専門委員若干人で構成し、具体的な事案に対応する。</p> <p>イ マニュアル作成部会          ロ 標準化推進部会          ハ 広報・教育部会          ニ インシデント審議部会</p> <p>⑤ リスクマネジャー会議          医療安全推進室の下部組織として、各診療科、看護部、各中央診療施設等及び事務部等の中核となる実務担当等で構成し、医療事故等の未然防止について具体的な安全対策を推進し、事故又はインシデントレポートの検証及び再発防止策の策定等を行う。</p> <p>⑥ 医薬品安全管理室          本院における医薬品の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</p> <p>⑦ 医療機器安全管理室          本院における医療機器の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</p> <p>⑧ 医療放射線安全管理室          本院における医療放射線の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</p> <p>⑨ インシデント対応委員会          本院において重大なインシデントが発生した場合に、直ちに当該インシデントの事実関係を確認し、適切かつ必要な対応策を検討する。また、患者・家族への対応について病院としての判断・見解を検討し、初期対応を決定する。</p>	

⑩ 医療事故調査委員会

医療安全推進委員会及び医療安全推進室とは別組織とし、医療事故の報告を受けた病院長が必要と認めるときは、当該関係者を招集して医療事故の調査等を行う。

⑪ 特別医療事故調査委員会

病院長は、医療法第6条の10第1項に定める医療事故が発生したときは、当該関係者を招集して医療法第6条の11第1項に規定する医療事故調査等を行う。

⑫ 高難度新規医療技術

高難度新規医療技術等を用いた医療を提供する場合は、関係学会から示される「高難度新規医療技術の導入にあたっての基本的考え方」やガイドライン等を参考に実施する。

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

- ・ 設置の有無 (  有・無 )
- ・ 開催状況：年 1 2 回
- ・ 活動の主な内容：  
医療安全推進委員会

以下の内容についての審議及び報告を行う。

- ・ 医療に関する安全管理指針に関すること。
- ・ 医療の安全管理体制の確保に関すること。
- ・ 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。
- ・ 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。
- ・ 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。
- ・ 医薬品、医療機器及び医療放射線の安全管理に関すること。
- ・ 重大な問題その他医療安全推進委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。
- ・ 上記の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに院内に勤務する者への周知に関すること。
- ・ 上記に関する改善方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。
- ・ 入院患者が死亡した場合は、当該死亡の事実及び死亡前の状況、入院患者が死亡した場合以外の場合であって、通常経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院長が定める水準以上の事象が発生したときは、当該事象の発生の実事及び発生前の状況について、報告の実施の状況の確認及び確認結果の病院長への報告に関すること。
- ・ 上記に規定する実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための院内に勤務する者への研修及び指導に関すること。
- ・ その他医療の安全管理等に関すること。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 1 7 回

- ・ 研修の内容 (すべて)：
  - ・ 医療安全に係る情報提供
  - ・ 医療安全に関する意識の向上のための情報提供
  - ・ 医療安全に関する基本的知識の確認
  - ・ 医療事故事例の紹介

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (  有・無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：  
事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに院内インシデント報告制度に基づき医療安

全管理部門へ報告すること。

事故又はインシデント事例の報告を受けた安全管理部門は院内マニュアルに従い事例についての情報を収集、分析を行い、問題点を把握し改善策を検討すること。

重大事例の発生時には院内マニュアルに従い速やかに管理者へ報告を行い、必要に応じて事故調査委員会を設置、原因の分析を行うと共に効果的な再発防止策を検討すること。

毎月の医療安全推進委員会において、月次インシデントの集計報告及び3b以上の事例の報告を行っており、院内のインシデントの発生状況の把握に努めていること。また、院内のインシデントから警鐘的な事例を毎月1例取り上げて、事案の分析や再発防止策の検討等を医療安全推進委員会で行っていること。

毎年度1回、全病棟及び外来棟に対し医療安全巡視を行い、医療安全に係る業務について適切に行われているかの確認及び指導を行っていること。また、全体巡視に加えて、GRM3名が、毎週、病棟を巡視しており、院内における医療が適正に実施されているかを適宜確認していること。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：</li> <li>・ 院内感染対策に関する基本的考え方</li> <li>・ 感染対策のための委員会</li> <li>・ 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針</li> <li>・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>・ 院内における感染症発生時の対応に関する基本方針</li> <li>・ 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>・ その他の感染対策の推進のために必要な指針</li> </ul> <p>『東北大学病院における感染対策の指針』</p> <p>医療関連感染に対する、医療従事者の標準予防策並びに手指衛生を始めとする基本的な感染対策の確実な実施を行うための指針である。具体的には以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染対策のための委員会             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 感染対策に関する委員会として病院長を含む感染対策委員会を設置する。感染対策委員会は、医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議・決定する。</li> <li>2) 感染対策委員会の下部組織として感染対策実務委員会を置く。感染対策実務委員会は、院内の問題点を把握し、感染防止対策の実務を行い、各委員は委員会での決定事項を所属部署に周知する。</li> <li>3) 当院の感染対策全般について総合的な管理を行うため、感染管理室を置き、感染対策活動の総責任者として院内感染管理者を置く。</li> <li>4) 感染管理室の業務を職種横断的に遂行するための組織として、各職種からなるICT (Infection Control Team) を置き、感染に関する課題の抽出・解決、感染対策活動の周知徹底、各部署での教育等を行う。</li> <li>5) 抗菌薬の適正使用を推進するための組織として、AST (Antimicrobial Stewardship Team) を置き、感染症を発症した患者が適切な抗菌薬治療を受けているかどうかを多職種からなる専門家チームで評価、管理し、必要に応じて主治医に助言するなどの支援を行う。</li> </ol> </li> <li>2. 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 感染管理室並びにICTが中心となり、全職員を対象に具体的な研修の立案・実践を行う。</li> <li>2) 感染対策に関する必要な知識・技能を維持向上できるように、年2回以上の講習会を実施する。</li> <li>3) ICTによる職場巡視、各部門の感染対策担当者による日々の活動を通じて、継続的な教育・啓発を実施する。</li> </ol> </li> <li>3. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 感染管理室並びにICTは感染対策の実施のため、院内感染防止対策の立案、及び具体的な遵守事項を定めるマニュアルを作成する。</li> <li>2) 感染管理室は、微生物検査情報などをもとに院内における感染症発生動向について把握し、手指衛生の遵守、地域における病原体の伝播、抗菌薬使用状況なども踏まえた抗菌薬の適正使用について、ICT及びASTとともに機動的な感染対策を立案・実施する。</li> <li>3) 感染管理室は職員のワクチン接種など職業感染対策を積極的に推進するとともに、針刺し切創・体液曝露事例が発生した場合には、情報の収集並びに感染防止に関する対応を行う。</li> <li>4) 感染対策委員会並びに感染対策実務委員会は、感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応する。</li> </ol> </li> </ol>	



<p>4. 院内における感染症発生時の対応に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 感染症の伝播並びに集団感染事例が発生もしくは疑われる際には、第一に患者及び職員の生命及び健康と安全を最優先に考え行動する。</li> <li>2) 患者並びに家族への連絡・説明は速やかに、主治医もしくは当該科の上席医師が率直に事実を話すとともに、事実のみを客観的かつ正確に記録する。また患者並びに家族への説明内容などについて詳細に診療録等に記録する。</li> <li>3) 当該部署は状況について感染管理室へ報告する。感染管理室はICTとともに情報の収集並びに当面の対策について立案・実施し、病院長に報告する。</li> <li>4) 死亡又は重大な障害が発生した場合、又はその疑いがある場合には事務部長は病院長の指示を仰ぎ、速やかに所轄警察署・保健所・東北厚生局に届出をし、報告を行う。</li> <li>5) 集団感染事例が発生した場合は、速やかに事故原因の究明、今後の対応策等を検討する。調査は感染対策委員会の構成員に加え、関係部署を加えて構成する。必要に応じて、保健所や東北厚生局など外部の専門家を加え、客観的な判断を加えることに努める。又、公表の必要性と方法を協議し、病院長が決定する。</li> </ol> <p>5. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 本指針は患者及びその家族等から閲覧の求めがあった場合はこれに応じるものとする。</p> <p>6. その他の感染対策の推進のために必要な指針 感染対策マニュアルなど、その他の感染対策の推進のために必要な指針は、別途定める。</p>	
<p>② 院内感染対策のための委員会の開催状況</p>	<p>年12回</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：</li> <li>・ 院内感染対策のための委員会の管理及び運営に関する規程の整備を行うこと。</li> <li>・ 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。</li> <li>・ 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図ること。</li> <li>・ 院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。</li> <li>・ 医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議決定すること。</li> <li>・ 感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応すること。</li> </ul>	
<p>③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況</p>	<p>年15回</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：</li> <li>・ 院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オリエンテーション）</li> <li>・ 院内感染管理に則した研修（感染対策病棟講習会、感染対策に関するインターネット研修会）</li> <li>・ 感染管理全般に関する定期講演会（年8回）（内訳：インターネット研修7回、集合研修1回）</li> <li>・ その他感染管理に関する研修会</li> </ul>	
<p>④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： 「院内感染対策のための指針」に則した院内感染対策マニュアルの整備及び見直し、更には毎月の感染対策委員会において、サーベイランス対象菌種検出症例数の月次報告を行っており、院内の感染症の発生状況の把握に努めている。</li> </ul>	

また、医師・看護師・薬剤師、臨床検査技師の4職種が、毎週、週1回、全病棟30部署のラウンドを実施し、外来・中央診療部門もラウンドすることによって、感染症防止対応が適切に行われているかの確認及び指導を行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年28回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する研修</li> <li>・ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書についての研修</li> <li>・ 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する研修</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有・無)</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内で用いる医薬品の採用及び購入に関する業務</li> <li>・ 医薬品の管理に関する業務</li> <li>・ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する業務</li> <li>・ 患者に対する与薬</li> <li>・ 未承認等医薬品の使用に関すること</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)： <ul style="list-style-type: none"> <li>内視鏡観察時の鑑別に用いる3%検査用ルゴール液20mLなどの院内製剤を含め、診療科から申請/届出のあった未承認等医薬品(全298件,令和3年度対象品目)や、薬剤師が把握した未承認等医薬品の情報を管理している。</li> </ul> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疑義照会事例、副作用報告事例、インシデント事例、医薬品添付文書改訂に伴う注意事項等の医薬品情報を収集し、院内の医薬品の使用状況や注意事項を周知</li> <li>・ 医薬品安全管理室の指示のもと、薬剤師が病棟(月1回)及び外来診療科(2ヶ月に1回)の巡視を実施</li> <li>・ 医薬品安全管理室巡視を毎年実施</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無											
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年55回											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規導入機器は購入依頼時に研修対象者をリスト作成し、機器使用前の研修を実施</li> <li>○特定機能病院における定期研修について、年2回以上定期的に研修を実施</li> <li>○医療機器の有効性・安全性に関する事項</li> <li>○医療機器の使用法に関する事項</li> <li>○医療機器の保守点検に関する事項</li> <li>○医療機器の不具合等が生じた場合の対応に関する事項</li> <li>○医療機器の使用に関しての法令遵守に関する事項</li> <li>○その他新規採用者及び中途採用者・復職者を対象とする研修を実施</li> </ul> </li> </ul>												
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 ( 有・無 )</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</li> </ul>												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>保守点検の主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>人工心肺装置及び補助循環装置</td></tr> <tr><td>人工呼吸器</td></tr> <tr><td>血液浄化装置</td></tr> <tr><td>除細動装置</td></tr> <tr><td>閉鎖式保育器</td></tr> <tr><td>CTエックス線装置</td></tr> <tr><td>診療用高エネルギー放射線発生装置</td></tr> <tr><td>診療用放射線照射装置</td></tr> <tr><td>磁気共鳴画像診断装置</td></tr> </tbody> </table>	機器	保守点検の主な内容	人工心肺装置及び補助循環装置	人工呼吸器	血液浄化装置	除細動装置	閉鎖式保育器	CTエックス線装置	診療用高エネルギー放射線発生装置	診療用放射線照射装置	磁気共鳴画像診断装置	<p style="text-align: center;">始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 外部委託定期点検</p>
機器	保守点検の主な内容											
人工心肺装置及び補助循環装置												
人工呼吸器												
血液浄化装置												
除細動装置												
閉鎖式保育器												
CTエックス線装置												
診療用高エネルギー放射線発生装置												
診療用放射線照射装置												
磁気共鳴画像診断装置												
<p>上記保守点検について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 実施状況、使用状況、修理状況、購入年度の把握及び記録</li> <li>② 保守点検実施状況の評価及び医療安全の観点からの保守点検の見直し</li> </ol>												
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： <ul style="list-style-type: none"> <li>○婦人科における術後癒着防止を目的とした子宮内避妊器具の適用外使用：5件</li> <li>○肢体不自由リハビリテーション科における上下肢麻痺を治療するためのパスリーダーの適応外使用：264件</li> <li>○心臓血管外科における大動脈瘤治療のためのMFMの未承認使用：9件</li> <li>○保存修復科（歯内療法科）における歯根端切除術の逆根管充填剤としてMTAセメントを適用外使用する：20件</li> <li>○心臓血管外科における人工弁周囲逆流閉鎖のためのAVPⅡの適応外使用：9件</li> <li>○膀胱癌に対する放射線治療における位置照合のための放射線治療マーカー(visicoil)の適用外使用：4件</li> <li>○末梢ルート確保困難症例において、緊急時に造影剤注入適応の無いCVカテーテル（従来品）を用いて造影剤注入を実施する適用外使用：2件</li> <li>○呼吸器外科における胸腔鏡手術のためのNK綿棒の適用外使用：209件</li> <li>○集中治療部における、COVID19のECMO患者に対しての、アナコンダを用いたECMOからの吸入麻酔薬直接投与のための適用外使用：1件</li> </ul> </li> </ul>												

- 形成外科における高度な上顎低形成を呈する患者のための国内未承認医療機器The Leipzig retention plate setの未承認使用：1件
- 小児の再発性大動脈縮窄症に対するExcluderの適応外使用：1件
- Chimney/periscope法を用いた腹部大動脈ステントクラフト治療における腎動脈・上腸間膜動脈へのVIABAHNステントグラフトの使用：3件
- 静脈疾患に対する末梢動脈用ステントの使用：1件

・ その他の改善のための方策の主な内容：

- 未承認等医療機器を使用した診療に関する届出、治験・臨床研究に関しては倫理委員会の情報から使用状況の情報収集。
- 添付文書等の管理
- 医療機器に係る安全性情報の収集と病院管理者への報告
- 毎月第一木曜日の「医療機器点検の日」実施による医療機器の点検及び院内の意識啓発

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（<input checked="" type="checkbox"/>医師・<input type="checkbox"/>歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者として医療安全担当副院長が、医療安全管理部門（医療安全推進室）、医療安全管理委員会（医療安全推進委員会）、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>手順書に基づき医薬品情報を収集し、緊急度に応じた周知を実施している。また、必要に応じて院内の医薬品の使用状況について調査し、改善が必要とされる事項については、医療安全推進委員会等を通じて周知している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>医薬品安全管理室が未承認等医薬品に関する担当部門として規定されており、診療科から申請された未承認等医薬品の使用条件等について審議している。未承認等医薬品のうち、未承認新規医薬品及び院内製剤については、未承認新規医薬品評価委員会を開催し、使用の条件等に関する意見を聴取している。また、臨床試験薬については特殊薬品として薬剤部で管理しており、未承認等の医薬品について把握している。これらの情報及び処方状況を管理するシステムを構築し定期的に処方状況等について確認している。</p> <p>・担当者の指名の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部，職種 副薬剤部長） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p>	

- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容
- ：
  - ・文章による同意が必要な医療行為
  - ・説明者
  - ・複数の診療科が関わる場合（合同手術・依頼によって行われる検査・処置等）
  - ・説明と同意の方法
  - ・説明・同意書の運用
  - ・説明の内容
  - ・説明時の同席者
  - ・説明の相手方
  - ・同意の確認
  - ・説明と同意に関する診療記録への記録
  - ・緊急に医療行為が必要な患者の場合
  - ・同じ治療を繰り返す場合の説明と同意のあり方 等

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療記録等に必要な事項の記載があるか、また記載内容に齟齬がないか等の点検のため、チェックシートを使用し、入院診療計画書、医師経過記録、インフォームド・コンセント、手術（侵襲的処置含む）記録、病名整理、退院時要約等の評価を行っている。なお、点検結果は、記載の質向上がなされるよう各診療科へフィードバックし、適切な記載方法について指導している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（４）名、専任（１）名、兼任（ ）名</p> <p>  うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（ ）名</p> <p>  うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>  うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>  ◎医療安全推進室</p> <p>  (1) 医療安全推進委員会に係る事務に関すること。</p> <p>  (2) 医療事故、インシデント及び死亡事例の収集及び分析に関すること。</p> <p>  (3) 医療の安全管理に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。</p> <p>  (4) 医療安全管理マニュアルに関すること。</p>	

- (5) 医療安全巡視の実施及び実施状況の把握・分析に関すること。
- (6) 医療安全確保のための業務改善計画書の作成、実施状況の確認及び評価結果の記録に関すること。
- (7) 患者等からの相談件数、相談内容、相談後の取扱いに係る医療安全管理者の活動実績の記録に関すること。
- (8) 医療安全対策に係る取組の評価等を行うカンファレンスの実施及び記録に関すること。
- (9) 事故その他の医療安全推進室において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく院内に勤務する者への必要な指導に関すること。
- (10) 医療に係る安全管理に係る連絡調整に関すること。
- (11) 医療の質の向上及び医療に係る安全の確保のための対策の推進に関すること。
- (12) 医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び院内に勤務する者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（6件）、及び許可件数（4件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（  有 ・ 無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有 ・ 無 ）
- ・活動の主な内容：
  - ・高難度新規医療技術担当部門の設置について
    - ・高難度新規医療技術を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
    - ・体制に変更があった場合の確認について
    - ・高難度新規医療技術評価委員会について
    - ・報告及び通知について
    - ・実施状況等の確認について
    - ・センター長及び病院長への報告について
    - ・病院長からの停止命令について
    - ・審査資料等の保管について
    - ・秘密の保持について
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  有 ・ 無 ）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（  有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）



- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（  ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  ・無 ）
- ・活動の主な内容：
  - ・未承認新規医薬品を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
  - ・未承認新規医薬品を用いた医療の提供の廃止等について
  - ・未承認新規医薬品評価委員会について
  - ・報告及び通知について
  - ・使用状況等の確認について
  - ・センター長及び病院長への報告について
  - ・審査資料等の保管について
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（  ・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 6 2 5 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 1 0 6 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - (1) 医療に関する安全管理指針に関すること。
  - (2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。
  - (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。
  - (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。
  - (5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。
  - (6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。
  - (7) 重大な問題その他医療安全推進委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。
  - (8) 前号の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに院内に勤務する者への周知に関すること。
  - (9) 前号の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。
  - (10) 入院患者が死亡した場合は、当該死亡の事実及び死亡前の状況、入院患者が死亡した場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院長が定める水準以上の事象が発生したときは、当該事象の発生の事実及び発生前の状況につ

いて、報告の実施の状況の確認及び確認結果の病院長への報告に関すること。

(11) 前号に規定する実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための院内に勤務する者への研修及び指導に関すること。

(12) その他医療の安全管理等に関すること。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名： ）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名： ）・無）

・技術的助言の実施状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訪問調査は実施せず、紙面調査となった。

書面にて医療安全、医薬品安全管理、高難度新規医療技術、外部監査について札幌医科大学附属病院に報告し、同校からの質問に回答した。当院からは旭川医科大学病院から書面報告を受け、内容について質問し回答を得た。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

地域医療連携センター内に、相談に応じる窓口を設置しており、相談担当者が対応している。必要に応じて、相談担当者からセンター長や医療安全管理者等に相談の上、適切に対処している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

令和4年1月24日に専門医更新のための医療安全講習会（医療安全のABC）、同年3月8日に医療倫理に関する講演会（臨床倫理と臨床課題へのアプローチ）を実施。

令和3年度、その他は概ね e-learning を用いた研修を実施した。特定研修と題して特定機能病院の医療安全管理に関する事項等をメインにした研修を実施した。

また、特定のテーマを定め、ブラッシュアップ研修を実施しており、職員のスキル向上に努めている。（CVCの標準的手技、採血方法等）

なお、平成29年度からは、医薬品安全研修が毎月開催されている。

実施後の学習効果の測定は、毎年実施しているグラジオラス通信トリビア編（マークシート回答）によって検証している。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

日本医療機能評価機構主催の2021年度特定機能病院管理者研修を以下のとおり受講  
管理者:令和4年1月25日  
医療安全管理責任者:令和4年1月25日  
医薬品安全管理責任者:令和4年2月14日  
医療機器安全管理責任者:令和3年12月15日

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価(主たる機能種別「一般病院3」)の本審査を2020年11月に受審した。その後、2021年4月に補充的審査の受審を経て、同年6月4日付けで「条件付認定(6ヶ月)」という結果になった。条件付認定の場合、同機構から提示された改善要望事項に関して確認審査を受審する必要があるため、2022年5月25日に確認審査を受審し、同年7月8日付けで「条件付解除」となり、正式な「認定」となった。

当院は「高難度新規医療技術の実施後確認」「注射薬投与時の機械認証」「病理診断結果報告書の未読確認」について改善要望事項を示されており、これらに関して改善対策を講じ、継続的な実施を行い、一定の水準に達していると評価された。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

日本医療機能評価機構のウェブサイトにて「一般病院3」の審査結果が公表されている。

・評価を踏まえ講じた措置

(高難度新規医療技術の実施後確認)

高難度新規医療技術に関する同意書の様式を改訂し、自院における実績や術者の経験、新規医療技術であるが故のリスクを記載するようにした。報告間隔を1年毎から半年毎に変更し、さらに診療科からの報告だけでなく、担当部署も直接診療録等を確認するようにした。

(注射薬投与時の機械認証)

注射剤の準備及び投与時のフローの見直しとダブルチェック手順について現状分析と目標設定

の検討を行い、注射実施時の業務フロー及び注射剤の確認手順を見直した。注射オーダのある施用単位抽出注射剤は、薬剤調整時の確認を簡略化し、誤薬防止に観点から投与直前には携帯情報端末を用いた機械認証を必須とする業務フローとした。この業務フローの変更について、看護師長会および看護部委員会（QM 委員会）を通じて各部署への周知と徹底を図った。その後、部署ラウンドによるヒアリングと現場確認、各看護職員の認証実施率を経時的にモニタリングし遵守状況を可視化した。注射認証実施率の低い部署については、個別にヒアリングを行うとともに、各看護職員への指導を行い、誤薬防止策の徹底を図っている。

（病理診断結果報告書の未読確認）

病理所見の未読に関しては誰がどのレポートを確認していないかを明示したリストを作成し各診療科宛にリマインドを実施している。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容             <ul style="list-style-type: none"> <li>一 医療安全確保のために必要な資質及び能力 医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢や指導力等を有すること。</li> <li>二 東北大学病院(以下「本院」という。)の管理運営上必要な資質及び能力 本院又は本院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有すること。</li> <li>三 本院の理念等を実現するために必要な資質・能力 本院が掲げる基本理念と将来構想の実現を目指す強い意思とこれらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。</li> </ul> </li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法 東北大学の病院長候補者選考会議のホームページを設置し、当ページ内で基準を公表している。 (参照 : <a href="http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.html">http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.html</a>)</li> </ul>
---

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法 東北大学の病院長候補者選考会議のホームページを設置し、当ページ内で委員名簿等を公表している。 (参照 : <a href="http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.html">http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.html</a>)</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
大野 英男	東北大学総長	○	国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第1号によるもの	有
青木 孝文	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有
滝澤 博胤	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有

小谷 元子	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有
植木 俊哉	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有
下間 康行	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有
林 富	宮城県立こども病院名誉院長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第3号によるもの	無
近藤 丘	東北医科薬科大学病院長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第3号によるもの	有
八重樫 伸生	東北大学医学系研究科長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第4号によるもの	有
高橋 信博	東北大学歯学研究科長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第4号によるもの	有
川島 隆太	東北大学加齢医学研究所長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第4号によるもの	有
佐藤 和宏	宮城県医師会長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第5号によるもの	無
安藤 健二郎	仙台市医師会長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第5号によるもの	無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合議体の主要な審議内容 病院の業務、運営、組織、将来計画等に関する事項</li>   <li>・審議の概要の従業者への周知状況 合議体（病院運営評議会）構成員への議事要旨の配付、構成員が属する部署内での情報共有</li>   <li>・合議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・<input type="checkbox"/>無 ）</li> <li>・公表の方法</li>   <li>・外部有識者からの意見聴取の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・<input type="checkbox"/>無 ）</li> </ul>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
富 永 悌 二	○	医師	病院長
五十嵐 薫		歯科医師	総括副病院長
亀 井 尚		医師	副病院長
張 替 秀 郎		医師	副病院長
石 岡 千加史		医師	副病院長
江 草 宏		歯科医師	副病院長
溝 口 到		歯科医師	副病院長
鈴 木 由 美		看護師	副病院長
藤 森 研 司		医師	病院長特別補佐
田 畑 雅 央		医師	病院長特別補佐
高 野 忠 夫		医師	病院長特別補佐
植 田 琢 也		医師	病院長特別補佐
庄 司 貞 雄		研究員	病院長特別補佐
安 田 聡		医師	総合診療科長
徳 田 浩 一		医師	総合感染症科長
田 中 哲 洋		医師	腎・高血圧・内分泌科長
藤 井 博 司		医師	リウマチ膠原病内科長
片 桐 秀 樹		医師	糖尿病代謝科長
正 宗 淳		医師	消化器内科長
武 藤 達 士		医師	加齢・老年病科長
福 土 審		医師	心療内科長

杉浦久敏		医師	呼吸器内科長
海野倫明		医師	総合外科長
大沼忍		医師	総合外科長
石田孝宣		医師	総合外科長
和田基		医師	総合外科長
齋木佳克		医師	心臓血管外科長
相澤俊峰		医師	整形外科長
今井啓道		医師	形成外科長
山内正憲		医師	麻酔科長
井上彰		医師	緩和医療科長
岡田克典		医師	呼吸器外科長
久志本成樹		医師	救急科長
島田宗昭		医師	婦人科長
齋藤昌利		医師	産科長
伊藤明宏		医師	泌尿器科長
青木正志		医師	脳神経内科長
富田博秋		医師	精神科長
笹原洋二		医師	小児科長
青木洋子		医師	遺伝科長
笹原洋二		医師	小児腫瘍科長
浅野善英		医師	皮膚科長
中澤徹		医師	眼科長
香取幸夫		医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科長
出江紳一		医師	肢体不自由リハ科長
中里信和		医師	てんかん科長
上月正博		医師	内部障害リハ科長
鈴木匡子		医師	高次脳機能障害科長
神宮啓一		医師	放射線治療科長
高瀬圭		医師	放射線診断科長
山田亜矢		歯科医師	小児歯科長
小関健由		歯科医師	口腔支持療法科長
飯久保正弘		歯科医師	顎口腔画像診断科長
高橋哲		歯科医師	歯科顎口腔外科長
水田健太郎		歯科医師	歯科麻酔疼痛管理科長
齋藤正寛		歯科医師	歯内療法科長
佐々木啓一		歯科医師	咬合回復科長
山田聡		歯科医師	歯周病科長
服部佳功		歯科医師	口腔機能回復科長
江島豊		医師	材料部長
齋藤浩二		医師	集中治療部長
笹野公伸		医師	病理部長
八重樫伸生		医師	周産母子センター長
石井正		医師	総合地域医療教育支援部長
中山雅晴		医師	メディカルITセンター長
菊池雅彦		歯科医師	総合歯科診療部長
小山重人		歯科医師	顎顔面口腔再建治療部長
眞野成康		薬剤師	薬剤部長
藤巻慎一		臨床検査技師	診療技術部長



小山田 享 史		事務職員	事務部長
加 藤 裕 光		歯科技工士	診療技術部歯科技術部門長
山 内 健 介		歯科医師	総括副病院長特別補佐
黒 澤 一		医師	安全衛生管理室長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（  一部有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法  
病院長の予算権限については「東北大学会計規程」で定められており、当該規程はwebsite上で閲覧可能となっている。  
病院長の人事権限については「東北大学病院の総括副病院長及び副病院長に関する申合せ」、「東北大学病院病院長特別補佐に関する内規」、「東北大学病院専門別診療科等に関する内規」で定められているが、これらは院内のみ閲覧可能となっており、公表はされていない。
- ・ 規程の主な内容  
「東北大学会計規程」においては、部局の長を予算責任者として定め、予算の執行計画に関する事務を行わせることを定めている。  
「東北大学病院の総括副病院長及び副病院長に関する申合せ」では、病院長が総括副病院長及び副病院長候補者を指名し、総長に推薦するものであることを定めている。「東北大学病院病院長特別補佐に関する内規」では、病院長特別補佐は病院長が任命することを定めている。  
「東北大学病院専門別診療科等に関する内規」では、科長、副科長、医局長、病棟医長及び外来医長は、病院長が任命することを定めている。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
本院では、歯科部門の責任者として総括副病院長を1名置き、医科部門の副病院長3名、歯科部門の副病院長を2名置いている。また、現在、病院長特別補佐を20名置き、それぞれ別紙の役割を担っている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
国立大学附属病院長会議で、国立大学附属病院の医事系、経営系事務職員を対象とした研修会を随時開催している。また、次世代の病院運営を担う層に対して「トップセミナー」も実施している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査委員会の開催状況：年2回</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以下に掲げる事項について病院長に対し報告を求め、必要に応じて実地監査を行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 医療安全管理に係る体制</li> <li>ロ 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務の状況</li> <li>ハ 医療安全推進室の業務の状況</li> <li>ニ 医療に係る安全管理のための委員会の業務の状況</li> <li>ホ その他医療安全管理に関して必要な事項</li> </ul> </li> <li>・ 必要に応じ、総長又は病院長に対し、医療安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。</li> <li>・ その結果を公表すること。</li> </ul> </li> <li>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</li> <li>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</li> <li>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</li> <li>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</li> <li>・ 公表の方法：東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。</li> </ul>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
武田 和憲	社会保険診療報酬支払基金 宮城支部	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
阿部 玲子	東北公済病院 看護部		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
三輪 佳久	齋藤・笹村法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
原 忠篤	東北医科薬科大学病院		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

国立大学法人東北大学監事監査規程（公表）において、本学の監事監査の目的として「関係法令等に基づく適正な執行状況等について監査する」と定められている。この監査事項の詳細は、国立大学法人東北大学監事監査実施細則（非公表）に定められており、第3条第1項第9号に「病院管理者の業務の法令適合状況」が明記されている。

また、同監事監査規程においては、監査報告書に基づき改善すべき事項がある場合には、総長（病院開設者）は速やかに改善の措置を講じることとされており、取組の有効性を検証し、適時に見直しを行う体制が構築されている。

・ 専門部署の設置の有無（  有 ・ 無 ）

・ 内部規程の整備の有無（  有 ・ 無 ）

・ 内部規程の公表の有無（  一部有 ・ 無 ）

・ 公表の方法

国立大学法人東北大学監事監査規程は国立大学法人東北大学規程集

（[http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kitei/reiki\\_taikei/r\\_taikei\\_01.html](http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kitei/reiki_taikei/r_taikei_01.html)）にてweb公開されている。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 平成15年度から本院には外部有識者で構成される「東北大学病院運営諮問会議」が設置され、病院長の諮問に応じてその運営、将来計画等に関する重要事項を審議し、病院長に助言、勧告を行ってきた。 この合議体に平成30年9月から予算執行状況その他の本院の管理運営に関する重要事項について監督する機能も付与した。</li> <li>・ 会議体の実施状況（ 年2回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年2回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・<input checked="" type="checkbox"/> ）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
安藤 健二郎	仙台市医師会長	○	無
近藤 丘	東北医科薬科大学病院長		有
原田 善教	学校法人東北学院理事長		無
一力 雅彦	河北新報社代表取締役社長		無
大山 健太郎	アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長		無
樋口 康二郎	東北電力株式会社取締役社長		無
小林 英文	株式会社七十七銀行取締役頭取		無
深澤 ひとみ	プルデンシャル・ファイナンシャル・インク 日本駐在員事務所		無
伊藤 直之	伊藤・根本法律事務所弁護士		有

郷内 淳子	有限会社ティー・ジー		無
-------	------------	--	---

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年〇件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法</li></ul> <p>窓口が設置された平成28年度に全病院職員に対してリーフレットを配布した。また、毎年4月当初に開催されるオリエンテーションにおいて全新規入職者を対象にリーフレットを配布している。</p>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無

有・無

・情報発信の方法、内容等の概要

本院ホームページでは、利用者目線に立った内容やレイアウトの工夫を行い、本院の取り組みや、診療科スタッフの紹介、受診手続きについて掲載している。

また、病院広報誌やwebマガジン、メールマガジンを定期的に発行するほか、河北新報に「気になる症状すっきり診断」と題した連載を掲載し、本院の診療に関する取り組みや市民の健康に役立つ情報について紹介している。これまで宮城県内各地に出向いて開催していた市民公開講座については、オンラインで開催することとしている。

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無

有・無

・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要

本院ではがんセンターや小児医療センターなど、関連する複数の診療科からなる組織を設置し、患者に対し、効率的かつ安全で高度な治療を行える診療体制を整備している。

また、平成29年度には個別化医療センターを設置し、複数診療科体制で、血液検体や組織検体を採取し、がんゲノム医療をはじめとする未来型医療を邁進している。